

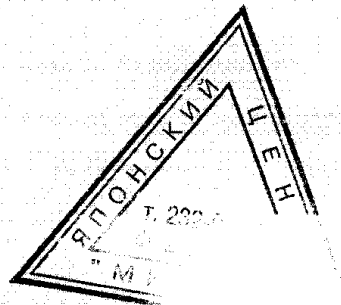
テーマ別

中級から学ぶ

日本語

荒井礼子／太田純子／亀田美保／木川和子／桑原直子／長田龍典／松田浩志

改訂版



KENKYUSHA

はじめに

本テキストは、1991年に出版された『テーマ別 中級から学ぶ日本語』を改訂したものである。旧版は、「初級から中級、さらに、上級への橋渡しを目的」に、「日本の大学・専門学校に進学し学習・研究を目指す人々、また、日本社会との関わりの中で仕事に従事する人々」を対象に書かれたものである。旧版作成に当たっては、1. 初級で学習した項目を可能な限り応用するよう促すこと、2. 各課の新出項目導入を本文に限り、速読、聴解練習等でその項目を繰り返し読み、聞くことで達成感を持てるようにすること、3. 学習者の創造力が生かせるよう、多様な解答が可能な練習項目を設けること、4. 異なった文化背景を持った学習者が興味を持って共通の話題とできるテーマを設定すること、5. 学習者が既に持っているテーマに関する知識、意見を学習者同士が交換する過程で自然に日本語力を伸ばせる練習を設けること、などに主眼点を置いたが、上に掲げた、本テキストが対象として想定する学習者レベル、並びに、基本的な作成方針には一切変更はない。

幸いにして、旧版『テーマ別 中級から学ぶ日本語』をお使いいただいた先生方からは、テーマがあって学生たちが興味を持って学ぶことができる点、また、教える側もテーマに関する社会状況の変化にともない、毎年新しい情報を盛り込みつつ授業ができるという点を評価していただいた。

この度の改訂については、1. 先端医療、環境問題などを扱った課で古くなったデータを刷新すること、2. 語彙項目、文法項目で不適当なものを入れ替えること、3. 旧版出版時からご助言をいただいていた語彙数の増加を中心に作業を進めた。その結果、本文を全く書き換えた課が3課、大幅に書き換えた課が3課、その他第1課を除いて残りの課も全部、部分的に書き換えた。語彙数に関しては、旧版から使用頻度の少ない語を約60語削除、『テーマ別 上級で学ぶ日本語』から約100語を移動、更に、約200語を新しく導入し、総語彙数1350語(改訂前約1100語)とした。また、文法項目では **使いましょう** の入れ替え六か所、また、本文変更に伴い、**答えましょう**・**まとめましょう**・**話しましょう**・**書きましょう** の各練習も全面的に、また、一部分、必要に応じて変更した。

改訂に当たっては、過去十年以上にわたり、『テーマ別 中級から学ぶ日本語』を使っていただいた先生方からの励まし、ご助言、更には、当テキストを使って日本語学習をした幾多の外国人学生の皆さんからの反応が、何よりも作業推進の大きな原動力となった。研究社出版部の佐藤淳さんからは、忍耐強い励ましと御協力を得た。すべての皆様にご心から御礼申し上げますと同時に、本テキストが日本語学習、日本語教育の一助となり、皆様への御恩返しになることを心より願っている。

2003年6月
著者一同

『テーマ別 中級から学ぶ日本語』を使うために

1. 各課の構成とそのねらい

各課は、それぞれ、本文・練習(本テキスト)、速読・聴解(別冊「ワークブック」)の四つのセクションから成り、それぞれのセクションを一つのテーマが結んでいる。各課の表題として、そのテーマを象徴する動詞が使われている。四つのセクションには、以下に説明する個々のねらいが盛り込まれており、それが機能的に組み合わせられ、授業で活用されれば、無理なく日本語の四技能が伸ばせる構成になっている。

2. 各セクションの構成とその使い方

本文——ここで各課のテーマが紹介され、同時に、新しい文型、文法項目、語彙、漢字を導入する。本文に入る前の段階として、**新しい言葉**として新出語彙のリストを掲げると同時に、**いっしょに考えましょう**にテーマ導入のための質問が設けられている。

練習 **答えましょう**・**使いましょう**・**まとめましょう**・**話しましょう**・**書きましょう**の五つのステップに分けて練習する。

答えましょう 本文が理解できているかどうかを確認する目的で設けられた十問から成る。十問のうち、最後の二問は、テーマに関して学習者が自らの意見を述べるための設問。「教師用マニュアル」に詳述したが、テーマについて考えながら、自然に会話の練習ができるようにデザインされている。

使いましょう 新出の文型、文法項目を導入し、練習する。一度、本文を読むのに支障のない程度に文型、文法項目の説明、練習をしておき、本文読解後再度、口頭練習、書いて確認という順で学習項目が定着するよう意図されている。

まとめましょう あるボリュームのものを読み、それを要約する練習。要約の一例をあげてあるが、最終的にはこのような形のヒント無しで要約できるようになることが理想。授業をするに当たっては、先ず、口頭で本文のまとめをし、その後

まとめましょう の下線部を埋めて確認するという順序で進めると良い。

話しましょう 各課で扱われたテーマについて意見交換できるよう、本文についての反論・違う視点からの意見 (**A**)、各課のテーマに関連する設問 (**B**) が設けられている。(意見交換の後、そのまとめとして、テーマについて作文させるのも良いと思われる。)

書きましょう 原則として、口頭で練習しにくいもの、書き言葉として使われる言い回し、文型が選ばれている。二つの部分に分けられており、**A**で練習したものを組み合わせて更に複雑な練習を目指しているのが**B**である。

速読——語彙、文法項目、漢字等新出は一切ない。すべて、本文で既習のものである。題材は、各課のテーマに沿ったものであり、最終的には、十分以内で千五百字程度の文章が読めることを目指す。定められた時間内に読み、先ず、大筋の把握が

できているかどうかを○×式の設定で確かめ、その後、与えられた質問に答えを書かせ、理解度を再確認するようデザインされている。

聴解——学習者が出会うであろう聴解場面を、会話形式 (I) と講演会・インタビュー等 (II) に分け、聴解力を伸ばすことを目指す。同時に、本文等で扱いにくい話し言葉独特の表現の紹介も目指す。一度聞かせた後、準備された三択問題で大まかな把握ができているかどうかを確認し、その後、全体、あるいは、一部分の書き取り練習という形で理解度の再確認をする。

3. **新しい言葉** に載せた語彙項目の選択

各課の最初に設けられた **新しい言葉** にリストされている語彙項目の選択に当たっては、『日本語初歩』(国際交流基金日本語国際センター)で扱われたものを既習項目と考え、原則としてそれ以外のものを掲げたが、『初歩』以外を用いて初級学習を終えた学習者のため、必要だと思われる場合は、重複を承知で新語扱いした。漢字の振りがなに関しては、次の「4. 漢字と振りがな」に述べた原則に従ったが、新語リストでは、予習の際の便宜を考慮し、すべての漢字に振りがなをつけた。

4. 漢字と振りがな

本文下欄外に新出漢字を掲げてあるが、これも新語同様『初歩』を基準とした。*を付した漢字は、それ以前に新出漢字として扱われたものの読み替えである。本文では、新出漢字、並びに、新しい読み方に限って振りがながつけられている。

5. 『テーマ別 中級から学ぶ日本語』を使った授業例

- a. **新しい言葉** を使って新出語の導入。予習だけでは応用が難しいと思われるものを中心に、例文を使って導入。**使いましょう** での練習対象語句は、ここでは扱わない。
- b. **いっしょに考えましょう** を使って、テーマの紹介。
- c. **使いましょう** で練習する項目の導入。本文読解に支障をきたさない程度の練習にとどめておく。**使いましょう** の練習設問 (A、B 等) はここでは使わない。
- d. 本文読解。
- e. **答えましょう** を使って、本文の内容把握ができたかどうかの確認。最初は、口頭練習で確認し、その後、書かせて再確認する。
- f. **使いましょう** の設問 A、B 等を用いて、使えるようになるまで練習する。口頭で練習したものを書かせて確認する。
- g. 聴解 I を使って聴き取り練習。一度聞いて三択設問で理解度確認。その後、書き取り練習の形で再確認する。
- h. **まとめましょう** を使って、口頭で、次に下線部埋めの順で本文要約練習。
- i. 速読用読み物を使う。一度読ませて設問 A で内容を確認後、設問 B を書いて答えさせ、再確認する。
- j. **話しましょう** の A を使って、本文についての意見交換。

- k. **書きましょう** を使って練習。
- l. 聴解Ⅱ を使って聴き取り練習。一度聞いて三択設問で理解度確認。その後、書き取り練習の形で再確認する。
- m. **話しましょう** の **㊦** を使って、テーマについての意見交換。
- n. 作文を書く。**答えましょう** の 9, 10 番、あるいは、**話しましょう** を使う。
(*別冊「教師用マニュアル」に **使いましょう**・**答えましょう**・**まとめましょう**・**書きましょう** の解答例を付したが、模範解答としてではなく、あくまで一例として使っていただければ幸いである。**使いましょう** 以下、いずれの項目もできるだけ多くの答えが可能なようにデザインされており、学習者に多様な答えを出すよう奨励されたい。)

目 次

はじめに	iii
『テーマ別 中級から学ぶ日本語』を使うために	iv
第 1 課 たとえる	1
第 2 課 つたえる	6
第 3 課 はたらく	12
第 4 課 あきれる	18
第 5 課 たべる	23
第 6 課 あそぶ	28
第 7 課 いう	33
第 8 課 かざる	38
第 9 課 あらわす	43
第 10 課 いきる	49
第 11 課 こまる	55
第 12 課 あつまる	61
第 13 課 つかう	67
第 14 課 であう	73
第 15 課 わかりあう	79
第 16 課 がんばる	85
第 17 課 わける	91
第 18 課 かこむ	97
第 19 課 おもいだす	103
第 20 課 しらせる	109
第 21 課 まもる	115
第 22 課 ふれあう	121
第 23 課 うたう	127
第 24 課 なおす	133
第 25 課 のびる	139
索引	145

第1課

[たとえる]



新しい言葉

たとえる

くち だ
口に出す

ひたい
額

むかし
昔

なら
並べる

い
言う

また

べんり
便利ナ・ニ

ぜんぜん
全然(～ない)

ぜ ひ
是非

やく た
役に立つ

でも

こ ぼん
小判

ほん だ
本棚



いっしょに考えましょう

1. 皆さんの国では、猫ねこはどんな動物だと言われていますか。
2. 「猫のような人」と言われたら、どんな人のことを考えますか。
3. 犬はどうですか。
4. 「借りてきた猫」という言い方がありますが、どんな意味だと思いますか。
5. 皆さんの国で、話の中によく出てくる動物は何ですか。

[たとえる]

忙しくて忙しくて、だれでもいいから一人でも多くの人に手伝ってもらいたい。そんなとき、日本語では「猫の手も借りたいほどだ」とたとえて言います。たとえ猫が手伝ってくれてもそれほど役に立つとは思えませんが、何か口に出して言いたいと思って、こう言うのです。

5 また、「私の家には庭があります。でも狭いですよ」と言いたければ、これも「猫」を使って、「猫の額ほどの庭があります」と言います。猫にも額の広い猫と狭い猫がいると思うので、日本語の分かる猫に聞かれたら、「失礼じゃないですか」と怒られてしまいそうです。

10 まだまだたくさん「猫」のお世話になる便利な言い方はあるのですが、「猫に小判」という言い方ほど面白いものはないでしょう。小判は昔のお金ですから、今なら「猫に一万円」と言えば、意味が分かるでしょうか。高い辞書を持っていても、全然使わずに本棚に並べておくだけの人に、「猫に小判だね」と言うのです。

15 猫だけではなく、犬、牛、馬など、人と昔から生活をしてきた動物たちを使った言い方がたくさんあります。皆さんの国の言葉にも「猫の手」や「猫の額」、そして「猫に小判」などと同じような言い方がありませんか。あれば是非それを紹介してください。

忙 *伝 猫 借 *私 庭 狭 額 *分 怒 便 判 面 昔
*味 然 棚 並 皆 是 非 紹 介

**答えましょう**

次の質問に答えてください。

1. 忙しくてだれかに手伝ってもらいたいとき、何と言いますか。
2. そう言ったら、本当に猫が手伝ってくれるのでしょうか。
3. どうしてそう言うのですか。
4. 「庭があるけれど、とても狭い」と言いたいときにも猫を使って言います。何と言いますか。
5. 猫を使った言い方はほかにどんなものがありますか。
6. それはどんな意味ですか。
7. どういうときに、それを使いますか。
8. どうして猫や犬、牛、馬などを使った言い方が多いのでしょうか。
9. 皆さんの国にも「猫に小判」と同じ意味の言葉がありますか。
10. 皆さんの国ではどんなとき、動物を使ってたとえて言いますか。

**使いましょう**

A 「～と言います」という言い方を練習しましょう。

例: じょうずにおよぐ人を見たとき、「魚のようだ」と言います。

1. まだ四月なのにとっても暑いとき、「_____」と言います。
2. かわいい女の子を見たとき、「_____」と言います。
3. 寒くて手が冷たくなったとき、「_____」と言います。
4. _____とき、「猫の額ほどの庭」と言います。
5. _____とき、「猫に小判」と言います。

B 「たとえ～ても」という言い方を練習しましょう。

例: たとえ猫が手伝ってくれても、それほど役に立つとは思えません。

1. たとえみんなでそうじをしても、あまり_____とは思えません。
2. たとえ高い物を使っても、それほど_____とは思えません。
3. たとえタクシーで行っても、_____とは思えません。
4. たとえ_____でも、それほどじょうずになるとは思えません。
5. たとえ_____でも、それほどこまるとは思えません。

C 「～ほど～はない」という言い方を練習しましょう。

例: 面白い言い方はいろいろありますが、「猫に小判」という言い方ほど面白いものはないでしょう。

第1課

1. 私の国に山はたくさんあるのですが、_____ほど_____はないでしょう。
2. 人間といっしょに生活してきた動物はいろいろありますが、_____ほど_____はないでしょう。
3. おいしいものはたくさんありますが、_____ほど_____はないでしょう。
4. いろいろな言葉を習いましたが、_____ほど_____はないと思います。
5. いろいろな所へ旅行しましたが、_____ほど_____はありませんでした。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

日本語には_____がいろいろあります。「_____」や「_____」や「_____」など、どれも面白い言い方です。どの国にも_____があります。これはその動物が_____からだと思います。



話しましょう

A 第1課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「動物の名前を使ったような言い方は、面白くて便利です。でも、私のように日本語を習っている学生には、むずかしいです。私はおぼえようとは思いません。「猫の額」よりも「狭い」という言葉をおぼえる方が、もっと大切だと思います」

B 皆さんの国で、子どもでもおとなでも知っている面白い言葉を教えてください。



書きましょう

A-1 _____て、_____て、だれ(に)でもいいから、_____てもらいたかった。

例: うれしい → うれしくて、うれしくて、だれ(に)でもいいから、話を聞いてもらいたかった。

1. むずかしい →
2. さびしい →
3. つらい →

【A-2】 _____ て、 _____ ほどだった。

例: おかしい → おかしくて、おなかが痛くなるほどだった。

1. 高い →
2. 寒い →
3. おいしい →

【B】 _____ たら、 _____ ので、 _____ て、 _____ ほどだった。

例: トムの昔の写真を見た ⇨ 今と全然ちがっていた ⇨ おかしい
→ トムさんの昔の写真を見たら、今と全然ちがっていたので、おかしくて、おなかが痛くなるほどだった。

1. 家に帰った ⇨ 国の友だちから手紙が来ていた ⇨ うれしい →
2. 友だちに料理を作ってもらった ⇨ しおとさとうをまちがえた ⇨ からい →
3. 映画を見に行った ⇨ 日曜日だった ⇨ 人が多い →

第2課

【つたえる】



新しい言葉

(招待)状 <small>しょうたい じょう</small>	クラブ	ずっと
決まる <small>きまる</small>	にこにこスル	広告スル <small>こうこく</small>
直す <small>なおす</small>	(1) DK	マンション
(六)畳 <small>ろく じょう</small>	(一)間 <small>ひと ま</small>	国際 <small>こくさい</small>
大丈夫 <small>だいじょうぶ</small>	きっと	家庭 <small>かてい</small>
しばらく	ごぶさたスル	さて
過ぎる <small>す過ぎる</small>	思い出 <small>おもいで</small> [←思い出す]	始める <small>はじめる</small>
記念スル <small>きねん</small>	知らせる <small>し知らせる</small>	どうか
楽しみナ・ニ <small>たのしみ</small>	日時 <small>にちじ</small>	場所 <small>ばしょ</small>
会館 <small>かいかん</small>		



いっしょに考えましょう

1. 日本へ来てから、どんな人に手紙をもらいましたか。
2. 今までもらった手紙やカードの中で、一番うれしかったものは何ですか。
3. どんなときに手紙を書き、どんなときに電話をかけますか。
4. 友だちや家族に自分の気持ちを言いたいとき、手紙と電話と、どちらがいいですか。
5. 日本人やほかの国の友だちと話すとき、どんなことが難しいですか。
むずか

【つたえる】

陽一^{よういち}とアンさんから結婚式の招待状が来た。二人とは、学生時代から学部もクラブもずっと同じだったので、家族のだれかが結婚するようで、とてもうれしい。招待状も、昔からの決^きまった言葉をたくさん並べたものではなく、二人の気持ちを伝える大^{たい}変^{へん}いいもので、二人がにこにこしながら「来てくださいね」と言っているようだった。 5

招待状をもらってすぐに、陽一の勤^{つと}めている広^{こう}告^{こく}会社^{かい}に「おめでとう。良かったな」と言って、電話をかけた。「いい招待状だな」と言うと「あれはアンが書いたのを、僕^{ぼく}が少し直^{なお}したんだよ。1DKのマンションでろく^{ろく}じよう^{じよう}ひと^{ひと}ま^ま六^む畳^{じよう}一間^{いっけん}だけれど、また遊びに来てくれよ」と言っていた。

国^{こく}際^{さい}結^{むす}婚^かは難^{むずか}しいと言うけれど、二人は大^{だい}丈^{じよう}夫^ぶ。きつといい家^か庭^{てい}を 10
作るだろう。



[つたえる]

しばらくごぶさたしておりますが、皆様、お元気でしょうか。いつもいろいろとお世話になっています。

さて、私たちは今度結婚することにしました。学生時代に小林先生のクラスで初めて^{はじ}会い、それからもう五年が過ぎ^すました。結婚式には、たくさんいい思い出を作^{つく}ってくださった小林先生も来てくださるそうで、とても喜^{よろこ}んでいます。

私たちが新しい生活を始める^{はじ}記念の日に、皆様にも是非来ていただいて、御一緒^{ごいっしょ}に楽しくお話ししたいと思います。お忙しいとは思いますが、来ていただければとてもうれしいです。お待ちしております。

お返事を十日までにお知らせください。どうかよろしく願いいたします。

(陽一) みんなが来てくれて、クラス会になったらいいなあ。

(アン) 国から両親も来てくれるので、楽しみにしています。

日時 十一月二十三日(日) 午後二時

場所 ^{ばしょ}桜 ^{さくら}会館

十一月三日

なか ^{むら}村 陽 一

アン・シャリー

**答えましょう**

次の質問に教えてください。

1. 二人が初めて会ったのはどこですか。
2. 二人が結婚するということを知って、この人はどう思いましたか。
3. この人はこの招待状をどう思っていますか。
4. 招待状をもらって、この人はどうしましたか。
5. 結婚式はいつ、どこで行われますか。
6. 結婚式にはどんな人たちが集まりますか。
7. 返事はいつまでにしなければなりませんか。
8. この人は二人の結婚は難しいだろうと思っていますか。
9. これまでに招待状をもらったことがありますか。それはどんな招待状でしたか。
10. これまでに招待状を出したことがありますか。それはどんな招待状でしたか。

**使いましょう**

A-1 「～ことにした」という言い方を練習しましょう。

例: 私たちは今度結婚することにしました。

1. 私は来年_____ことにしました。
2. 私は今度の休みに_____ことにしました。
3. 私はあした_____ことにしました。
4. 私はきょうから_____ことにしました。
5. 私は今晚_____ことにしました。

A-2 例: A: 今度のスキー旅行に行きますか。

B: 私は今年も行くことにしました。

1. A: いつ国へ帰るのですか。
B: _____ことにしました。
2. A: 今度の日曜日には、何をするのですか。
B: _____ことにしました。
3. A: あれ、あしたパーティーへ行かないのですか。
B: _____ことにしました。
4. A: ずいぶん早く起きるのですね。
B: _____ことにしたのです。
5. A: ずいぶん早く帰るのですね。
B: _____ことにしたのです。

第2課

B-1 「～よう」という言い方を練習しましょう。

例: 昔からの友だちから招待状が来ると、家族のだれかが結婚するようです。うれしいです。

→ 昔からの友だちから招待状が来ると、家族のだれかが結婚するようで、うれしいです。

1. あの人と話をすると、妹と話しているようです。うれしいです。
→ あの人と話をすると、_____。
2. あのレストランがなくなると、家がなくなるようです。さびしいです。
→ あのレストランがなくなると、_____。
3. 手紙が来ないと、わすれられたようです。かなしくなります。
→ 手紙が来ないと、_____。
4. この音楽を聞くと、国へ帰ったようです。楽しくなります。
→ この音楽を聞くと、_____。
5. あの人に会うと、母に会ったようです。元気になります。
→ あの人に会うと、_____。

B-2 例: 昔からの友だちから招待状が来ると、家族のだれかが結婚するようでうれしいです。

1. _____と、_____ ようで元気になります。
2. _____と、_____ ようでいやになります。
3. _____と、_____ ようで楽しくなります。
4. _____と、_____ ようでさびしいです。
5. _____と、_____ ようでかなしいです。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

_____ から _____ をもらった。_____ ようで、とてもうれしい。
_____ は _____ ではなく、_____ を伝える大変いいものだった。結婚式には _____ や _____ もいらっしやるそうだ。よく _____ と言われているが、二人は _____ と思う。



話しましょう

A 第2課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「この招待状は、国際結婚をする二人が書いたものだから、これでもいいですが、

私は、昔の人が考えて今まで伝えてきたことには、いろいろな意味があると思うので、決まった言葉や書き方などを大切にする方がいいと思います」

B 言葉で伝えることができないものがあると思いますか。それは何ですか。



書きましょう

A _____ は _____ ではなく、_____ いいものだった。

例: 二人からの招待状 → 二人からの招待状は難しい言葉を並べたものではなく、二人の気持ちを伝えるいいものだった。

1. 私たちのきょうかしょ →
2. 友だちからのプレゼント →
3. 入学式での先生の話 →

B 招待状を書きましょう。

_____ 様

しばらくごぶさたしておりますが、皆様、_____ でしょうか。いつもいろいろとお世話になっております。

さて、今度 _____ ことにしました。お忙しいとは思いますが、_____ たいと思いますので、是非 _____ てください。お待ちしております。

日時 _____

場所 _____

月 日

1. クラス会 →
2. たんじょう日のパーティー →

第3課

【はたらく】



新しい言葉

やっぱり(=やはり)	無理 ^{むり} ナ・ニ	できるだけ
～とか	番組 ^{ばんぐみ}	楽 ^{らく} ナ・ニ
～なんて	もちろん	冗談 ^{じょうだん}
あら	すごい	この前 ^{まえ}
おみやげ	CD	頭 ^{あたま} にくる
それでも	パソコン	ゲーム
眠 ^{ねむ} い	がんばる	偉 ^{えら} い
このごろ	慣 ^な れる	この間 ^{あいだ}
転勤 ^{てんきん} スル	チーム	足 ^た りる
～より	(場所の名前)九州 ^{きゅうしゅう}	



いっしょに考えましょう

1. 日本では仕事のために一人で生活している人がおおぜいいますが、皆さんの国ではどうですか。
2. 家族のだれかが、仕事のためにみんなとわかれて遠くへ行っていたことがありますか。
3. そのとき毎日れんらくしましたか。
4. そのとき家族の生活は前と同じようでしたか。
5. こういう家族はこれからもふえると思いますか。

【はたらく】

お父さん、一人で寂しくないですか。九州は遠くてあまり帰れないから、毎日手紙を書けと言われてたけれど、やっぱりちょっと無理です。でも、できるだけ書くようにします。ごはんのときは、いつもみんなでお父さんのことを話しています。まだ会社で働いているかなとか、もううちに帰ってこの番組見てるかなとか。

今晚もカレーを食べながらお父さんのことを話しているとき、お母さんは、お父さんがいない方が食事の用意が楽でいい、なんて言っていました。もちろんこれは冗談で、本当はとても寂しがっているんです。電話が鳴ると「あら、お父さんかしら」と、すごくうれしそうな顔をするので分かります。

ミエは、お父さんがこの前おみやげに買ってきてくれたCDを、とても喜んで聞いています。ミエは、「お父さんはミエのことが一番好きなんだよ」と言うので、僕はちょっと頭にきていますが、それでもミエはまだ小さいんだからと思って、何も言いません。でもお父さん、僕には新しいパソコンゲームを買ってきてね。

僕は毎朝六時に起きて、ドンに散歩をさせています。お父さんとの約束だから、眠くてもがんばってやっています。偉いでしょう、お父さん。初めは、いつも散歩に連れて行ってくれた人と違うので、ドンは嫌がって一緒に行きたがらなかったけど、このごろは慣れてきたようです。この間、ドンをくれた前田さんに会ったので、お父さんが転勤で九州へ行ったって話すと、残念がっていました。前田さんの野球チーム、また

*父 寂 州 無 働 *組 *母 冗 談 当 鳴 好 頭 散
*歩 東 眠 偉 連 違 嫌 慣 *勤 残

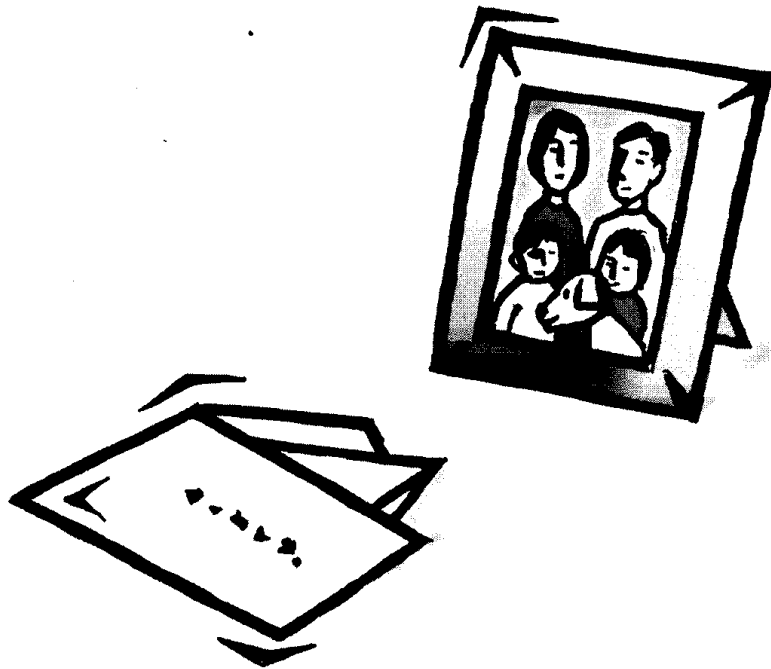
【はたらく】

人が足りなくなったそうです。お父さん、少しは運動していますか。運動しないとすぐ太^{ふと}るから、できるだけたくさん運動してください。

じゃ、もう遅^{おそ}いからこれでやめます。お休みなさい。

お父さんへ

しんいち
進一より



*足 太 遅 進



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 進一は何が「ちょっと無理だ」と言っていますか。
2. どうして毎日手紙を書けと言われましたか。
3. お母さんはどんな冗談を言っていますか。
4. 冗談だということがどうして分かりますか。
5. ミエが「お父さんは私が一番好き」と言っているのはどうしてですか。
6. それを聞いて進一はどう思っていますか。
7. 進一とお父さんは手紙のほかにどんな約束をしましたか。
8. 前田さんはお父さんが九州へ行ったことを聞いて、どうして残念がりましたか。
9. 子どものとき、お父さんとどんな約束をしましたか。
10. 子どものとき、どんなことをしてお母さんを手伝いましたか。



使いましょう

A 「～がる」という言い方を練習しましょう。

例: 母は父がいないと楽だと言っていました。もちろんこれは冗談で、本当は寂し
がっているんです。父が電話をかけてくると喜ぶので分かります。

1. 母は子どもがいないと静かでいいと言っています。もちろんこれは冗談で、本当は_____。学校から帰ってくると_____ので分かります。
2. 母は家が狭いとそうじが楽でいいと言っていました。もちろんこれは冗談で、本当は_____。家の広告を見ると_____ので分かります。
3. 弟はお父さんがいないとうれしいと言っています。もちろんこれは冗談で、本当は_____。お父さんが帰ってくると_____ので分かります。
4. 父はネクタイは一本あればいいと言っています。もちろんこれは冗談で、本当は_____。ネクタイをプレゼントにもらうと_____ので分かります。
5. 母は父と出かけるとけんかになると言っていました。これはもちろん冗談で、本当は_____。父が出かけようと言うと_____ので分かります。

B 「できるだけ～ようにする」という言い方を練習しましょう。

例: できるだけ手紙を書くようにしています。

1. ちょっと太ってきたので、できるだけ_____ようにしています。
2. 来年アメリカへ行きたいので、できるだけ_____ようにしています。
3. 教室の中ではできるだけ_____ようにしています。

第3課

4. 体に悪いので、できるだけ_____ようにしています。
5. 早くじょうずになりたいので、できるだけ_____ようにしています。

【C】「～なんて」という言い方を練習しましょう。

例: A: 辞書がなければこれは読めないでしょう。

B: 辞書なんてなくてもいいです。

1. A: かさを持って行かないと、雨にふられるかもしれませんよ。
B: _____なんて_____。
2. A: ほら、今晚はカレーよ。おいしそうでしょ。
B: ええ、またカレー。_____なんて_____。
3. A: 二十本もビールを飲んだんですよ。
B: _____なんて_____。
4. A: 新聞を読まないんですか。
B: _____なんて_____。テレビがあるから。
5. A: 車を買わないんですか。
B: _____なんて_____。こんなに便利なんだから。

【D】「～とか～とか」という言い方を練習しましょう。

例: ごはんのときいつも[うちに帰っているかな][この番組を見ているかな] ⇨ ごはんのときいつもうちに帰っているかなとか、この番組を見ているかなとか言っています。

1. すきやきを作るのには[肉][やさい] ⇨
2. 家の広告にはいつも[駅から近くて便利][新しくてきれい] ⇨
3. かれに電話するといつも[来週は行く][あとで返事をする] ⇨
4. 先生はいつも[勉強しなさい][がんばりなさい] ⇨
5. あの人に会うといつも[一日五時間勉強した][スポーツがよくできた] ⇨



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

進一君は_____ので、_____ているお父さんによく手紙を書く。この手紙によると、お母さんは_____が、本当は_____そうだ。進一君も、お父さんとの約束を_____て、_____ている。この手紙を読むと、_____ことがよく分かる。



話しましょう

A 第3課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「仕事も大切かもしれませんが、それよりもやはりみんなで生活する方が大切です。お金より家族の方が大切でしょう。この家の子どもたちはまだ小さいし、お父さんがいて、いろいろ教えなければいけないこともあると思います」

B 家族とわかれて生活しなければならなくなったとき、どんなことに注意しますか。



書きましょう

A-1 _____ に _____ から、_____ (しろ)と言われましたが、やはり毎日は少し無理です。けれども、できるだけ_____ ようにしています。

例: 父は手紙を書きなさいと言いました。

→ 父に、あまり帰れないから手紙を書けと言われましたが、やはり毎日は少し無理です。けれども、できるだけ書くようにしています。

1. 母は、外で食べないで自分で料理をして食べなさいと言いました →
2. 中学の先生は、毎日新しい言葉を五つおぼえてノートに書きなさいと言いました →
3. 友だちは、ラジオを聞くときはテープにとって、あとからもう一度聞いた方がよいと言いました →

A-2 _____ は、初めは _____ が、このごろは _____ てきたようです。
_____ も _____ と言っています。

例: ジョンさんもナンシーさんも漢字が面白くなりました。

→ ジョンさんは、初めは漢字を嫌がっていましたが、このごろは面白くなってきたようです。ナンシーさんも面白くなってきたと言っています。

1. タンさんもキムさんも日本料理が好きになりました →
2. ナンシーさんもカレンさんも電車に慣れました →
3. チェッタさんもチャンさんもテレビがきれいになりました →

第4課

[あきれる]



新しい言葉

(～た)ばかり	ころ	まんいん 満員
がまん 我慢スル	ふしぎ 不思議ナ・ニ	(～て)たまらない
ざせき 座席	ねむ 眠る	サラリーマン
けしょう 化粧スル	おおこえ 大声	ときどき 時々
だめナ	じっとスル	むちゅう 夢中
うるさい	おとな 大人しい	あき(かん) 空(缶)
かん 缶	かたづ 片付ける	つづ 続ける
とちゅう 途中	としよ お年寄り	あきれる
れいぎただ 礼儀正しい	そだ 育てる	しんぱい 心配ナ



いっしょに考えましょう

1. 外国へ行って驚いたことは何ですか。
2. その国で良いと思ったことは何ですか。
3. 良くないと思ったことは何ですか。
4. 皆さんの国で良くないと思うことはどんなことですか。
5. 外国へ行ったとき、どんなことにすぐ慣れましたか。慣れないことは何でしたか。

【あきれる】

毎日利用する電車は、日本人を知るのにちょうどよい教室のようなものです。日本に来たばかりのころは、朝の満員電車にどうして我慢できるのだろうかと思議でたまらなかったし、夜は、お酒のにおいをさせて座席で眠っているサラリーマンを見て驚いたこともありました。

この間は、きれいに化粧した若い母親が二人、三、四歳の子供を連れて乗ってきました。子供たちは「ここ、ここ」と大声を出しながら席を取り、靴を脱ぐとすぐ、いすの上で騒ぎ始めました。母親たちは時々「やめなさい」とか「だめよ、じっとしてなさい」と注意するのですが、本当にやめさせようという気持ちはなさそうで、自分たちも話に夢中です。子供たちが騒ぎすぎてうるさくなると、かばんの中からお菓子やジュースを出してやります。子供たちはそのときだけちょっと大人になりますが、空き缶や紙くずは片付けません。母親たちは、一生懸命話を続けています。途中で大きい荷物を持って乗ってきたお年寄りがいたのに、立とうともしないので、あきれてしまいました。

このように、日本の若い母親の中には時々子供のような人もいます。日本に来る前は、日本人は親切で礼儀正しいと聞いていましたが、本当にそうなのでしょうか。私は日本が大好きですから、こんな母親や、こんな母親に育てられている子供たちを見ると、ちょっと心配になるのです。

満 我 慢 不 *思 議 座 驚 化 粧 若 *親 歳 供
靴 脱 騒 (々) 夢 菓 *子 *大人 *空 缶 片 付 *生
懸 命 続 途 寄 儀 配

第4課



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. ある日どんな母親が電車に乗ってきましたか。
2. 子供たちは電車に乗るとすぐ何を始めましたか。
3. 母親たちはどうして子供たちを静かにさせなかったのでしょうか。
4. 子供にお菓子をやったのはどんなときでしたか。
5. 途中で乗ってきたのはどんな人でしたか。
6. この人があきれたのはどうしてですか。
7. この人は日本に来る前、日本人はどんな人たちだと聞いていましたか。
8. どうして電車は日本人を知る教室なのですか。
9. 外国へ行ったとき、このようなことを見たことがありますか。
10. 皆さんの国ではこの話と同じようなことがありますか。



使いましょう

A-1 「～(さ)せる」という言い方を練習しましょう。

例: 子供がマッチで遊んでいたらどうしますか。⇒ すぐやめさせます。

1. 友だちが、ねつがあるのに仕事に行くと言ったらどうしますか。
⇒ _____ せます。
2. 子供を丈夫にするためにどうしますか。
⇒ _____ せます。
3. 先生はどのようにして新しい言葉を教えますか。
⇒ _____ せます。
4. 子供のへやがきたなかったらどうしますか。
⇒ _____ せます。
5. 電車の中で子供たちが騒いだらどうしますか。
⇒ _____ せます。

A-2 例: A: きょうは八時まで仕事をしてくれますか。

B: すみません。きょうはつかれているので、帰らせてください。

1. A: _____。
B: いいえ、きょうは私にはらわせてください。
2. A: _____。
B: すみません。日曜日だけは休ませてください。
3. A: _____。
B: もう少し考えさせてください。

4. A: _____。
B: いいえ、この仕事は私にやらせてください。
5. A: _____。
B: じゃあ、もう一度説明させていただきませんか。

B 「～たばかり」という言い方を練習しましょう。

例: 日本に来たばかりなので、何も分かりません。

- _____なので、まだあたたかいです。
- _____なので、まだきれいです。
- _____なので、まだ顔もあらっていません。
- _____なのに、もうわすれてしまいました。
- _____なのに、もうおなかがすいてしまいました。

C 「～て(で)たまらない」という言い方を練習しましょう。

例: どうして我慢できるのだろうかと不思議でたまりませんでした。

- _____のが、うれしくてたまりません。
- _____のが、嫌でたまりません。
- _____ときは、寂しくてたまりませんでした。
- _____て、家に帰りたくて帰りたくてたまらなくなりました。
- _____ときは、_____たまりません。

D 「～と聞いていた」という言い方を練習しましょう。

例: 日本人は礼儀正しいと聞いていたのに、そうでもありませんでした。

- 日本は_____と聞いていたのに、そうでもありませんでした。
- この学校は_____と聞いていたのに、そうでもありませんでした。
- サラリーマンは_____と聞いていたのに、そうではありませんでした。
- 日本語は_____と聞いていたのですが、やはりそうでした。
- タイの料理は_____と聞いていたのですが、やはりそうでした。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

_____は_____のようなものだ。日本へ来たばかりのころは_____に驚かされた。この間も若い母親が二人_____。子供が_____のに、母親たちは_____に夢中だ。_____のに_____ので、あきれてしまった。

第4課

日本に来る前には_____と聞いていたが、本当にそうだろうか。



話しましょう

A 第4課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私の国では、電車の中などで子供が騒いだときには、ほかの人でも注意します。騒いでいる子の親が嫌な顔で見ても、ほかの人がこまるということを、もっと子供に教えなければいけないと思います」

B もし電車の中で近くにいる子供が騒いだら、どうしますか。



書きましょう

A-1 _____のに、_____ので、_____てしまいました。

例: お年寄りがいる ⇨ 立とうともしない

→ お年寄りがいたのに、立とうともしないので、あきれてしまいました。

1. 一週間ダイエットをした ⇨ やせない →
2. 料理を作った ⇨ 食べてくれない →
3. 先生に教えてもらった本を買った ⇨ 分からない →

A-2 _____たばかりのころは_____や_____に_____。

例: 日本に来た

→ 日本に来たばかりのころは、電車の中で騒いでいる子供たちや、お年寄りが乗ってきても立とうともしない若い人に驚きました。

1. 日本語の勉強を始めた →
2. この町に住み始めた →
3. 結婚した →

第5課

[たべる]



新しい言葉

きが合う <small>きあう</small>	仲間 <small>なかま</small>	おしゃべりナ
もの	ある～	かわ皮
むく	ほうちよう包丁	かたて片手
とまる <small>とまる</small>	すっかり	けっきよく結局
おかしい	あたり前 <small>あまえ</small>	りゆう理由
ただ	へん変ナ	くち口にする
たび旅スル	とち土地	しあ知り合い[←知り合う]
かたこと片言	いっばい一杯	かえ返ってくる
つく	かこ囲む	とくべつ特別ナ・ニ
どりよく努力スル		



いっしょに考えましょう

1. 好きな料理を五つ、きれいな料理を三つ教えてください。
2. どこで、だれと、どんなものを食べるとき、一番おいしいと思いますか。
3. あまりおいしくないと思うのは、どんなときですか。
4. 外国(たとえば日本)の料理で、皆さんの国の料理と同じものを使っているのに、料理のし方が違うと思ったものがありますか。
5. 皆さんの国にしかない食べ方や食べ物があれば説明してください。

[たべる]

気の合う仲間が集まって、おしゃべりをしながら一緒に飲んだり食べたりするのは楽しいものだ。あるとき、こんなことがあった。みんなで料理を作っているとき、一人がトマトの皮をむいてお皿に並べ始めた。するとほかの人が「あなた、トマトは皮をむかないものよ」と言った。5 そう言いながら、その人は包丁片手にキュウリの皮をむいている。「あら、私の家ではキュウリの皮はむかないわ」とトマトの皮をむいた人は言う。それからしばらく、むく、むかない、どちらが正しい、正しくないと、みんなが言い始めて、料理の手はすっかり止まってしまった。結局「こんな小さなことでもいろいろ違うものね」で、この騒ぎは終わった。10 た。

自分の今までやってきた食べ方、料理のし方と違えば、少しおかしいと思うのは当たり前のことだが、その理由をよく考えてみると、ただ慣れていないだけということが多い。最初は変だと思っても口にしてみると、思っていたよりおいしかったということもよくある。

15 世界中を旅している人に、どうしたらその土地の人と知り合いになれるのかと聞いてみると、「片言でもいいから、その人たちの言葉を話し、一緒におなか一杯食べ、飲むことだ」という答えが返ってきた。世界は広いのだから、トマトの皮をむく人もむかない人もいる。皮がついているかいないかは問題ではなく、それよりも、同じテーブルを囲んで、20 飲み、食べ、一緒に笑うことが大切だ。そうすれば、特別な努力をしなくても、いい友達を作ることができるということなのだろう。

合 仲 皮 皿 包 局 *当 *初 *中 *旅 杯 囲 笑 特
別 努 力 達



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. トマトの皮をむいた人に、ほかの人は何と言いましたか。
2. キュウリの皮をむいた人に、だれが何と言いましたか。
3. みんなでどんなことを話し始めましたか。
4. みんなで話して、結局どうになりましたか。
5. 自分と違う食べ方はおかしいと思うのは、どうしてだと言っていますか。
6. 世界中を旅行している人に、どんなことを聞きましたか。
7. その人からどんな答えが返ってきましたか。
8. 友達を作るには、何をすることが大切だと言っていますか。
9. 皆さんは友達とよく集まりますか。
10. そのときどんな料理を作ることが多いですか。



使いましょう

A-1 「～ものだ」という言葉を練習しましょう。

例: 食事のとき、話をする。

→ 食事のときは、みんなで楽しく話をするものです。

→ 食事のときは、話はしないものです。

1. プレゼントは、くれた人の目の前であける。

→ プレゼントは、 ものです。

→ プレゼントは、 ないものです。

2. 結婚式では、黒い服を着る。

→ 結婚式では、 ものです。

→ 結婚式では、 ないものです。

3. おふろは、朝入る。

→ おふろは、 ものです。

→ おふろは、 ないものです。

4. すきやきを作るとき、肉を先に入れる。

→ すきやきを作るとき、 ものです。

→ すきやきを作るとき、 ないものです。

5. 歯は、ごはんの前にみがく。

→ 歯は、 ものです。

→ 歯は、 ないものです。

A-2 例: 「トマトの皮のような小さいことでもいろいろ違うものですね」

1. 「へえ、三か月でずいぶん ものですね」

第5課

2. 「野球を初めてやってみましたが、ずいぶん _____ ですね」
3. 「前は、あまり家もなかったのに、ずいぶん _____ ですね」
4. 「この前会ったときは、まだ小さかったのに、ずいぶん _____ ですね」
5. 「きのう買ったビール、もうなくなったんですか。ずいぶん _____ ですね」

【B】「当たり前」という言い方を練習しましょう。

例: 世界は広いのだから、料理も食べ方もいろいろあるのは当たり前だ。

1. あの人は世界中を旅行しているのだから、 _____ のは当たり前だ。
2. 彼は友達なのだから、 _____ のは当たり前だ。
3. ここは有名なのだから、 _____ のは当たり前だ。
4. どこにでもあるのだから、 _____ のは当たり前だ。
5. あの人が書いたのだから、 _____ のは当たり前だ。

【C】「～てみると、思っていたより～」という言い方を練習しましょう。

例: 食べてみると、思っていたよりおいしかったということもよくある。

1. 住みにくい国だと思っていたが、 _____ てみると、思っていたより _____。
2. かるそうに見えたが、 _____ てみると、思っていたより _____。
3. きびしい先生のようなのだが、 _____ てみると、思っていたより _____。
4. 難しいと思っても、 _____ てみると、思っていたより _____。
5. おいしくなさそうなものでも、 _____ てみると、思っていたより _____。

【D】「どうしたら～か」という言い方を練習しましょう。

例: どうしたらその土地の人と友達になれるのかと聞いてみると、「その人たちの食べるものを一緒に食べることだ」という答えが返ってきた。

1. 先生に、どうしたら _____ かと聞いてみると、「 _____ ことだ」という答えが返ってきた。
2. 医者に、どうしたら _____ かと聞いてみると、「 _____ ことだ」という答えが返ってきた。
3. スポーツ選手に、どうしたら _____ かと聞いてみると、「 _____ ことだ」という答えが返ってきた。
4. 国際結婚した人に、どうしたら _____ かと聞いてみると、「 _____ ことだ」という答えが返ってきた。
5. たばこをやめた人に、どうしたら _____ かと聞いてみると、「 _____ ことだ」という答えが返ってきた。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

どんなことでも、自分の今までやってきたことと _____ が違えば、 _____
 _____ と思うものだが、その理由をよく考えてみると、 _____ ということが多
 い。慣れてしまえば、 _____ 。世界は広いので、 _____ のは当たり前だ。
 _____ が問題ではなく、 _____ が大切だ。



話しましょう

A 第5課を読んである人が次のように言いました。どう思いますか。

「『楽しく飲んだり食べたりすれば、友達になれる』と言っていますが、そんな
 ことだけで本当の友達にはなれないと思います。友達になるためには、嫌なこと
 やつらいことを一緒にやってみるとか、もっと大切なことがあると思います」

B 料理だけでなく、国が違くとやり方が違うことがあります。例をあげて話し合っ
 てみましょう。



書きましょう

A-1 _____ しているとき、一人が _____ 。すると、ほかの人が _____
 ものだと言った。

例: トマトの皮を、むく人も、むかない人もいる。

→ 友達が集まって、一緒に料理をしているとき、一人がトマトの皮をむいてい
 た。すると、ほかの人がトマトは皮をむかないものだと言った。

1. 電話で自分の会社の社長のことを、「山川社長は～」とは言わない →
2. 自分より上の人をよぶときには「～君」とは言わない →
3. スープを飲むときは音を出さない →

A-2 _____ は問題ではなく、それよりも、 _____ が大切だということが分
 かった。

例: 皮をむくかむかないか

→ 皮をむくかむかないかは問題ではなく、それよりも、一緒に楽しく食べるこ
 とが大切だということが分かった。

1. お金があるかないか →
2. 文法をよく知っているかどうか →
3. 口に出して言うか言わないか →

第6課

[あそぶ]



新しい言葉

う
売れる

かどう
華道

でんとう
伝統

かんたん
簡単ナ・ニ

たん
単なる～

うで
腕

なや
悩む

せいちょう
成長スル

まじめナ・ニ

ひつよう
必要ナ

たの
楽しむ

ちゃどう(さどう)
茶道

けんどう
剣道

じかん
(時間を)かける

ひま
暇つぶし

～といっても

くる
苦しむ

なるほど

ねっしん
熱心ナ・ニ

まるで

ぶんか
文化

まな
学ぶ

み っ
身に付ける

か ま
勝ち負け

ぎ じゅつてき
技術的ナ・ニ

せいしんてき
精神的ナ・ニ

もしかすると

なに
何もかも



いっしょに考えましょう

1. 暇なとき、いつもどんなことをしますか。
2. 「遊び」という言葉を聞いて、何を考えますか。
3. 小さいとき、どんなことをして遊びましたか。
4. 何をしているときが一番楽しいですか。
5. 皆さんの国では大人はどんなことをして遊んでいますか。

【あそぶ】

『パチンコ道』という本が売れているそうです。パチンコは暇なときにちょっと楽しむ遊びだと思っていたのに、それをまるで、華道や茶道のように呼んでいます。日本の文化には、昔から「○○道」と呼ばれるものがあり、その伝統を大切にしてきました。スポーツの世界では、柔道や剣道などがそうです。「○○道」を学ぶ人たちは、花を飾る、お茶を飲む、スポーツを楽しむという簡単にできそうなことに時間をかけ、その形や決まりを身に付けるのです。

ある人が「パチンコは単なる暇つぶしじゃありません。勝ち負けは自分の腕ひとつだと思うから一生懸命になるのです」と言って、こんな話をしてくれました。「腕ひとつといっても、技術的に上手か下手かだけではなく、気持ちの持ち方までも問題にしているのです。高い技術を身に付けようとして、悩み、苦しみながら精神的にも成長していく。そうして身に付けた技術が心と一つになったとき、パチンコに勝てるのです」。その話を聞いて、なるほどと思いました。きれいに花が飾れるのも、本当にお茶が楽しめるのも、スポーツで勝てるのも、技術と心が一

つになったときなのだという考え方です。もしかするとこれと同じような考えで、「パソコン道」や「ゲーム道」などという言葉を使っている人たちがいるのかもしれませんが、しかし、よく考えてみると、この考え方はちょっとまじめすぎるのではないかと思います。このように考えてしまうと、簡単なことまでがみんな「○○道」になってしまいます。何でも熱心にやることはいいことですが、いつも形や決まりのことばかり考えていたら、本当に遊ぶということがなくなってしまいます。時々、何もかも忘れて子供のときのように自由な気持ちで遊んでみることも必要だと思います。

暇 華 呼 *化 統 柔 剣 *学 飾 簡 単 *付 勝 負
腕 的 *手 *下 *手 悩 苦 精 神 成 熟 忘 必 要



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 「パチンコ道」は昔からありましたか。
2. 「〇〇道」と呼ばれるものには、どんなものがありますか。
3. 「〇〇道」は、どんなことを大切にしているのですか。
4. 本を買って、一生懸命にパチンコをするのはどうしてですか。
5. 技術というのは上手か下手かだけを問題にしているのですか。
6. どんなとき、パチンコに勝てると言っていますか。
7. 「パソコン道」や「ゲーム道」のような考え方をどう思っていますか。
8. 「子供のときのように自由な気持ちで遊ぶ」とは、どんなことでしょうか。
9. ゲームに勝つのは、何が大切だと思いますか。
10. 遊びたいと思うのは、どんなときですか。



使いましょう

A 「～てきた」という言い方を練習しましょう。

例: 「〇〇道」は、長く伝えられてきた形や決まりを大切にしてきました。

1. 母は父がなくなってから一人で店を_____てきました。
2. 自分の会社を持ちたいと思って、きょうまで_____てきました。
3. 家を買うために、長い間_____てきました。
4. このおまつりは、八百年ぐらい前から_____てきました。
5. 私は今まで_____てきました。そして、これからもがんばっていきたいと思います。

B 「～まで」という言い方を練習しましょう。

例: その技術を使う人の心の持ち方までも問題にしているのです。

1. とてもおなかがすいていて_____まで食べてしまいました。
2. この本を読んで、_____まで分かるようになりました。
3. 字を見ると、_____まで分かります。
4. 便利になって、_____までできるようになりました。
5. 人を好きになると、_____まで好きになってしまいます。

C 「～といっても」という言い方を練習しましょう。

例: A: いろいろな所へ旅行ができていいですね。

B: ええ。でも、旅行といっても、仕事で行くので大変です。

1. A: あしたテストがあるそうですね。
B: 聞きました。テストといっても、_____。
2. A: 毎日、自分で食事を作るんですか。
B: そうなんです。食事といっても、_____。
3. A: テレビに出たって聞きましたよ。
B: だれに聞きました。出たといっても、_____。
4. A: プレゼントありがとうございます。いつもすみません。
B: いいえ、プレゼントといっても、_____。
5. A: よく本を読まれるそうですね。
B: ええ、でも、_____ といっても、_____ が多いです。

□ 「もしかすると～のかもしれない」という言い方を練習しましょう。

例: A: 彼はなかなか来ませんね。もう三十分も過ぎたのに。

B: もしかすると時間を間違えたのかもしれない。

1. A: あの人、最近元気がなくて、寂しそうですね。
B: もしかすると_____ のかもしれません。
2. A: 今も電話してるんだけど、だれも出てこないんです。
B: もしかすると_____ のかもしれません。
3. A: アンさんは今日、きれいな服を着ていますね。
B: もしかすると_____ のかもしれません。
4. A: あの人、最近とてもうれしそうで、いつもにこにこしていますね。
B: もしかすると_____ のかもしれませんね。
5. A: あそこに人が集まっていますね。
B: もしかすると_____ のかもしれません。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

日本では昔から_____、_____、_____ というような簡単にでき
そうなことを_____ と呼んで、_____。

もしかすると、「パソコン道」「ゲーム道」という言葉も_____ のかもしれ
ません。しかし、この考え方は_____ と思います。時々は何もかも忘れて_____
_____ のではないでしょうか。



話しましょう

A 第6課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「パチンコでも何でも、やるなら上手になって勝ちたいと思うし、その方がいいと思います。パチンコに勝つために『パチンコ道』という本を買って、一生懸命練習する人もいます。勉強と違って本を読むのも楽しいし、それも遊びだと思えます」

B どんなとき、どんな遊びをするか、例をあげて話し合ひましょう。



書きましょう

A-1 _____ といつても、_____ だけではなく、_____ まで_____。

例: 柔道の技術といつのは何を問題にしているのですか。

→ 技術といつても、上手か下手かだけではなく、その技術を使う人の気持ちの持ち方まで問題にしているのです。

1. 医者の仕事といつのは、どんなことを問題にしているのですか →
2. ホテルの仕事といつのは、何を大切に考へているのですか →
3. このスポーツのしあいで、どんなことを大切に考へているのですか →

A-2 _____ はいいことですが、_____ たら、_____ てしまいます。

例: 何でも熱心にやること

→ 何でも熱心にやることはいいことですが、いつも形や決まりのことばかり考へていたら、本当に遊ぶといつことがなくなつてしまいます。

1. 勉強に夢中になること →
2. こいびとに夢中になること →
3. やせてきれいになること →

第7課

[いう]



新しい言葉

とつきゅう
特急

ざんぎょう
残業スル

すべて

くかえ
繰り返す

まちが
間違う

めいれい
命令スル

のこ
残す

きんし
禁止スル

たし
確かナ・ニ

あいて
相手

りょうきん
料金

つもり

してい
指定スル

アナウンススル

やさ
優しい

かん
感じがする

いたずらスル

とうしょ
投書スル

おも
思いやり [←思いやる]

むあつ
蒸し暑い

き
気にかかる

けん
券

けいご
敬語

の
乗せる

もと
求める

はな
離れる

め
目にする

つた
伝わる



いっしょに考えましょう

1. 日本語できれいだと思う言葉を五つあげてください。
2. 日本語できれいな言葉を五つあげてください。
3. どんなことを言われたとき、うれしかったですか。
4. どんなことを言われたとき、嫌な気持ちがありましたか。
5. 人と話すとき、どんなことに注意して話していますか。

[いう]

私が毎日使っている〇〇線の特急電車に乗るには、五百円の特別料金を払わなければならない。ちょっと高いけれども、蒸し暑くて我慢できない日や残業でとても疲れた日など、「コーヒー一杯飲んだつもりで」と考えて、つい乗ってしまう。

- 5 この電車を利用して、いつも気にかかることがある。「この電車は、すべて指定席です。特急券をお持ちでない方はお乗りにならないでください」と何度も繰り返されるアナウンスである。敬語の使い方が間違っているのでも、言い方が失礼なのでもない。文法も正しいし、声も優しい。けれども私には、「乗せてあげるから券を買ってきてなさい」と命令されているような感じがする。「お乗りになる前に特急券をお求めください」とでも言えないだろうかと思ってしまう。

- いつかどこかで、「私が子供たちに話す言葉は『残さないように食べなさい』とか、『そんないたずらやめなさい』とか、『テレビはもう少し離れて見なさい』と、一日中、命令や禁止の文ばかりだ」という若いお母さんからの投書を目にして、「そうだろうか」と思ったことがある。確かに言葉の形はそうだが、お母さんの命令文からは「たくさん食べて大きくなるんですよ」「近くでテレビを見ていると目が悪くなりますよ」という子供への思いやりが伝わる。

- 優しく言ったつもりでも「～しなさい」と聞こえ、「～しなさい」と言っても優しさが伝わる。学校では、漢字や文法、言葉の意味などは教えてもらうが、言葉の使い方や伝わり方は教えてくれない。相手のことを考えた言葉とその使い方。特急電車に乗りながら、いつも考えさせられる。

払 蒸 疲 *指 定 券 繰 敬 優 令 感 求 *残 離
禁 *止 投 確 相



答えましょう

次の質問に教えてください。

1. これを書いた人はどんな日に特急電車に乗りますか。
2. 特急電車に乗ると、何が気にかかるのですか。
3. 電車のアナウンスはどんな感じがすると言っていますか。
4. 特急電車のアナウンスをどのようにした方がよいと言っていますか。
5. 若いお母さんは新聞にどのような投書をしましたか。
6. お母さんの言葉からどんな気持ちが伝わると言っていますか。
7. 学校で教えてもらうのはどんなことですか。
8. 特急電車に乗って、いつもどんなことを考えさせられると言っていますか。
9. 気にかかる言葉にはどんなものがありますか。
10. 何か注意するとき、相手に失礼にならないようにするにはどんな言葉を選びますか、そして、どんな言い方をしますか。



使いましょう

A-1 「～つもり」という言い方を練習しましょう。

例: 特別料金は五百円だから、コーヒーを一杯飲んだつもりで、特急電車に乗った。

1. _____ つもりで、歩いて行った。
2. _____ つもりで、銀行にお金を入れた。
3. 死んだつもりで、_____。
4. 父親になったつもりで、_____。
5. 有名な人になったつもりで、_____。

A-2 例: 優しく言ったつもりだったが、「～しなさい」と聞こえてしまった。

1. _____ つもりだったが、入っていなかった。
2. _____ つもりだったが、間違ってしまった。
3. 自分では親切なことをしたつもりだったが、_____。
4. 自分では大人になったつもりだったが、_____。
5. 自分では元気になったつもりだったが、_____。

B-1 「～させられる」という言い方を練習しましょう。

例: あまり飲めないのに、[飲む]飲まされました(飲ませられました)。

1. 歌が上手ではないのに、[歌う]_____。
2. たばこをやめたくないのに、[やめる]_____。

第7課

3. 日曜日なのに、[働く] _____。
4. 今すぐ使わないのに、[買う] _____。
5. まだ下手なのに、日本語で[説明する] _____。

B-2 例: アナウンスの言葉を聞いて、言葉の使い方を[考える]考えさせられた。

1. その話を聞いて、[なく] _____。
2. ニュースを聞いて、[驚く] _____。
3. いつまでも子供が帰ってこないのに、[心配する] _____。
4. がんばっている人を見て、自分も _____ という気持ちに[する] _____。
5. _____ て、 _____ かと[考える] _____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

_____ でも、 _____ ように聞こえたり、言葉の形は _____ でも、
_____ 伝わりことがある。言葉の使い方大切なことは、 _____ や _____
_____ ではなく、 _____ を考えた _____ だと思ふ。



話しましょう

A 第7課を読んである人が次のように言いました。どう思いますか。

「話を聞く人がどう聞くかということも大切だと思います。私の国には、話を聞くのが上手な人をほめる言葉があります。相手が何を言おうとしているかを考えながら聞けば、特急券のことも命令されたような感じはしなかつたろうと思います」

B 人に何かを伝えるとき、一番大切なことは何だと思ひますか。



書きましょう

A-1 _____ で、 _____ が _____ ということを知りて(読んで)、 _____
_____ のは問題だと考えさせられた。

例: ニュースで、おおぜいの人があるビルで死んだと言っていた
→ ニュースで、おおぜいの人があるビルで死んだということを知りて、高い
建物をたくさん作るのは問題だと考えさせられた。

1. テレビをつけたら、ふつうの人は都会で家が持てなくなってきたと言っていた
→
2. 工場の出すきたない水で魚がたくさん死んだとラジオで言っていた →
3. 新聞によると、勉強のため、夜十時ごろ家へ帰る小学生がふえているそうだ
→

A-2 _____は確かに_____が、_____という気持ちが伝わる。

例: 母親の言葉 / 命令文が多い

→ 母親の言葉は確かに命令文が多いが、良い子に育ててほしいという気持ちが伝わる。

1. 父の言葉 / あまり多くない →
2. 先生 / 時々きびしいことを言う →
3. ジョンソンさん / 日本語があまり上手ではない →

第8課

[かざる]



新しい言葉

がいけん 外見	えいきょう 影響 スル	ようす 様子
か 変わる	せいふく 制服	せいけつ 清潔 ナ・ニ
ピンク	～といえば	だいてうりょう 大統領
せんきよ 選挙 スル	うそ	ちようさ 調査 スル
うち	くら 比べる	きゅうりょう 給料
しん 信じる	データ	りっぱ 立派 ナ・ニ
しんらい 信頼 スル	ところで	めいし 名刺
かいしゃめい (会社)名	かたが 肩書き	うと 受け取る
あんしん 安心 スル	よこ 横	ぶちよう 部長
はんだん 判断 スル	なかみ 中身	おしゃれ ナ・ニ
むし 無視 スル	りそう 理想	どうじ 同時ニ



いっしょに考えましょう

- 銀行に勤めていると考えてください。お金を借りたいと言って次の人たちが来ました。会えるのはこの中の一人だけです。どの人と会いますか。
 - サンダルをはいた五十歳ぐらいの人。
 - セーターを着た二十歳ぐらいの人。
 - 上着を着、ネクタイをしめた四十歳ぐらいの人。
 - きれいにお化粧をした三十歳ぐらいの人。
- 一回会っただけで、その人がいい人だと思ったことがありますか。それはどうしてですか。

[かざる]

人間にんげんくらい外見えいきように影響えいきようされるものはいないだろう。古い駅がきれいになると、そこを利用する人の服装ふくそうや様子ようすまですっかり変わってしまうなどということもある。病院の制服せいふくは清潔せいけつな白と決まっていたが、最近さいきんは病院に来る人の気持ちを考えて、水色やピンクなどの優しい色を使う所が多くなった。

5

外見えいきようといえば、アメリカの大統領だいてうりようせんきよ選挙せんきよでは、背せの高い人が長い間勝ってきたという、うそのような本当の話がある。これもアメリカの話だが、ある大学で調査ちようさしてみると、卒業生そつぎやくせいのうち背せの高い人の方が低い人ひくくろに比べ、給料きゆうりようが高かったという信じられないようなデータが集まった。これは背せが高い人の方が立派りっぱに見え、信頼しんらいされやすいということだろう。

10

外見えいきように影響えいきようされるいい例ではないだろうか。

ところで、日本人がよく使う名刺めいしに書かれている会社名かたがや肩書きかたがも外見えいきようの一つと考えられる。初めて紹介された人から受け取った名刺めいしに有名な会社名かたがが入っていれば、それだけで人は安心あんしんするし、名刺めいしの横よこに部長ぶちょうの肩書きかたがでもあれば、その信頼しんらいはもっと確かなものになる。

15

よく外見えいきようだけで人を判断はんだんするなどと言われるが、実際じっさいにはそれだけで人を見てることが多い。もちろん昔から言われている「外見えいきようより中身ちゆうしん」ということは本当に大切なことだ。いくら外側がわを飾っておしゃれをしても、中身ちゆうしんがなければ何にもならない。しかし、社長しゃちょうになってから前まへよりずっと立派りっぱになったという人の例もあるのだから、外見えいきようを無視むしすることはできない。理想りそうを言えば、外側がわを作ると同時に中身ちゆうしんを良くする努力どうじを続けることが大切なのであろう。

20

*間 影 響 装 *様 *子 *変 制 清 潔 領 拳 背 *調
査 低 比 給 *立 派 信 頼 刺 肩 *安 断 *実 視
想 *同



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 古い駅がきれいになると、そこを利用する人の様子はどうなりますか。
2. それはどうしてですか。
3. 同じような例はほかにもありますか。
4. それはどんな例ですか。
5. 外見の良い方が信頼されるという例にはどんなものがありますか。
6. 日本人が人を外見で判断する例をあげてください。
7. 「外見より中身」とはどういう意味ですか。
8. これを書いた人は、外見と中身のどちらを大切にされた方がいいと考えていますか。
9. 外見と中身とどちらが大切だと思いますか。
10. 外見を良くしておけば良かったと思ったことがありますか。



使いましょう

A 「ところで～といえば」という言い方を練習しましょう。

例: A: 駅の近くに、新しい病院ができましたね。

B: 大きな病院ですね。ところで、病院といえば、山田さんが入院したそうですよ。

1. A: きこのうのテレビ番組、面白かったですよ。
B: 私も見ました。ところで、_____ といえば、_____。
2. A: 今年の夏休みはタイへ旅行するんです。
B: いいですね。ところで、_____ といえば、_____。
3. A: 来年は選挙がありますね。
B: そうでしたね。ところで、_____ といえば、_____。
4. A: 日本の家は高いですね。
B: そうですね。ところで、_____ といえば、_____。
5. A: パソコンを使って新しい名刺を作りました。
B: 見やすいですね。ところで、_____ といえば、_____。

B 「～ばそれだけで～」という言い方を練習しましょう。

例: 有名な会社名の入った名刺をもらえば、それだけで安心する。

1. 百円入れれば、それだけで_____。
2. 友達がいれば、それだけで_____。

3. 声を聞けば、それだけで_____。
4. 写真を見れば、それだけで_____。
5. 大学に入れば、それだけで_____。

C 「いくら～ても、～ば～」という言い方を練習しましょう。

例: いくら外側を飾っても、中身がなければ何にもならない。

1. いくら高い品物でも、_____ば_____。
2. いくら言葉がきれいでも、_____ば_____。
3. いくら値段が高くても、_____ば_____。
4. いくらおしゃれをしていても、_____ば_____。
5. いくら毎日練習しても、_____ば_____。

D 「～と同時に」という言い方を練習しましょう。

例: 自分の意見も言うと同時にほかの人の考えもよく聞くことが大切だ。

1. まどをあけると同時に_____。
2. _____と同時にベルが鳴り始めた。
3. _____と同時に人に信頼されるようになった。
4. 一生懸命に働くと同時に_____。
5. 若いときには_____と同時に_____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

人間は_____ものだ。病院で_____や、背の高い人が_____たり、
_____たりするのは、そのいい例だ。昔から_____とされているが、
_____。しかし、理想を言えば_____。



話しましょう

A 第8課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「今は外見の時代だと思う。テレビを見ると、歌が上手でなくても、外見がよく見える人が有名になっている。外見が悪くて友達ができなかったり人に嫌がられたりすることもある。もっともっと、外見を大切にしよう」

B 外見を大切にしなければならないのはどんなときですか。



書きましょう

A-1 _____ くらい _____ ものはないだろう。 _____ と、 _____ な
どということもある。

例: 人間はすぐ外見に影響される。

→ 人間くらい外見に影響されるものはないだろう。 古い駅がきれいになると、そこを利用する人の服装や様子まですっかり変わってしまうなどということもある。

1. 気の合う仲間とおしゃべりは大変楽しい。
2. 子供が病気をするととても心配だ。
3. パソコンゲームをしていると時間を忘れてしまう。

A-2 _____ はできれば _____ 方がいいです。理想を言えば、 _____ て
_____ もっといいのですが。

例: 学校

→ 学校はできれば有名な方がいいです。 理想を言えば、家に近くて有名なら
もっといいのですが。

1. 結婚相手 →
2. 病院 →
3. 家 →

第9課

[あらわす]



新しい言葉

きんじょ
近所

おさな
幼い

(～に)対する

し
知らず知らずのうちに

リボン

とうとう

からかう

おんな こ ぼう
(女の子)用

おとこ
(男)もの

は で
派手ナ・ニ

くろ
(黒っ)ぽい

ジェンダー

セクハラ

いったい

せっかく

いっぱい
一杯やる

せりふ

いつの間にか

ちようなん
長男

(きかず)じまい

デザイン

くべつ
区別スル

み
見かける

はいいろ
灰色

めずら
珍しい

(～に)ついて

むすこ
息子

わけ

どうしても(～ない)

くちぐせ
口癖

はん
判

えが
描く

むか
迎える

～くせに

ちゃんとスル

こせい
個性

むらさき
紫

じ み
地味ナ・ニ

あらわ
表す

いつまでも

(い)だす
(言い)出す



いっしょに考えましょう

1. 日本語で知っている色を教えてください。
2. その中でどの色が好きですか。
3. どうしてその色が好きですか。
4. 「男の子の色」というと、どんな色を考えますか。
5. 「女の子の色」というと、どんな色を考えますか。

【あらわす】

小学校四年生になる近所の男の子が「赤は女の色だから」と言って、せっかく母親が買ってきたシャツをどうしても着ようとしなかったという話を聞き、私も同じようなことを言って母を^{こま}困らせたことがあったなと、^{おきな}幼いときのことを思い出した。

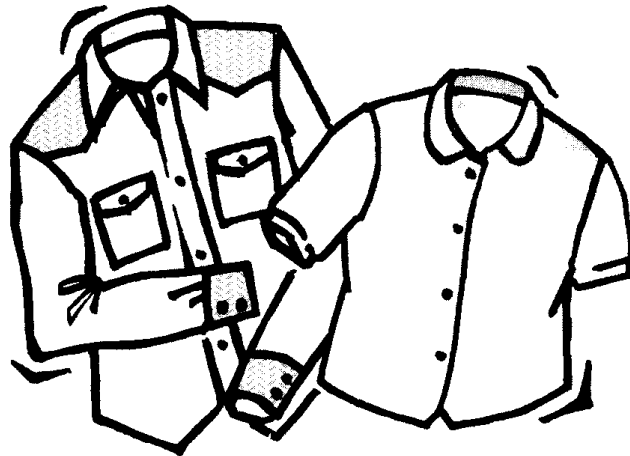
- 5 子供が五人もいたのに、すべて男。その子供たちに囲まれて一杯やりながら、父は決まって「一人でも女の子がいたらなあ」と言ったものだ。「私も女ですよ」父の^{くちくせ}口癖^{たい}に対する母のせりふも、判で押したように決まっていた。女の子を^ほ欲しがっていた父は、家の中に「女の色」が少ないからと言って、カーテンの色をピンクにしてみたり、私たち子供に赤
- 10 の入ったセーターを買ってきたりした。こうして私は知らず知らずのうちに、父に「女の色」を教えられ、いつの間にか私の^{えが}描く女の子は、赤い服を着、ピンクのリボンをするようになっていた。そんな父だったから、^{ちょうなん}長男の私が結婚したときも、やっと自分にも女の子ができたと言って私の妻を^{むか}迎え、家の中に「女の色」が増えると言って喜んだ。しかし、
- 15 父がどうして赤やピンクを「女の色」だと思っていたのかは、とうとう聞かずじまいになってしまった。

- 私が子供のころには黄色いセーターを着たりすると、「男のくせに」とからかわれたものだ。色ばかりではなく、例えばかばんや洋服のデザインなどにも、ちゃんと男の子用、女の子用と^{くべつ}区別があったように思う。
- 20 ところが、最近^{こせい}は個性を大切にする時代なのだそうで、テレビを見ている、町を歩いている、「女の人」用のかばんを持った男性や、「男も

[あらわす]

の」の時計をした女性を見かけることも少なくない。ピンクや紫^{むらさき}の派手なシャツを着、赤いハンカチを持った男性もいれば、黒や灰色^{はいろ}の地味^{じみ}な上着^{うわぎ}を着、黒っぽいズボンをはいた女性も、珍^{めづら}しくない。知らず知らずのうちに「男の色」「女の色」を覚^{おぼ}えた私の目には、もう今は男女を表^{あらわ}す色の区別などなくなってしまうように見える。 5

「お父さん、少しジェンダーについて勉強したら。いつまでもそんなこと言っていたら、会社でセクハラって言われるぞ」大学生になった息子^{むすこ}が、いつのころからかそんなことを言い出した。「しかし、それならいったい『女の色』を嫌がって母親を困らせる小学生が、今でもいるのはどういうわけなのだ」と、私は心の中で考えてしまう。 10



紫 灰 *地 *上 珍 覚 表 息



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. この人が、幼いときのことを思い出したのは、どうしてですか。
2. お父さんはどうしてカーテンをピンクにしたり、子供たちに赤い色の入ったセーターを買ってきたりしたのですか。
3. この人の描く女の子がいつも赤い服を着、ピンクのリボンをしているのはどうしてですか。
4. この人が子供のころには、黄色いセーターを着たりすると何と言われましたか。
5. この人が子供のころには、どんな物に「男の子」用、「女の子」用の区別があったのですか。
6. 最近、どんな男性や女性を見かけますか。
7. それはどうしてだと言っていますか。
8. この人は息子に、どう言われていますか。
9. 最近でも物の色や形に男性用、女性用の区別があると思いますか。
10. 今持っている物の中で男性用の物は何ですか、女性用の物は何ですか。



使いましょう

A 「せっかく」という言い方を練習しましょう。

例: せっかく しゅくだいをしたのに、忘れてきてしまいました。

1. せっかく旅行に行く用意をしたのに、_____。
2. せっかくおいしい料理を作ったから、_____。
3. せっかく_____のに、家にいませんでした。
4. せっかく_____から、みんなに見てもらいましょう。
5. せっかくの_____なのに、働かなければなりません。
6. せっかくの_____だから、きょうから使いましょう。
7. A: 今晚、一緒に映画を見に行きませんか。
B: せっかくですが、_____。
8. A: これ、おいしいですよ。たくさんめしあがってください。
B: せっかくですが、_____。

B 「どうしても～ようとしない」という言い方を練習しましょう。

例: 母親が買ってきた赤いシャツをどうしても着ようとしなかった。

1. むすめは寝る時間になっても、どうしても_____としなかった。
2. _____のに、息子はどうしても_____としない。

3. _____ のに、かれはどうしても学校を休もうとしない。
4. _____ のに、かれはどうしても食べようとする。
5. _____ のに、どうしても _____ ない。

㉔ 「～たものだ」という言い方を練習しましょう。

例： 私が子供のころには、黄色いセーターを着たりすると「男のくせに」と言われたものだ。

1. 今と違って、私の子供のころはよく _____ たものです。
2. 昔は地下鉄がなかったので、 _____ たものです。
3. 学生時代にはお金がなかったので、 _____ たものです。
4. 暇だったころは _____ たものです。
5. ひらがなが読めなかったころは _____ たものです。

㉕ 「～ように思う」という言い方を練習しましょう。

例： A: この音楽、ごぞんじでしょう。

B: ええ、どこかで聞いたように思ったんですが。

1. A: あれ、しゅくだいを忘れたんですか。
B: ええ、 _____ ように思ったんですが。
2. A: 私のペンを知りませんか。
B: さっき、 _____ ように思いますが。
3. A: どこかでお会いしたことがありましたか。
B: ええ、 _____ ように思いますが。
4. A: この字、知っているでしょう。
B: ええ、確か _____ ように思うんですが。
5. A: この料理、初めてですか。
B: いいえ、一度 _____ ように思うんですが。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

_____ という話を聞いて昔のことを思い出した。私は父に _____ ように思う。

個性を大切にする今は _____ ように見えるが、それなら _____ はどういうわけだろう。

第9課



話しましょう

A 第9課を読んで、ある人が次のように言いました。 どう思いますか。

「いつ、どこで、どんなものを着るかは長い時間かかって昔から考えられたものだから、好きかきらいかだけで決めてはいけないと思います。 結婚式のときも、仕事に行くときも、私はみんなと同じ服装で行きます」

B 私たちは毎日の生活の中で、どんなところに「色」を利用していますか。



書きましょう

A-1 _____ のに、いつの間にか _____ いた。

例: きのうまで子供だと思っていた

→ きのうまで子供だと思っていたのに、いつの間にか大人になっていた。

1. 名前も知らなかった →
2. 顔を見るのも嫌だった →
3. 初めはへやに何もなかった →

A-2 _____ 。 _____ も _____ ば、 _____ も _____ 。

例: この学校には、アメリカ人や中国人などいろいろな人がいる

→ この学校にはいろいろな人がいる。 アメリカ人もいれば、中国人もいる。

1. 京都は、新しいビルと古い建物が一緒であって、古くて新しい町だ →
2. ジョンさんは、絵をかいたり、ピアノをひいたり、いろいろできる →
3. 公園の子供たちは、ないたり、けんかをしたり、見ていると面白い →

第10課

【いきる】



新しい言葉

せんじつ 先日	とつぜん 突然ニ	アンケート	こえ (声を)かける
えがお 笑顔	しあわ 幸せナ・ニ	(いき)がい	うーん
～まま	だま 黙り込む	つまり	いきる
お 追う	たいてい	せつない 接待スル	～やら
じょうし 上司	ひ 引越スル	す 過ごす	ほとんど
ポント	な 投げかける	とまどう	じゅうだい (十)代
こうはん 後半	(～に)かけて	つきあ 付き合う	はたら 働きバチ
てんしよく 天職	も 燃える	むすめ 娘	まちかど 街角
おも 思いがけない	たった～	いちど (一)度	じんせい 人生
コピースル	まんぞく 満足スル・ナ・ニ	まあまあ	ふまん 不満ナ・ニ
あい 愛スル	さいのう 才能	けんこう 健康ナ・ニ	その他
しゅみ 趣味	こい 恋スル	へいほん 平凡ナ・ニ	へんか 変化スル
と 富む	けいざいてき 経済的ナ・ニ	ゆた 豊かナ・ニ	しゃかいてき 社会的ナ・ニ
ちい 地位	めいよ 名誉		



いっしょに考えましょう

1. 今までに何かのアンケートに答えたことがありますか。
2. それはどんなアンケートでしたか。
3. 何かに夢中になったことがありますか。
4. 何かを夢中になってやっている人を見て、どう思いますか。
5. 今、一番やりたいことは何ですか。

【いきる】

先日町を歩いていると、突然「アンケートをお願いします」と声をかけられた。笑顔で「今、幸せですか。生きがいは何ですか」と聞かれて、私は「うーん」と言ったまま、しばらく黙り込んでしまった。「生きがい」というのは、つまり生きる意味というようなことなのだろう。最近5は毎日、朝から晩まで仕事に追われ、休みの日もたいてい接待でゴルフに行くやら、上司の引っ越しの手伝いをさせられるやらで、家族と過ごす時間も少なく、自分のことを考える時間などほとんどない。そんなときにポンと投げかけられた「生きがいは」という質問だったので、本当にとまどってしまった。

10 十代後半から二十代にかけてはギターに夢中になっていて、音楽が生きがいだと思っていた。妻の典子と付き合っているころは、彼女がすべてだと思っていたし、会社に勤め始めたころは、人から「働きバチだ」と言われても、これが天職だと思って仕事に燃えていた。娘の幸子が15生まれたときは、かわいくてかわいくて、「目に入れても痛くない」というのはこういうことだと思い、「生きがい」についてなど考えもしなかった。そして今、街角で思いがけない質問をされて、私は黙り込むしかなかった。

たった一度の人生だと言われますが、どう生きていと思いますか。今、幸せですか。生きがいは何ですか。ここに私が答えたアンケートの20ピーがあります。一度やってみてください。そして人生とは、生きがいとは何かを、一緒に考えてみてください。

*日 突 *笑 幸 *生 黙 込 追 接 司 越 *投 質 *後
典 彼 職 燃 娘 *幸 街 角

[いきる]

1. 今の生活に

- 満足まんぞくしている まあまあ満足している
 あまり満足していない 不満だ

2. 今、一番欲しいものは

- 友達 愛あい 才能さいのう 時間
 お金 自由 健康けんこう
 その他 []

3. 今、一番したいことは

- 仕事 勉強 趣味しゅみ 恋こい
 結婚 その他 []

4. 理想だと思える人生は

- 平凡へいぼんな人生 変化へんかに富とんだ人生
 経済けいざい的に豊ゆたかな人生
 社会的ちい地位めいよ、名譽のある人生
 自分がやりたいことをやると満足できる人生
 その他 []

5. 今、生きがいと呼べるものが

- ある [それは、]
 ない
 分からない

*足 愛 才 能 健 康 他 趣 恋 平 凡 富 経 済
豊 位 誉



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. これを書いた人は、道を歩いていたとき、どんなことを聞かれましたか。
2. すぐ答えられましたか。
3. どうしてすぐに答えられなかったのですか。
4. 「生きがい」というのはどういう意味ですか。
5. ギターに夢中になっていたのはいつですか。
6. 会社に勤め始めたころには、どう言われていましたか。
7. 娘さんが生まれたときはどんな気持ちでしたか。
8. そのとき、自分の生きがいはこれだと思いましたか。
9. 「天職」だと思える仕事を持ちたいと思っていますか。それはどんな仕事ですか。
10. 仕事が生きがいになると思いますか。



使いましょう

A 「～まま」という言い方を練習しましょう。

例: 私は電気をつけたまま、いつの間にか眠ってしまいました。

1. 寒かったので、_____まま、寝てしまいました。
2. 急いでいたので、_____まま、出かけてしまいました。
3. 驚いて_____まま、次の言葉が出てきませんでした。
4. せっかく辞書を買ったのに、_____まま、まだ使っていません。
5. ひさしぶりに帰った家は_____のままでした。

B 「つまり～ということだ」という言い方を練習しましょう。

例: A: 結婚式はあたたかくなってからしようと思っているんです。

B: つまり、一月、二月ではないということですね。

1. A: もう少しお金があれば買うんですが...。
B: つまり、_____ということですね。
2. A: 彼女は私の妹の子供です。
B: つまり、_____ということですね。
3. A: あの旅館は急に行ってもとまれないらしいですよ。
B: つまり、_____ということですね。
4. 日本の若い人の身長は二十年前より三センチ以上も高くなっているそうだ。
つまり、_____ということだろう。

5. 女性の半分以上はダイエットをしたことがあるそうだ。
つまり、_____ということだろう。

C 「～から～にかけて」という言い方を練習しましょう。

例: 六月から七月にかけて雨が多いです。

1. 去年の終わりからことしの初めにかけて_____。
2. 十代後半から二十代にかけて_____。
3. 朝から夕方にかけて_____。
4. 北海道から東京にかけて_____。
5. 私の国では_____から_____にかけて_____。

D 「～やら～やら」という言い方を練習しましょう。

例: 急にお客が来たので、急いでへやを片付けるやらお茶を出すやらで大変でした。

1. せっかく海へ行ったのに_____やら_____やらで大変でした。
2. 子供が五人もいると_____やら_____やらで、家の中は大騒ぎです。
3. 急に旅行へ行くことになったので、_____やら_____やらで大忙しでした。
4. せっかくのお金も_____やら_____やらで、すっかりなくなっていました。
5. 妻が急に病気になって_____やら_____やらで大変でした。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

先日、町で「_____」と聞かれた。若いころは_____とったり、_____とっていた。最近_____。そんなとき_____は何かとたずねられて_____てしまった。



話しましょう

A 第10課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私は毎日一生懸命生きています。何をするのにも一生懸命です。生きがいはなんて考えている時間もないのです。本当に一生懸命生きているときには、生きがいがあるかないかということは、問題にならないと思います」

第10課

㊦ そんけいする人について話してください。どんな生き方をしていますか。



書きましょう

㊦ _____ についてなど考えもしなかったので、突然 _____ て _____。

例: 生きがい

→ 生きがいについてなど考えもしなかったので、突然思いがけない質問をされて黙り込むしかなかった。

1. 言葉の伝わり方 →
2. 食事と健康 →
3. 結婚 →

㊦ _____ と、突然 _____ に「 _____ 」と聞かれた。最近 _____ など考えもしなかったので、私はすぐには返事ができず、しばらく _____。それから _____ と考えるようになった。

例: 「生きがいは何ですか」

→ 町を歩いていると、突然若い人に「生きがいは何ですか」と聞かれた。最近 は生きがいのことなど考えもしなかったので、私はすぐには返事ができず、しばらく黙り込むしかなかった。それから私の生きがいは何だろうかと考えるようになった。

1. 「今だれかを愛していますか」 →
2. 「何か趣味を持っていますか」 →
3. 「人生を楽しんでいますか」 →

第11課

[こまる]



新しい言葉

お宅 <small>たく</small>	お嬢さん <small>じょう</small>	成人式 <small>せいじんしき</small>	(電話が)かかる <small>でんわ</small>
～さえ	全く(～ない) <small>まった</small>	年齢 <small>ねんれい</small>	生年月日 <small>せいねんがっぴ</small>
通う <small>かよ</small>	詳しい <small>くわ</small>	起こる	売り込み[←売り込む] <small>うりこ</small>
～ものの	経つ <small>た</small>	(～に)つれて	何だか <small>なん</small>
気味が悪い <small>きみわる</small>	似る <small>に</small>	名簿 <small>めいぼ</small>	怖い <small>こわ</small>
情報 <small>じょうほう</small>	手に入れる <small>てい</small>	又は <small>また</small>	(～に)よって
聞き出す <small>ききだ</small>	方法 <small>ほうほう</small>	経験スル <small>けいけん</small>	間取り <small>まど</small>
人数 <small>にんずう</small>	カーペット	有無 <small>うむ</small>	大手 <small>おおて</small>
家電 <small>かでん</small>	メーカー	掃除機 <small>そうじき</small>	正直ナ・ニ <small>しょうじき</small>
～として	何気ない <small>なにげ</small>	見も知らぬ～ <small>みし</small>	何らかの～ <small>なん</small>
目的 <small>もくてき</small>	管理スル <small>かんり</small>	インターネット	ホームページ
アクセススル	やりとりスル	通信スル <small>つうしん</small>	進む <small>すす</small>
だんだん	個人 <small>こじん</small>	金もうけスル <small>かね</small>	許す <small>ゆる</small>
財産 <small>ざいさん</small>	戸籍 <small>こせき</small>	思想 <small>しそう</small>	宗教 <small>しゅうきょう</small>
遺伝子 <small>いでんし</small>	他人 <small>たにん</small>	方一 <small>まんいち</small>	悪用スル <small>あくよう</small>
～こそ	恐ろしい <small>おそ</small>		



いっしょに考えましょう

1. どんなどき、電話は便利だと思いますか。
2. どんなどき、電話は便利ではないと思いますか。
3. 知らない人から電話がかかってきたとき、どうしますか。
4. 全然知らない会社から、手紙をもらったことがありますか。
5. どうして住所が分かったのだと思いますか。

【こまる】

「お宅のお嬢さん、来年二十歳になりますが、成人式のお着物の御用意はなさいましたでしょうか」と、ある日突然電話がかかってきた。確かに娘は来年の一月で二十歳になる。しかし、その店には今まで一度も行ったことがないし、名前さえ全く聞いたことがなかった。そんな店の人が娘の名前や年齢、生年月日、通っている大学の名前まで詳しく知っている。どうしてこんなことが起こるのだろうかと思議に思った。

そのときは着物の売り込みぐらいにしか考えていなかったものの、時間が経つにつれて、何だか気味が悪くなってきた。娘の友達の家にも似たような電話が何度かかかってきて困ったということだ。これは、娘の通っている学校の学生名簿を店の人が持っているということの意味する。よく考えてみれば、怖いことだ。情報を売ったり買ったりしている会社があるそうだが、そのような会社は、社員名簿や学生名簿から必要な情報を手に入れているのだろう。又は、電話によって聞き出すという方法も考えられる。

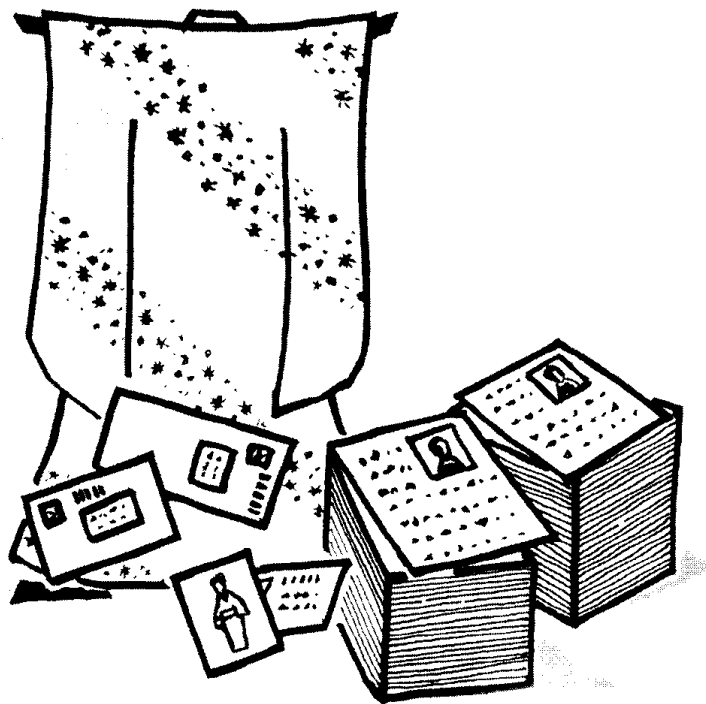
私はこんな経験をしたことがある。ある日「お宅の間取りについてアンケートをお願いします」という電話があり、家族の人数、年齢、家の広さ、間取り、カーペットの有無、その色などについていろいろ聞かれた。大手家電メーカーが掃除機の開発のために行っているという言葉信じて正直に答えてしまったが、こうして聞き出した答えも使おうと思えば立派な情報として利用できる。何気なく聞かれ、何気なく答えたことがみんな情報としてどこかに集められ、見も知らぬ人たちに何らかの

宅嬢 *二十歳 *全 齡 *通 詳 *経 似 簿 怖 情 報
又 *有 掃 除 *正 *直 *気 *目

[こまる]

目的で管理されているとしたら、それは無視できない問題ではないだろうか。

今はだれでもインターネットを使ってホームページにアクセスすれば、簡単に情報のやりとりができる。しかし、情報通信技術の開発が進めば進むほど、情報の管理がだんだん難しくなってくる。個人の情報が金も⁵うけに使われるくらいならまだ許せるが、財産、^{ざいさん}戸籍、^{こせき}思想、^{しゅうきょう}宗教、そして^{いでんし}遺伝子情報のようなものまで他人に知られて管理され、万一それが^{あくよう}悪用されたら、それこそ^{おそ}恐ろしいことである。一人一人が個人の情報を守る方法を、今こそ考えなければならぬのではないだろうか。



管 *進 許 財 産 *戸 籍 宗 遺 悪 恐



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. ある日、どんな電話がかかってきましたか。
2. 電話を受けたとき、どう思いましたか。
3. あとから、どんな気持ちになりましたか。
4. 店の人が娘の名前や電話番号を知っていたのはどうしてだと思いましたか。
5. 情報を売ったり買ったりする会社は、どのようにして情報を集めるのですか。
6. 大手家電メーカーはどんなことをたずねてきましたか。
7. この人は何を心配しているのですか。
8. この人は、今何をしなければならぬと言っていますか。
9. 皆さんの国でもこのような電話がかかってくることがありますか。
10. もしこのような電話がかかってきたら、どのように答えますか。



使いましょう

A 「～ものの」という言い方を練習しましょう。

例: 日本には来たものの、言葉が分からず困っている。

1. 旅館の予約はしたものの、まだ電車のきっぷは_____。
2. 日曜日に行く約束はしたものの、_____。
3. 日本語を習ってはいるものの、使うのは_____。
4. _____ものの、まだ使っていない。
5. _____ものの、買い物をしないで帰ってきた。

B 「～につれて」という言い方を練習しましょう。

例: 時間が経つにつれて、何だか気味が悪くなってきた。

1. 暗くなるにつれて、だんだん_____。
2. 外国生活が長くなるにつれて、_____。
3. 寒くなるにつれて、_____。
4. _____につれて、経験も増えてきます。
5. _____につれて、友達も多くなります。

C 「～によって」という言い方を練習しましょう。

例: 電話によって、いろいろな情報を集める。

1. 新しいコンピューターによって、_____。
2. 外見を飾ることによって、_____。

3. おおぜいの日本人と話すことによって、_____。
4. _____によって、相手の心を知ることができる。
5. _____によって、遠くにいる人にいろいろなことを知らせることができる。

D 「～として」という言い方を使って「田中先生」の話をしましょう。

田中先生は⇒

1. 学校では_____として働いています。
2. 家では_____として子供たちに愛されています。
3. 学校時代は_____として有名でした。
4. 暇なときには_____として_____ています。
5. 十年後には_____として_____たいと思っています。

E 「～ば～ほど」という言い方を練習しましょう。

例： 情報通信技術の開発が進めば進むほど、情報の管理が難しくなってくる。

1. 荷物は_____ば_____ほど良い。
2. ビールは_____ば_____ほどおいしい。
3. 山は上に_____ば_____ほど気温が下がる。
4. 日本語は_____ば_____ほど_____なる。
5. 考えれば考えるほど_____こともある。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

時々_____から、電話が_____ことがある。どうやって_____だろうか。名簿などを集めて_____。このようにして集めた情報を_____ならまだよいが、_____などまで管理されて_____されたりしたら、_____。



話しましょう

A 第11課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私の会社は、いろいろなところから情報を集めて、ほかの会社に売っています。情報を売るときには、悪用しないという約束で売りますから、他人に自分の生活を管理されるというのは、心配しすぎだと思います」

第11課

□B 人に喜ばれる電話やインターネットの使い方を考えてみましょう。



書きましょう

□A-1 _____。どうして_____ののだろうかと思議に思った。

例: 店の人が娘の名前や年齢、生年月日、通っている大学の名前まで詳しく知っている。

→ 店の人が娘の名前や年齢、生年月日、通っている大学の名前まで詳しく知っている。どうしてこんなことが起こるのだろうかと思議に思った。

1. そんなに太っていないのに、若い娘たちは一生懸命ダイエットをしている →
2. 日本のサラリーマンは毎日残業をして、家に帰るのが遅い →
3. 私の友達は、親からお金を送ってもらっているのに、アルバイトもしている →

□A-2 _____くらいならまだ許せるが、_____たら、それこそ_____。

例: 金もうけに使う / 悪用される

→ 個人の情報が金もうけに使われるくらいならまだ許せるが、それが悪用されたら、それこそ恐ろしいことである。

1. 親にうそを言う / 人の物をぬすむ →
2. 接待でゴルフに行く / 会社のお金を自分のために使う →
3. お酒を飲んで大声を出す / けんかして相手にけがをさせる →

第12課

[あつまる]



新しい言葉

うえき 植木	いち 市	しゅふ 主婦	ぐうぜん 偶然ニ
こかげ 木陰	しらが 白髪	こがら 小柄ナ	おたが お互いニ
いきいき(と)スル	ぎんなん	ベンチ	こしお 腰を下ろす
コイ	えさ	まご 孫	はな 話しかける
ボランティア	ホッとスル	きっかけ	な 亡くす
ひとりぐ 一人暮らし	それぞれニ	どくりつ 独立スル	とき 時には
たず 訪ねる	ふだん 普段	それに	としと 年を取る
たいへん 大変ナ	にがて 苦手ナ	てい 手入れスル	ちよつとした～
あきらめる	しょうがない	～ところ	こうしゃ 公社
パンフレット	くやくしょ 区役所	ユニークナ	こころ 試み[←試みる]
ろうじん 老人	てだす 手助けスル	わかもの 若者	ちから 力
さつそく 早速	もうこ 申し込む	もともと	しゅっしん 出身
～後	ひこ 引越す	した 親しい	ゆうじん 友人
(～に)とって	ひととき 一時	せんそう 戦争	くろう 苦勞スル
ちしき 知識	いかに(～か)	せんぱい 先輩	かんしゃ 感謝スル
しんるい 親類	そぼ 祖母	さんせだい (三)世代	

(場所の名前) 浅草 あさくさ 関西 かんさい



いっしょに考えましょう

1. 近くに一人で暮らしているお年寄りはいいますか。
2. お年寄りはどうなことに困っているのでしょうか。
3. 若い人は年を取った人にどんなことをしてあげられますか。
4. 年を取ったら、だれと一緒に暮らしたいですか。
5. お年寄りから教えてもらえることは、どんなことですか。

【あつまる】

植木市うえきいちで有名な東京の浅草あさくさで、若い主婦しゅふ、田川たがわさんを偶然ぐうぜん見かけたのは、去年の夏のことだった。公園の木陰こかげで白髪しらがの小柄こがらなおばあさんと楽しそうに話していた。おばあさんも田川さんもお互いたがにうれしそうだし、生き生きとしていた。次に二人を見たのは秋も終わるころで、二人はぎんなんひろを拾いながら歩いていた。三度目に会ったときは、公園のベンチに腰こしを下ろして、池のコイにえさをやっていた。

「いいですね。お散歩ですか、お孫まごさんと」

と話しかけると、おばあさんは、

「いえいえ、この人はボランティアの田川さん。いつも連れてきてくれるんですよ。ここに来るとホッとするもんだから」

と答えた。

これがきっかけで、私はこの二人、山口やまぐちさんと田川さんと知り合いになった。八十五歳の山口さんは十年ほど前に御主人を亡くしてから、ずっと一人暮らしを続けている。三人の子供たちはそれぞれ家庭を持ち、どくりつ独立している。時には訪ねてくれるが、山口さんは普段話相手がだれもないのはやはり寂しいと思っていた。それに年を取ると買い物も大変だし、苦手にがてな庭の手入れだって大変だ。植木に水をやってくれたり、近くのスーパーまで一緒に行ってくれたり、ちょっとした手伝いをしてくれる人が欲しい。でもあきらめなければしょうがないか。そう思っているところへ、「おとしより公社」のパンフレットが送られてきたのだそうだ。

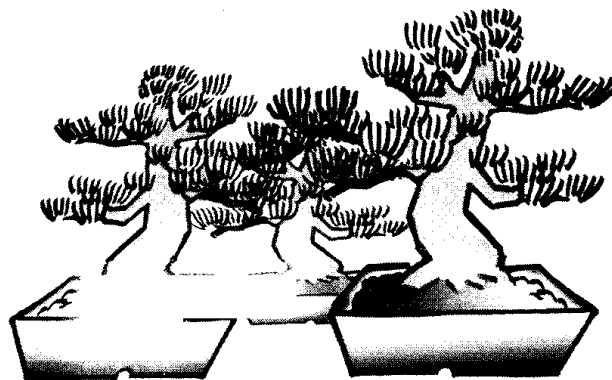
*植 *市 浅 主 婦 偶 *木 陰 *白 髪 柄 互 拾 腰
孫 亡 暮 独 訪 普 段 *苦

[あつまる]

「おとしより公社」というのは、山口さんが住んでいるところの区役所が始めたユニークな^{こころ}試みである。一人暮らし^{ろうじん}老人の手助けをしたいという若い人を、若者^{ちから}の力を借りたいというお年寄りに区役所が紹介するのである。山口さんは^{さっそく}早速申し込んだ。そして紹介してもらったのが田川さんだった。二十三歳の田川さんはもともと^{かんさい}関西の出身だが、結婚後、^{ゆうじん}御主人の転勤で東京に引っ越してきた。まだ子供もなければ親しい友人もいない。そんな田川さんにとって山口さんを訪ねる月曜と木曜の午後は、とても楽しい一時なのである。

「昔の浅草の様子や、^{せんそう}戦争で家を^や焼かれて^{くろう}苦勞した経験や、御主人との思い出など、山口さんの話を聞いていると、私の^{ちしき}知識や経験がいかに少ないかが分かるんですよ。人生の^{せんぱい}先輩としていろいろ教えていただいて^{かんしゃ}感謝しています」と田川さんは言う。

山口さんと私と田川さん。^{しんるい}親類でも何でもなければ、ちょうど^{そぼ}祖母、母、娘の三世代が集まって、^{ことし}今年の夏は一緒に植木市に行く約束をした。きっと楽しい散歩になるだろうと今から楽しみにしている。 15



*試 老 力 *早 速 *西 *友 戦 争 焼 *苦 勞 *知 識
 輩 謝 類 祖 *母 *今



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. これを書いた人が初めて二人を見かけたのはいつ、どこででしたか。
2. この人が二人と知り合ったきっかけは何でしたか。
3. そのとき、二人の様子はどうでしたか。
4. 山口さんが一人暮らしをしているのはどうしてですか。
5. 山口さんはどんなことに困っていましたか。
6. 田川さんはどうして山口さんと知り合いになりましたか。
7. 「おとしより公社」ではどんなことをしていますか。
8. 山口さんは田川さんにどんな話をしますか。
9. 「おとしより公社」をどう思いますか。
10. 私たちは一人暮らしのお年寄りにどんなことをしてあげられると思いますか。



使いましょう

A 「～ものですから」という言い方を練習しましょう。

例: 急いでいるものですから、お先に失礼します。

1. _____ ものですから、つい食べすぎてしまいました。
2. _____ ものですから、うっかり忘れてしまいました。
3. あまり面白かったものですから、_____。
4. どうしても分からなかったものですから、_____。
5. _____ ものですから、_____。

B 「きっかけ」という言い方を練習しましょう。

例: A: いつたばこをおやめになったのですか。

B: 彼女にやめろと言われたのがきっかけなんです。

1. A: どうして医者になろうと決めたんですか。
B: _____ がきっかけなんです。
2. A: どこでかれと友達になったんですか。
B: _____ がきっかけなんです。
3. A: どうして肉を食べないのですか。
B: _____ がきっかけで _____ になったんです。
4. A: 山田さん、毎週日曜日にテニスをされているらしいですね。
B: ええ、_____ がきっかけで _____ そうです。
5. A: おくさんは外国の方だそうですね。
B: ええ、_____ がきっかけで _____ なんです。

【C-1】 「～ところ」という言い方を練習しましょう。

例: A: まだ出かけないんですか。

B: 今、出かけるところです。

1. A: お忙しそうですね。
B: ええ、これから_____ところなんです。
2. A: もう十二時すぎですよ。まだ起きているんですか。
B: 今、_____ところです。
3. A: すみません。ちょっとお願いできますか。
B: ええ、いいですよ。ちょうど_____ところですから。

【C-2】 例: A: 御主人はいらっしゃいますか。

B: 主人はお風呂に入っているところですから、あとでお電話ください。

1. A: ここで音楽を聞いてもいいですか。
B: _____ところですから、静かにしてください。
2. A: まだでしょうか。
B: _____ところですから、お待ちください。
3. A: 片付けてもいいですか。
B: _____ところですから、そのままにしておいてください。

【C-3】 例: A: 一緒に食事でもしませんか。

B: すみません。今、食べたところなんです。

1. _____ところです。あたたかくておいしいですよ。
2. A: 林さんはいらっしゃいますか。
B: たった今、_____ところです。
3. 駅に着いたら、ちょうど_____ところでした。

【D】 「～にとって」という言い方を練習しましょう。

例: 田川さんにとって、山口さんを訪ねる月曜と木曜の午後は、とても楽しい一時
なのである。

1. 子供にとって、夏休みは_____ものです。
2. 若い人にとって、音楽は_____。
3. ^{りゅうがくせい}留学生にとって、家族からの手紙は_____。
4. _____にとって、_____は大きな問題です。
5. _____にとって、_____は楽しみの一つです。

第 12 課



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

田川さんが山口さんと知り合いになったのは_____。山口さんは十年ほど前から_____ので、_____。田川さんは_____し、_____ので、_____と言っている。



話しましょう

A 第 12 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「山口さんには、子供が三人もいるのですから、その子供がお世話をしたらいいと思います。お年寄りを一人にしないように、国が決めればよいと思います。そうすれば『おとしより公社』のようなものもいらなくなると思います」

B 世代の違う人が集まることに、どんな意味がありますか。



書きましょう

A _____という話を聞いていると、_____がいかに_____かが分かるんです。

例： 御主人の思い出や戦争で家を焼かれて苦労した

→ 御主人の思い出や、戦争で家を焼かれて苦労したという話を聞いていると、私の知識や経験がいかに少ないかが分かるんです。

1. 留学生の生活はアルバイトや勉強で大変だ →
2. 今の日本の小学生はテストなどで大変だ →
3. 日本では主婦が外で働くのは、仕事と子供の世話で大変だ →

B _____という話を聞いて、_____がいかに_____かが分かりました。私も_____がきっかけで、_____。

例： 親と子が話し合うこと / 先生の話

→ 寂しくて紫だけで絵をかくという話やいたずら電話をかけて面白いという話を聞いて、親と子が話し合うことがいかに大切かが分かりました。私も先生の話がきっかけで、子供たちと話すようになりました。

1. たばこをやめること / 彼女にやめた方がいいと言われた →
2. 食べ物と健康 / 友人が入院した →
3. 運動する / 体重が増えた →

第13課

[つかう]



新しい言葉

しゅつちやう 出張スル	もうすぐ	ついらく 墜落スル	げんいん 原因
いまだ(に)	ふめい 不明ナ	ゆいごん 遺言スル	いたい 遺体
おちつ 落ち着く	きゆうよ 給与	しょうしん 昇進スル	ちやうし 調子
ストレス	しまいに	ていねん 定年	ひこむ 引っ込む
えん 縁	～ぞ	しょうしゃ 商社	しゅうしょく 就職スル
何より(も)	きら 嫌う	かたみ 形見	あいよう 愛用スル
かた 型	かいがい 海外	めんぜいてん 免税店	うご 動く
がいしゅつ 外出スル	パート	ふべん 不便ナ・ニ	かん 感じる
～どころか	かえって	ゆとり	～わけではない
みまわ 身の回り	しんしつ 寝室	でんし 電子レンジ	すいはんき 炊飯器
せんたくき 洗濯機	でんかせいひん 電化製品	デジタル	ひょうじ 表示スル
いかえ 行き帰りニ	ビル	あちらこちら	たし 確かめる
きにする	きがつく	あと～	せきたてる せき立てる
いらいらスル	あ 合わせる	はらどけい 腹時計	けんとう 見当を付ける
わかす	インスタント	そそ 注ぐ	いま 今では
にらめっこスル	はず	ため 試す	ほほ
せいかく 正確ナ・ニ	きい 気に入る	あ 遭う	かた 語りかける



いっしょに考えましょう

1. いつも時計を持っていますか。
2. 時計が便利だと思うのはどんなときですか。
3. 時計を何度も見るのはどんなときですか。
4. 時計を持たないで生活できるとおもいますか。
5. もし世界中の時計がなくなったらどうなるでしょう。

[つかう]

出張途中の突然の飛行機事故で、主人が亡くなってもうすぐ三年になる。墜落の原因はいまだに不明だ。遺言も残さず、遺体も帰ってこなかった。「時間に追われるような、こんな落ち着かない生活はもう嫌だ。給与も昇進も要らん。こんな調子で仕事を続けていたら、ストレスで
5 しまいには死んでしまう。定年になったら田舎に引っ込んで、時計とは縁のない生活をするぞ」商社に就職して二十年になる主人は、繰り返しこんなことを言っていた。時間に追われる毎日を何よりも嫌っていたその主人が私に残してくれた形見は、長く愛用していた古い型の腕時計であった。海外出張前に「空港の免税店で新しいのを買うから」と言っ
10 て残していった古い腕時計は、今も休まず動いている。

主人を亡くしてから、私は外出するときもパートに出るときも時計を持っていかないことにした。初めは少し不便だと感じることもあったが、慣れてくると不便どころか、かえって生活にゆとりさえ出てきた。時計を持たなくなったからといって、時間のことを全然考えずに生活してい
15 るわけではないし、身の回りに時計が一つもないわけでもない。私の寝室には目覚まし時計があるし、ビデオや電子レンジ、それに炊飯器や洗濯機などの電化製品にまでデジタル表示の時計が付いている。パートの行き帰りにも、駅や銀行のビルなど、あちらこちらにある時計を見て、時間を確かめることができる。

20 時計を持たなくなって、私は自分が前ほど時間を気にしなくなっているのに気が付いた。まず、歩きながら「約束の時間まであと何分」と、

張 墜 *落 *原 因 *遺 *言 与 昇 *要 *田舎 縁 就
*嫌 *形 免 税 *店 回 *寝 *覚 炊 器 洗 濯 製 *表
示

[つかう]

何かにせき立てられて何度も何度も時計を見るものがなくなった。また、急ぐ用事もないのに電車を待ちながら何回も時計を見ていらいらすることもなくなったし、時計を合わせる必要もなくなった。

昔から腹時計などと言うが、私も時計を見なくてもだいたい時間が分かるようになった。「もうそろそろニュースの時間だろう」と見当を付けると、それが大きくは間違っていない。風呂を沸かしたりインスタントラーメンに湯を注いで時間を待つときも、今では時計とにらめっこしなくてもよくなった。「もうできているはずだ、だいたい三分くらい経ったから」と、試してみるつもりで時計を見ると、それがほぼ正確だからである。私はこんな生活が気に入っている。

10

主人は出発前にどんな時計を買ったのだろうか。時間に追われるような気持ちで、何度も何度もその時計を見ているときに事故に遭ったのではないのだろうか。「田舎に引っ込まなくても、時計と縁のない生活はできますよ」私は今日も主人の形見にそう語りかけている。



*回 腹 *風 呂 沸 湯 *注 *試 *正 *確 遭 *今日 *語



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 御主人は、いつ、どうして亡くなったのですか。
2. 御主人はどうして時計を残していきましたか。
3. 御主人が何よりも嫌っていたのは、どんなことでしたか。
4. 御主人は定年後にどんな生活をしたいと言っていましたか。
5. この人が時計を持たなくなったのはいつからですか。
6. 時計を持たなくなって、かえって生活にゆとりが出てきたのはどうしてですか。
7. 今、時計とにらめっこしなくてもよくなったのは、どうしてですか。また、時計を見ないで、どんなことができるようになりましたか。
8. 御主人の時計を見ながら、この人はどんなことを時計に話しかけていますか。
9. 今、時間に追われて生活していますか。それはどうしてですか。
10. 時計を持たないで生活したいと思いませんか。それはどうしてですか。



使いましょう

A 「～はずだ」という言い方を練習しましょう。

例: 田中さんの家からここまでは一時間くらいかかります。

A: 田中さんはまだですか。もう三時になりますよ。

B: 二時前に家を出たそうだから、もうすぐ来るはずですよ。

1. ジョンさんは日本語を三年間勉強しました。
A: ジョンさんに出す手紙なんですけど、日本語でいいでしょうか。
B: _____ から、_____ はずですよ。
2. 田中さんには、きのう「あしたは学校は休みです」と言いました。
A: 田中さんは、今日は学校が休みだということを知っているでしょうね。
B: _____ から、_____ はずですよ。
3. 田中さんは、きのう「あしたは家にいます」と言っていました。
A: 田中さんに電話しようと思っているんですが。
B: _____ から、_____ はずですよ。
4. 田中さんは、きのう「あしたは家にいません」と言っていました。
A: 田中さんに電話しようと思っているんですが。
B: _____ から、_____ はずですよ。
5. 今、四時五十八分です。次のバスは五時です。
A: バス、なかなか来ませんね。どうしたんでしょう。
B: _____ から、_____ はずですよ。

B 「～からといって、～わけではない」という言い方を練習しましょう。

例: 毎日学校へ来ているからといって、日本語が上手になるわけではない。

1. 肩書きが立派だからといって、_____ わけではない。
2. ねだんが安いからといって、_____ わけではない。
3. 敬語を使っているからといって、_____ わけではない。
4. 日本に来たからといって、_____ わけではない。
5. _____ からといって、漢字が読めないわけではない。
6. _____ からといって、まずいわけではない。
7. _____ からといって、新聞が読めるわけではない。
8. _____ からといって、友達になれるわけではない。

C 「～どころか～さえ～ない」という言い方を練習しましょう。

例: A: 漢字はいくつぐらい読めますか。

B: 漢字どころか、ひらがなさえまだ読めないんです。

1. A: よく外国旅行に行かれるのですか。
B: _____ どころか、_____ さえ行ったことはありません。
2. A: この方のご住所をごぞんじですか。
B: _____ どころか、_____ さえ分かりません。
3. A: 料理ができないといっても、焼きそばぐらい作れるでしょう。
B: いいえ、_____ どころか、_____ さえ作れません。
4. A: よく本を読みますか。
B: 忙しくて _____ どころか、_____ さえ読めないんです。
5. A: もうしゅくだいはできましたか。
B: 今日は頭が痛くて _____ どころか、_____ 。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

_____ してから、_____ 生活をしている。初めは _____。時計を持たなくなってから _____ なったし、_____ もなった。私は _____ が気に入っている。



話しましょう

A 第13課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

『時計と縁のない生活』は、田舎でなら考えられても、都会ではできないと思

第13課

います。私は電車の運転をしています、私の運転する電車が五分遅くなっても大きい声で怒るお客さんを見ると、時計は必要だと思います」

□ 私たちの毎日の生活で、要らないと思う機械は何ですか。



書きましょう

□-1 _____ から、_____ ことにした。初めは _____ が、慣れてくると _____ どころか、かえって _____。

例: 自分の時計を持って歩かないことにした

→ いろいろな所に時計があるから、私は自分の時計を持って歩かないことにした。初めは不便なこともあったが、慣れてくると不便どころか、かえってゆとりを持って生活できるようになった。

1. エレベーターを使わないことにした →
2. 車を使わないことにした →
3. テレビを見ないことにした →

□-2 _____ からといって _____ わけではないし、 _____ わけでもない。

例: 時計を持たなくなった

→ 時計を持たなくなったからといって時間のことを全然考えないで生活しているわけではないし、身の回りに時計が一つもないわけでもない。

1. テレビを見なくなった →
2. 田舎で生活している →
3. 教室で日本語を使わない →

第14課

[であう]



新しい言葉

(お)坊さん

自然科学

寺

苦い

活動スル

文字

変える

夜空

血

種

ちっぽけナ・ニ

アイデア

道具

援助スル

ふるさと

おかげ

現れる

自然

教師

さらに

平和

まさか

目に留まる

宇宙

浮かぶ

流す

生き物

思い立つ

提供スル

次々に

週末

栽培スル

協力スル

動植物

祖父

勧める

体験スル

衛星

文章

地球

球

ばかばかしい

宇宙飛行士

環境

種

反応スル

大喜びスル

夢

～うちに

母校

代

仏教

気が弱い

添える

出会い[←出会う]

美しい

争う

民族

周り

移る

分ける

気を良くする

懐かしい

どんなに

汗



いっしょに考えましょう

1. 子供のころ、何になりたいと思っていましたか。
2. だれかに会ったことがきっかけで何かを始めたことがありますか。
3. 何かのきっかけとなった経験がありますか。それはどんなことですか。
4. 言葉が何かのきっかけになったことがありますか。
5. そのほかに何か影響を受けたことはありますか。

【であう】

川上良円さんは若いお坊さんである。富士山に見える町に生まれ、豊かな自然の中で育った。山を歩いて動植物の写真を撮るのが何よりの趣味だという良円さんは、高校を卒業するころまでは母校で自然科学の教師になりたいと考えていた。しかし、家が祖父の代から寺であったこと、さらに父親に強く勧められたことなどが理由で仏教の大学に入った。

父親の良恵さんは、自分の苦い経験から「戦争はいけない。どんなことをしてでも、平和は守らなければならない」といつも言っていた。そしていろいろな所へ出かけていっては、自分の戦争体験や平和の大切さについて話をするのが自分の仕事だと考えていた。良円さんはそんな父親を見て、ただ自然が好きなだけの気の弱い自分に父と同じような活動なんてまさかできるはずがないと思っていた。

大学を卒業する春のことだった。ある写真の展覧会で、一枚の衛星写真に添えられた文字が目にとまった。そして、その短い文章との出会いが良円さんの人生を変えた。

「遠く離れた宇宙から見た地球はとても美しい、夜空に浮かぶ小さな青い球だ。その上で争い、血を流し合っているなんて本当にばかばかしい。国や民族が違って、みんなヒトという同じ一つの種なのだから」

小さい青い球の上の生き物——宇宙飛行士の言葉に、そうか、それが自分たちだったのか、と良円さんは思った。毎日見ている富士山も周り

*上 *良 坊 *富 士 *山 *自 撮 科 師 *父 寺 勧 仏
恵 弱 展 覧 枚 衛 *星 添 文 *留 章 宇 宙 *美
*夜 *空 浮 *争 血 流 民 種 *士 周

[であう]

の家も人も、宇宙から見たら一つのちっぽけな球なのだ。

良円さんは、一年ほど前から、町に住み始めたベトナムの人たちと一緒に畑を作ってみようと思立った。戦争のために国を離れて新しい環境^{かんきやう}に移り、一生懸命に生活しようとしている人たちである。畑作りのアイデアを町の人たちに話してみたところ、土地を提供^{ていきやう}してくれる人、野菜の種^{やさい たね}を分けてくれる人、畑仕事の道具^{どうぐ}を貸してくれる人が次々に出てきた。そんな反応^{はんのう}に気を良くした良円さんは、あちらこちらへ行き、いろいろな人に援助^{えんじよ}を求め、そして週末^{しゅうまつ}には朝からベトナムの人たちと畑に出るようにした。ベトナムのみんなは大喜びだった。懐かしいふるさとの野菜^{さいばい}が栽培^{うゑ}できるなんて夢^{ゆめ}のようだというおばあさんがいた。工場の仕事でどんなに疲れていても、野菜畑のおかげで元気になれると言う若者もいた。初めてできた野菜を協力^{きやうりよく}してくれた町の人たちに分けて、食べてもらった。そうしているうちに、喜んだ町の人の中から、もっと広い土地を貸そうと言ってくれる人や、一緒に汗^{あせ}を流したいという若者も現^{あらわ}れた。

良円さんは今、父親とは違った形で平和のために自分にできそうなことは何だろうか、まじめに考え始めたところである。

環 境 移 提 * 供 菜 * 種 具 反 応 援 末 懐 栽
培 * 夢 協 汗 現



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 川上さんが自然科学の教師になりたいと思っていたのはどうしてですか。
2. 川上さんのお父さんはどんな活動をしていますか。
3. 展覧会の写真を見て川上さんはどう思いましたか。
4. そして、何をすることにしましたか。
5. どうして川上さんの町にベトナムの人がいるのですか。
6. 町の人たちはどんな協力をしてくれましたか。
7. ベトナムの人たちは何と言って喜びましたか。
8. 野菜をもらった町の人たちの中からどんな人が出てきましたか。
9. 川上さんのような人を知っていますか。その人はどんなことをしていますか。
10. 平和のためにできることは何だと思いますか。



使いましょう

A 「～ては～」という言い方を練習しましょう。

例: 彼はいろいろな所へ行っては写真を撮っています。

1. 家族の写真を見ては_____。
2. 父が好きだった音楽を聞いては_____。
3. 体重をはかっては_____。
4. 父はお酒を飲んで_____。
5. _____ては_____を思い出している。

B 「まさか～はずがない」という言い方を練習しましょう。

例: A: 小林さんがあのマンションを買うと言っていたそうですよ。

B: あんな高いマンションがまさか買えるはずがありませんよ。

1. A: 青山さんが入院したというのは本当ですか。
B: そんなことないでしょう。あんなに元気だった人がまさか_____はずがありません。
2. A: これ、もう動きません。
B: ええっ。きのう買ってきたばかりなのに、まさか_____はずがありません。
3. A: 都会の中に野菜畑があるそうです。
B: だれに聞いたんですか。まさか_____はずがありません。
4. A: まだでしょうかね。
B: 何度もたのんだのですから、まさか_____はずがありません。

5. A: 上手な絵ですね。息子さんがおかきになったのですか。
 B: まさか _____ はずがありません。

C 「～たところ」という言い方を練習しましょう。

例: 先生にうかがってみたところ、分からないという返事でした。

1. 空港に電話をして聞いてみたところ、_____。
2. 実際に行ってみたところ、_____ ほど_____。
3. できるかどうか聞いたところ、_____ ということでした。
4. 市役所で調べてもらったところ、_____。
5. たばこに火をつけようとしたところ、_____。

D 「～うちに」という言い方を練習しましょう。

例: 何回も練習しているうちにだんだん分かってきました。

1. 朝のうちに_____。
2. 若いうちに_____。
3. 元気なうちに_____。
4. 暗くならないうちに_____。
5. 忘れないうちに_____。
6. いろいろ考えているうちに_____。
7. 話し合っているうちに_____。
8. 日本で生活しているうちに_____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

川上さんは _____ までは _____ と思っていた。その気持ちが変わったのは _____ からだった。それがきっかけで _____ てみようという気持ちになった。みんなに喜んでもらって _____ とまじめに考え始めている。



話しましょう

A 第14課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「良円さんのような人をたくさん知っています。でも、一人の力は小さなものだから、そんな人が何人いても世界は今と同じです。自分が満足するために働いているのならいいのですが...」

第 14 課

㊦ 大切にしている人や物との出会いについて話してください。



書きましょう

㊦-1 _____ には _____ しているうちに、 _____ になった。そこで _____ と _____ てみたところ、 _____。

例: 草花の写真を撮る ⇨ その絵をかく

→ 山を歩いてはそこに生えている草花を見ているうちに、草花の写真を撮るようになった。そこで今度はその絵をかこうと思ってかいてみたところ、前より草花のことがよく分かるようになった。

1. 絵を見る ⇨ 自分でかく →
2. 自分でケーキを焼く ⇨ ケーキの店を始める →
3. ダイエットの研究をする ⇨ それを本に書く →

㊦-2 _____ ている。私はそんな _____ を見て、まさか _____ はずがないと思っていた。そんな気持ちが変わったのは _____ がきっかけだった。

例: 父がいろいろな所へ行って、平和について話をしている。

→ 父がいろいろな所へ出かけて行って、平和について話をしている。私はそんな父を見て、まさか自分にそんなことができるはずがないと思っていた。そんな気持ちが変わったのは一枚の写真を見たのがきっかけだった。

1. 娘がやせようとたいそうをしている →
2. 友達が毎日五キロ走っている →
3. 母が新聞によく投書している →

第15課 [わかりあう]



新しい言葉

たび はじ す 旅の恥はかき捨て	ことわざ	しょうしょう 少々	ひじょう 非常ナ・ニ
こんなん 困難ナ	かぎ 限る	その上	きびしい 厳しい
じょうげ かんけい 上下関係	さだ 定める	わく 枠	ぶれいこう 無礼講
ひょうげん 表現スル	げんざい 現在	かいぎ 会議	こじんてき 個人的ナ・ニ
めうえ 目上	めした 目下	の 述べる	しっかり(と)スル
き 決める	こわ 壊れる	いきぬ 息抜きスル	ささ 支える
げんだい 現代	ぜんたい 全体ニ	しゅうだん 集団	ちつじょ 秩序
できあ 出来上がる	あいか 相変わらず	かちょう 課長	ひらしゃいん 平社員
みぶん 身分	(～に)したがって	たて 縦	みだ 乱す
かかわり[←かかわる]	き 気にかける	いがい ～以外	むかんしん 無関心ナ・ニ
きづ 気付く	ふり	とひ 取り引きスル	とひ (取り引き)先
あわ 慌てる	ゆず 譲る	たいど 態度	ぞく 属する
りえき 利益	きりつただ 規律正しい	いっぽう 一方	かんしん 関心
いしき 意識スル	あつか 扱い[←扱う]	なげ 嘆き[←嘆く]	ていねい 丁寧ナ・ニ
ただし	あき 明らかナ・ニ	う 受け入れる	りかい 理解スル
けつ 決して(～ない)	よそ者	なかなか	つくあ 作り上げる
～まい			



いっしょに考えましょう

1. 皆さんの国には外国人がたくさんいますか。
2. これまでに「外人」と呼ばれたことがありますか。
3. 皆さんの国にも「外人」という言葉がありますか。
4. 日本人とすぐ友達になれますか。
5. 日本人の友達とそのほかの国の友達とでは、どちらが多いですか。

【わかりあう】

「旅の恥はかき捨て」ということわざがある。旅に出たら少々のことは許されるという意味だ。昔の日本では旅に出ることは非常に困難なことだった。多く人は生まれた土地を離れられず、死ぬまで限られた所に住み、その上、厳しい上下関係の中で生きていた。旅はその定められた枠から出られる、ただ一つの機会だったわけだ。それで、旅に出たら少しぐらいの自由は許されてもよいと考えたのだろう。

無礼講という言葉もある。古くから使われている表現で、現在でも「今日は無礼講で…」と言われれば、会議の席でも個人的な集まりでも、そのときだけは相手が自分より目上か目下かなどは忘れ、少しぐらいの失礼があっても気にせず自分の意見を述べることができる。しかしこのときが過ぎれば、また厳しい上下関係に戻らなければならない。しっかりと決められた社会の枠が長く壊れずに続いてきたのは、無礼講のような息抜きがこれを支えてきたからなのだろう。

現代の日本では、社会全体としての上下関係はほとんどなくなったように見える。とはいっても、昔とはまた違った集団の秩序がしっかりと出来上がっている。その一つが会社である。会社の中では相変わらず、社長、部長、課長、平社員という身分にしたがって縦の関係が厳しく守られ、それを乱そうとする者はあまりいない。ところが会社とかかわりのある人間関係は気にかけるのに、それ以外の人に対しては無関心であることも多い。電車の中で、お年寄りが立っていても気付かないふりをしておきながら、会社の上司や取引先の人が乗ってくると、慌てて

恥 捨 常 *困 *難 限 厳 *下 *定 枠 *無 講 *現 在
述 戻 壊 *息 抜 支 *集 団 秩 序 課 *平 縦 乱
慌

[わかりあう]

席を譲^{ゆず}ったりすることさえある。このような態度^{たいど}は「ウチ」と「ソト」という関係から説明できる。自分の属^{ぞく}している社会、自分の利益^{りえき}に直接かかわるグループを「ウチ」といい、「ウチ」の者に対しては規律^{きりつ}正しくその秩序を守るようにする。一方^{いっぽう}、「ソト」に対しては「ウチ」に対するほどの関心を持たない。

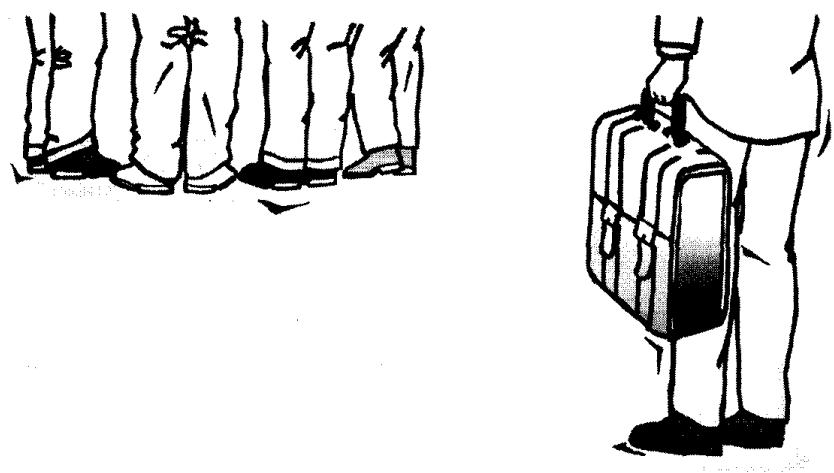
5

外国人のことをよく「外人」というが、これもやはり同じような意識から出た言葉だろう。何年日本に住んでいようと、日本人より日本的であろうと、いつまでも「外人」^{あつか}扱いされるといふ嘆き^{なげ}を聞いたことがある。「日本人は確かに大変丁寧^{ていねい}だが、ただしそれはお客様^{きやく}に対する丁寧さであることは明らか^{あき}かで、自分たちの社会に受け入れて理解^{りかい}し合おうとは、決して^{けつ}してくれない」といふ嘆きだ。「よそ者」というわけである。このように「ソト」の者をなかなか「ウチ」へ入れようとしなないのは、そうすることでしっかり作り上げられた「ウチ」社会を壊すまいとしているからなのだろう。

10

これは日本だけのことだろうか。

15



譲 態 属 益 規 律 *方 扱 嘆 *丁 寧 客 *明 解
*決



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 昔の社会はどんな社会でしたか。
2. 昔の人にとって、旅はどんな機会だったのですか。
3. 「無礼講」とは、どんなことですか。
4. どうして社会の枠が長く壊れずに続いたのですか。
5. 現代の日本で厳しい上下関係が見られるのはどんな集団ですか。
6. 「ウチ」、「ソト」とは何のことですか。
7. この人は日本に住んでいる外国の人からどんな嘆きを聞いたことがありますか。
8. どうして日本人はソトの人たちをウチに入れようとししないのですか。
9. ウチ、ソトの区別があるのは日本だけのことだと思いますか。
10. どうしてこのような区別があるのですか。



使いましょう

A-1 「～わけだ」という言い方を練習しましょう。

例: 時間に追われたくないから、時計を持たなくなったわけです。

若者をお年寄りに紹介するために、「おとしより公社」を作ったわけです。

1. _____ から、留学することにしたわけです。
2. _____ から、仕事をやめることになったわけです。
3. _____ たいと思って、新しい家をさがしているわけです。
4. _____ うと思って、ここに集まっていたいただいたわけです。
5. _____ ので、アンケートをお願いしているわけです。

A-2 「～というわけだ」という言い方を練習しましょう。

例: A: きのはさいふをなくしたり、駅でころんだりして大変でした。

B: きのはあまりいい日ではなかったというわけですね。

1. A: あのう、さっきのお話について、いろいろ質問があるのですが....
B: _____ というわけですね。
2. A: この仕事は難しそうだし、時間もないし、私には....
B: _____ というわけですね。
3. A: ごめんなさい。きのは出かけてしまって、家にいなかったのです。
B: ああ、それで _____ というわけですか。

4. A: トムさんは今度新しく車を買ったそうですよ。
 B: ああ、それで_____というわけですか。
5. A: リンさんは料理学校に行きたいと言っていましたよ。
 B: つまり_____というわけですか。

B 「～ながら」という言い方を練習しましょう。

例: 来ると約束しておきながら、けい子さんは来ませんでした。

1. 日本語ができないと言いながら、_____。
2. たばこが体に悪いと分かっているながら、_____。
3. いつも人の世話になっておきながら、_____。
4. あの人がどこにいるか知っていないながら、_____。
5. 今度は自分でやると約束しておきながら、_____。

C 「～しようと～」という言い方を練習しましょう。

例: 何年日本に住んでいようと分からないことがあります。

1. どのだれと結婚しようと_____。
2. 何があろうと決して_____。
3. 何年かかろうと_____。
4. だれが何と言おうと_____。
5. だれが来ようと_____。

D 「～まい」という言い方を練習しましょう。

例: もう二度とお酒は飲むまいと思ったのに、また飲んでしまいました。

1. _____まいと思ったのに、休んでしまいました。
2. _____まいと思っていたのに、また悪いことを言ってしまった。
3. _____まいと思ったのに、また同じレストランへ行った。
4. _____まいと決めていたのに、_____。
5. _____まいと思っていたのに、_____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

昔の日本人は_____に生きていた。今の社会にも_____区別がある。
 例えば_____というのが「ウチ」と「ソト」の考え方である。外国人を「外人」と呼んで「ウチ」へ入れようとしないのも_____。

第 15 課



話しましょう

A 第 15 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私も長く外国で生活したが、自分たちの秩序を乱されないようにするのは、当たり前のこと。何年日本に住んでいても、いつまでも『外人』だという人に、自分の国のことを考えてほしい。やっぱり、ウチとソトがあるはずだ」

B 外国で生活したことで、ものの見方や考え方が変わりましたか。また、そんな話を聞いたことがありますか。



書きましょう

A-1 _____ ても _____ ふりをしておきながら、_____ と、慌てて _____。

例：電車でお年寄りが自分の前に立つ

→ 電車でお年寄りが自分の前に立っても、気が付かないふりをしておきながら、上司が乗ってくると、慌てて席を譲る。

1. 道で先生に会う →
2. 妻が注意する →
3. 課長に用事をたのまれる →

A-2 _____ が、ただし、それは _____ であって、_____。

例：日本人は丁寧だ

→ 日本人は丁寧だが、ただし、それはお客に対する丁寧さであって、自分たちの社会には入れてくれない。

1. 田中先生は厳しい →
2. トムさんは英語しか話さない →
3. 山口さんはよく旅行する →

第16課

[がんばる]



新しい言葉

しな 市内	む 向かう	どうろ 道路	つうきん 通勤スル
こ 込む	うんてん ノロノロ運転	しんごう 信号	あせ 焦る
それにしても	バックミラー	うつ 映る	じゅうたい 渋滞スル
たまる	い 胃	トースト	ちようしょく 朝食
す 済ませる	ちようかん 朝刊	さっと	めとお 目を通す
だいじ 大事ナ・ニ	しゅうじつ 週日	～までもない	レポート
しよるい 書類	ちゅうしょく 昼食	けいやく 契約スル	す 済む
うあ 打ち合わせ[←打ち合わせる]		きんむ 勤務スル	ちゅうしょう きぎょう (中小)企業
せいねん 青年	けいえい 経営スル	けいえい しゃ (経営)者	セミナー
しゅっせき 出席スル	だいり 代理	ぎりぎり	まあ 間に合う
さいご 最後ニ	アポイント	ぶか 部下	カラオケ
うまくやる	じゆんかつゆ 潤滑油	いちぶ 一部	ひどい
れいじ 零時	べつ 別ニ	いっこだ 一戸建て	としん 都心
ローン	しゃたく 社宅	ぶっかだか 物価高	よなか 世の中
リストラスル	たいしやう 対象	ばい 倍	たから 宝くじ
あ 当たる	ちゃづ 茶漬け	すする	ひといき 一息つく
じゅうぶん 十分ナ・ニ	かいしやう 解消スル	おっと	いねむ 居眠りスル
クラクション	な 鳴らす	(～た)ところで	いた 痛む



いっしょに考えましょう

1. 電車の中で見る日本のサラリーマンはどんな様子ですか。
2. それを見て、どう思いますか。
3. 日本のサラリーマンは日曜日をどのように過ごすか、知っていますか。
4. 日本でサラリーマンをしてみたいですか。
5. 皆さんの国のサラリーマンはどんな生活をしていますか。

【がんばる】

...朝六時半、市内へ向かう道路は、通勤の車でもう込み始めている。私の乗ったバスもいつものようにノロノロ運転。これで今日一日のストレスの始まりだ。この間のように事故でもあれば、会社へ着くのが、また一時間以上遅れてしまう。でも、信号が赤なんだから焦ったってしようがない。それにしても、バックミラーに映るバスの運転手さんの顔は落ち着いたもんだ。毎朝の渋滞にすっかりあきらめているのだろう。朝夕の渋滞にいらいらするようでは、ストレスがたまって胃がいくつあっても足りないだろうからな。

今朝も急いで出かけてきた。起きるとすぐにトーストにコーヒーの簡単な朝食を済ませ、朝刊にさっと目を通して家を出る。子供たちはまだゆうべ帰ったときと同じようによく眠っていた。課長になってから残業が増え、子供たちの顔がゆっくり見られるのは週末ぐらいしかない。その大事な休みも、付き合いゴルフなどでなくなってしまうことが多い。

週日の忙しさは言うまでもない。昨日だってそうだった。午前中は手紙やレポートなど書類の山を片付ける。午後は客と一緒に昼食をとりながら、会議が一つ。やっと契約が済むと、次にまたほかの打ち合わせ。そして、それが終わったときにはもう五時。勤務時間はここまでだが、これで帰れるはずもない。会社を出て「中小企業・青年経営者セミナー」に出席するため、近くのホテルへ向かう。残した仕事もあるが、部長の代理として出るのだから、遅れることは許されない。セミナーにはぎりぎりです間に合ったが、最後までいなくて、途中でアポイントの

*遅 焦 映 渋 滞 胃 *今朝 *朝 *済 刊 *昨日 *昼
契 企 *青 営

[がんばる]

あった客を迎えに部下と一緒に駅へ向かった。客に会って食事をし、その後はいつものカラオケへ。接待は苦手だ。本当はやりたくないのだが、これも商売をうまくやるためのひとつの潤滑油、仕事の一部だとあきらめている。

接待にひどく時間がかかったが、零時近くになってやっと客をタクシーに乗せ、自分も別のタクシーを拾った。三年前に、やっとの思いで手に入れた一戸建て。都心から電車で一時間ほどのところにある。今の給料では、家のローンを払うのも大変だ。会社に近い社宅に住めばずっと便利なのだが、子供たちを少しでも広いところで育てようと思うと、これも我慢しなければなるまい。この物価高の世の中、家族を支えているのも楽ではない。その上、いつリストラの対象になるかもしれない時代だ。そんなことを考えていると、疲れが倍になる。何かいいことはないのだろうか。この間買った宝くじでも当たればなあ。

午前一時前。やっと家に着いた。妻の出してくれたお茶漬けをすすり、ほっと一息つく。一日で一番落ち着く時間だ。もちろんこれだけでは十分なストレス解消にはならないが。

...おっと。つい居眠りしてしまった。運転手がクラクションを鳴らしている。さっきまでの落ち着きはどうした。いらいらしたところでどうにもなるまい。胃が痛むだけだよ、運転手さん。お互い家族のためにまだまだ頑張らなきゃならないんだ。ゆっくり行こうや。今日も、一日長いんだから。

潤滑油 零価象倍宝漬 *消居頑 *張



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. この人が今朝出かけるとき、子供たちは何をしていましたか。
2. 子供たちの顔がゆっくり見られないのはどうしてですか。
3. この人は昨日はゆっくり昼食をとることができましたか。
4. どうして接待をしなければならないのですか。
5. この人は今、どんな所に住んでいますか。
6. どうしてこの人は社宅に住まないのですか。
7. どうして生活が楽ではないのですか。
8. この人が一番落ち着く時間はいつですか。
9. 小さいとき、お父さんとゆっくり話す時間がありましたか。
10. 忙しいサラリーマンたちの楽しみは何だと思えますか。



使いましょう

A 「～ようでは」という言い方を練習しましょう。

例: こんなことでいらいらするようでは、胃がいくつあっても足りない。

1. こんな簡単な漢字も読めないようでは、_____。
2. 自分で洗濯や料理ができないようでは、_____。
3. 勉強をしないでテレビばかり見ているようでは、_____。
4. 満員電車を嫌がっているようでは、_____。
5. 電話もくれないようでは、あの人は_____。

B 「～と、～」という言い方を練習しましょう。

例: 早く花がさくようにと、毎日水をやっている。

1. 少しでもやせられるようにと、_____。
2. 体が丈夫になるようにと、_____。
3. いつ帰ってくるかと、_____。
4. _____と、宝くじを買っている。
5. _____と、我慢している。

C 「～たところで」という言い方を練習しましょう。

例: どんなに頑張ったところで、社長になれるわけではない。

1. どんなにさがしたところで、_____。
2. どんなにしかったところで、_____。

3. どんなお金があったところで、_____。
4. どんなに_____たところで、分かるまい。
5. どんなに_____たところで、すぐにはできないだろう。

D 「～まい」という言い方を練習しましょう。

例: もう春だから、少し寒くなっても、雪はふるまいと思う。

1. 丈夫な人だから、_____ても、_____まいと思っていた。
2. 古い友達だから、_____ても、_____まいと安心していた。
3. こんなに客がいるのだから、_____ても、_____まいと思った。
4. _____から、_____ても分かるまいとあきらめた。
5. _____から、_____ても_____まいと思っていた。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

サラリーマンの一日は忙しい。朝早く家を出て、_____たりする。会社での仕事が終わってもそれで家に帰れるわけではない。_____なければならない。こんなに働くのは_____ためだ。



話しましょう

A 第16課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「サラリーマンは面白くないという人が多いですが、私は定年まで楽しく生活しました。今年も、仕事で友達になったボブさんに招待されてアメリカへ行きます。サラリーマンの中には、暗い話をする人が多いですが、私のような人もおおぜいいます」

B 大会社に勤めたいですか。小さくても自分の会社を経営したいですか。



書きましょう

A-1 もし_____ば、_____てしまう。でも、_____のだから、_____てもしようがない。

例: 事故がある / 信号が赤だ / 焦らなくてもいい
もし事故でもあれば、会社へ着くのが一時間以上遅れてしまう。でも、信号が赤なのだから焦ってもしようがない。

第16課

1. 試験ができない / 結果を見るまで何もできない / 心配しなくてもいい →
2. 上司に嫌われる / 間違ったことは言っていない / 仕事を変えられてもいい →
3. 新しい家へ引っ越しする / 子供のためだとあきらめた / 遠くなってもいい →

□A-2 _____ なら _____ でもいいのだが、少しでも _____ と思うと、
_____。

例: 広い所で子供を育てようと思うと、会社の近くの社宅に住めない
→ 通勤するだけなら社宅でもいいのだが、少しでも広い所で子供を育てたいと
思うと、会社から遠い所でも我慢しなければならない。

1. 安くていい物を買いたければ、デパートではだめだ →
2. いい写真を撮りたいと思うと、普通のカメラでは撮れない →
3. 難しい物を読みたいと思うと、今ある辞書だけではいけない →

第17課

[わかる]



新しい言葉

とお ～通り	せいかく 性格	タイプ	れい 例の～
けつえき 血液	いがい 意外ナ・ニ	にんき 人気	こる
というのも	おも　う 思い浮かべる	(あいさつ)代わりニ	いっばん 一般ニ
おおやけ 公ニ	ルール	おも 重んじる	なにごと 何事も
しんちょう 慎重ナ・ニ	じゅんび 準備スル	こうどう 行動スル	けいこう 傾向
せいしつ 性質	なぜ	しんけいしつ 神経質ナ・ニ	ひとめ 一目で
はんえい 反映スル	たいしょう 対照的ナ・ニ	しば 縛る	じゅうほんほう 自由奔放ナ・ニ
らくてんてき 楽天的ナ・ニ	どうりょう 同僚	き 気まぐれナ・ニ	いんしょう 印象
あた 与える	げいじゆつ 芸術	げいじゆつ　か (芸術)家	じつ 実は
てんけいてき 典型的ナ・ニ	リーダーシップ	じじつ 事実	いっけん 一見スル
のんきな・ニ	わがままナ・ニ	へいき 平気ナ・ニ	ものごと 物事
きゃっかんでき 客観的ナ・ニ	ひひょう 批評スル	あいしょう 相性	れいせい 冷静ナ・ニ
かんじょう 感情	はっきり(と)スル	さまさま 様々ナ・ニ	かがくてき 科学的ナ・ニ
なん 何の～も(～ない)		こんきよ 根拠	いいかげんナ・ニ
わずかな・ニ	ぶんるい 分類スル	しよくぎょう 職業	あ 当てはめる
きけん 危険ナ・ニ	はんろん 反論スル	うえ ～上で	しょたいめん 初対面
より～	ちかみち 近道		



いっしょに考えましょう

1. みんなからどんな性格せいかくだと言われますか。
2. それが正しいと思いますか。
3. 自分の性格は子供のころと比べて変わったと思いますか。
4. 自分の性格の一番好きなところはどんなところですか。
5. 人の性格を知るのにはどんな方法があると思いますか。

[わける]

「何型か聞いてもいい？」

「A 型」

「やっぱりね、思った通りだわ」

人の性格を A・B・O・AB の四つのタイプに分けて判断しようとする、例の血液型の話である。

これが意外に人気があって、多くの人に信じられている。私もこれにこっている一人である。というのも、周りにいる人たちの性格を思い浮かべてみると、確かにこれはよく当たっていると思うからである。初めて会った人にまで、ついあいさつ代わりに「何型ですか」と聞いてしま

う。

A 型は一般に、「秩序や公のルールを重んじ、人間関係を大切に、何事も慎重に準備をしてから行動する」傾向があるそうで、私の周りの A 型人間もたいていこのような性質である。この型の人には、なぜかやせていて神経質そうな人が多く、一目でそれと分かる。日本人にはこのタイプが一番多く、社会生活にもそれが反映されていると言われている。

B 型は A 型とは対照的に、「秩序やルールに縛られることを嫌い、自由奔放で楽天的」な性格だということで、同僚の B 型人間を見てみるとやはりその通りで声が大きく元気な人が多い。また、自由奔放だがそれが時には気まぐれとなり、何を考えているのか分からないという印象を与え、芸術家に多いタイプと言われる。

格 *血 液 *代 般 *公 慎 *重 準 備 傾 *向 *映 照
縛 奔 放 僚 印 *与 芸

[わかる]

O型はというと、実は私も典型的な O 型なのだが、「リーダーシップがあり、仲間意識が強い」のだそうだ。事実グループのリーダーになる人には O 型が多いようである。教師にもこの型が多いと言う。しかしほかの血液型の人に言わせると、O 型は一見のんきそうだが、気が強くてわがままで、他の人の意見を受け入れられないのだそうだ。自分のことを考えてみると、それも事実のようだ。

最後に AB 型だが、「何が起ころうとも平気でいられ、物事の全体をまとめて客観的に考えることができる。批評家タイプが多い」と、その性格が説明されている。私はあまりこの血液型の人とは相性が良くない。いつも冷静で感情をはっきり表すことが少ないところが合わないのかもしれない。

血液型に対する意見は人によって様々である。私が血液型の話を口にするすると、「科学的に何の根拠もない、いいかげんなことだ」とか、「人間をわずか四つのタイプに分類し、職業など何もかもその型に当てはめて考えるという傾向もあるが、それは危険だ」と反論されることが多い。もちろん、人間は一人一人違うということは分かっているつもりである。だからよく付き合った上でその人のことを判断するようにしているが、私が初対面の人にも血液型を尋ねるのは、そうすることが相手をよりよく知る近道になると思うからである。

*典 観 批 評 *性 *冷 *静 根 拠 危 険 論 *面 尋



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. この人が血液型の話にこっているのはどうしてですか。
2. A型の人にはどんな傾向がありますか。
3. B型の人にはなぜ何を考えているのか分からないと思われていますか。
4. O型の人のおいしいところはどんなところですか。
5. この人はどの血液型の人と合わないと言っていますか。
6. AB型の中にはどんな人が多いのですか。
7. 血液型の話にはどんな反論がありますか。
8. この人がよく相手に血液型のことを聞くのはどうしてですか。
9. 皆さんの国には何型の人が多いですか。
10. 血液型性格判断を信じますか。それはどうしてですか。



使いましょう

A 「～通り～」という言い方を練習しましょう。

例: A: それ、五千元ぐらいですか。

B: ええ、その通り、五千元です。よく分かりましたね。

1. A: 道はすぐに分かりましたか。
B: はい、_____の通りに来ましたから。
2. A: 今度のテストは難しかったですね。
B: ええ、やっぱり_____通りでしたね。
3. A: 最近、子供たち悪くなったわね。
B: 大きくなると、親の_____通りにはならないでしょう。
4. A: 今度のしあい、大丈夫でしょうか。
B: 心配しないでください。毎日_____通りにやればいいんだから。
5. A: ちょっとからすぎますね。
B: そうですか。本に_____通りに作ったんですが。

B 「～た上で～」という言い方を練習しましょう。

例: よく付き合った上で、その人を判断するようにしている。

1. 電話で約束をした上で、_____と思います。
2. みんなの意見を聞いた上で、_____方がいいでしょう。
3. 両親と相談した上で、_____ことにします。
4. _____た上で、行くかどうか決めましょう。
5. _____た上で、どんな仕事を何時間ぐらいしてもらおうかお話しします。

6. _____ た上で、もう一度来てください。
7. この問題については、_____ た上でお返事します。
8. _____ た上で、選んだらどうですか。
9. この家を買うことにしたのは、_____ た上でのことです。
10. _____ た上で、_____ たらやめてもいいです。

C-1 「～によって」という言い方を練習しましょう。

例: 意見は人によって様々である。

1. 休みの過ごし方は人によって_____。
2. 習慣は国によって_____。
3. _____ は年齢によって_____。
4. _____ は時期によって_____。
5. _____ は場所によって、_____ たり、_____ たりする。

C-2 例: 車が増えることによって、空気は今よりもっときたなくなるだろう。

1. たった一枚の写真によって、_____。
2. 社長の意見によって、_____。
3. 人口が増えることによって、_____。
4. 新しい技術が開発されることによって、_____。
5. _____ によって、知識が豊かになります。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

最近、血液型によって_____。それは_____ かららしい。
 という人もいるが、私が_____ のは_____ からである。



話しましょう

A 第 17 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「血液型などを使って人間をいくつかのタイプに分ける人がいますが、人を判断するときには、そんなことでは何も判断できないと思います。その人が本当にどんな人かを知るためには、頭の中に何もない方がよいと思います」

B 相手の人がどんな人かを判断するとき、一番大切なことは何だと思いますか。



書きましょう

A-1 日本人には _____ 傾向があるが、それは _____ という人もいる。

例: 人間を型に当てはめる

→ 日本人には 人間を型に当てはめる 傾向があるが、それは 危険だ という人もいる。

1. 何でもまじめに考えすぎる →
2. 仕事は自分の生活より大切だと考える →
3. 何でも高ければ良いと考える →

A-2 _____ が、一目でそれと分かるのは、 _____ からである。

例: 店の人はお客と服装が違うのですぐ分かる

→ 店の人が、一目でそれと分かるのは、お客と服装が違う からである。

1. 先生は学生と話し方が違うのですぐ分かる →
2. ねだんの高い物は使われている材料が良いからすぐ分かる →
3. 雪子さんが恋をしているのはほかの人と付き合わなくなったからすぐ分かる →

B _____ 傾向があるが、 _____ と考える人もいる。私もその一人である。というのも _____ からである。

例: 女性が長い時間電話をかけるのはやめてほしいと考える人もいる

→ 女性には長い時間電話をかけるという傾向があるが、やめてほしいと考える人もいる。私もその一人である。というのも 私が家に電話をすると、いつも電話が使われている からである。

1. 新しい品物を何でも使いたがるのは良くないと考える人もいる →
2. 学生が海外旅行に行きたがるのはあまり良くないことだと考える人もいる →
3. はっきりものを言うのは間違っていると考える人もいる →

第18課

[かこむ]



新しい言葉

ひょうし 表紙	ちゅうしん 中心	かけいぼ 家計簿	すがた 姿
だん 団らんスル	こうけい 光景	リビングルーム	きじ 記事
とうぜん 当然	つう 通じる	したがって	
むす 結びつき [←結び付く]	げん 現に	はやる	～べき
もつとも	いぜん 以前に	とても(～ない)	いま 居間
か 兼ねる	しょくたく 食卓	しょくご 食後	ば 場
かつやく 活躍スル	か 替わる	こたつ	とうじょう 登場スル
～にもかかわらず	やわ 柔らかい	ほのぼの(と)スル	あたた 暖める
なご 和やかナ・ニ	いっそう	やくわり 役割	は 果たす
つく 作り出す	せんご 戦後	けいざい 経済	こうどせいちょう 高度成長スル
～とともに	よゆう 余裕	おうべい 欧米	せいかつようしき 生活様式
じりつ 自立スル	はんせい 反省スル	しゅうかん 習慣	そこで
きょういく 教育スル	せめて	こしつ 個室	べつべつ 別々ニ
けいたいでんわ 携帯電話	き 気ままナ・ニ	コミュニケーション	きよくたん 極端ナ・ニ
ばらばらナ・ニ	けっか 結果	いわゆる～	だんぜつ 断絶スル
(かてい)内 (家庭)内	ぼうりょく 暴力	おきる	おそらく
せいしょうねん 青少年	はんざい 犯罪	ぞうか 増加スル	なくす
シンボル	と 取り返す		



いっしょに考えましょう

1. 家の中で、一番好きな場所はどこですか。
2. 家族の集まる部屋にはどんな物が置いてありますか。
3. 家族みんなが集まるのはどんなときですか。
4. 家族みんなで楽しむ趣味などがありますか。
5. 家族と一緒にいたくないと思うことがありますか。それはどんなときですか。

[かこむ]

ここに『だ・ん・ら・ん』という雑誌がある。1980年代の初めのものだが、表紙に使われている写真は、大きなテーブルを中心に、新聞を読む父親、家計簿をつける母親、そして宿題をする子供たちの姿と、「団らん」を絵に描いたような光景である。その中に「リビングルームに大きなテーブルを！」という記事があった。大きなテーブルが一つあれば、家族の集まる場所ができ、「当然会話も多くなり、気持ちも通じ合い、したがって、家族の結び付きがより強くなる」というのである。「現に、今大きなテーブルがはやっていてよく売れている、だからお宅にも是非置くべきです」と、強い調子で大きなテーブルを紹介している。

10 もっとも、この雑誌の表紙にあるような光景は、以前はどこの家庭でも目にすることのできる、当たり前前の光景だった。雑誌の出る少し前までは、一般に家も狭く、大きなテーブルどころか、一人一人が独立した部屋を持つことなどとても考えられなかった。毎日の生活は、居間、食堂、寝室などを兼ねた二、三の部屋で済ませ、そこには、そのころ食卓

15 と呼ばれた小さなテーブルが置かれていた。それが仕事机としても、客を迎えるテーブルとしても、そして、食後にはみんなの団らんの場としても活躍した。寒い冬には、その食卓に替わってこたつが登場し、外の寒さにもかかわらず、その柔らかい暖かさが、そこに集まる皆の気持ちまでもほのほのと暖め和やかにした。この食卓やこたつが家族団らんの

20 場として「家族の結び付きをいっそう強く」する役割を果たし、表紙の写真にあるような光景を作り出していたのである。

雑誌 *紙 宿 姿 *描 *光 景 *結 *部 屋 兼 卓 机
躍 替 登 *柔 暖 *和 割 果

[かこむ]

戦後、経済の高度成長とともに、生活にも少し^{よゆう}余裕ができてくると、^{おうべい}欧米の生活様式や考え方がたくさん入ってきた。同時に、日本は欧米社会と比べ個人の自立ができていないとの^{はんせい}反省から、子供のときから独立した部屋を与え、早くから何でも一人でやる^{しゅうかん}習慣を身に付けることが必要だと考えられるようになった。そこで、親たちは子供の教育のために、⁵自分たちは我慢してもせめて子供たちには個室を与えようとしたのである。ところが、その「自立した」子供たちが部屋から出てこなくなってしまうのである。

子供たちは、食事のとき以外は与えられた自分の部屋で、それぞれが別々に、パソコンゲームに夢中になり、^{けいたいでんわ}携帯電話で友達と話し、気まま¹⁰に時間を過ごす。当然コミュニケーションは^{きょくたん}極端に少なくなり、家族はばらばらに。その^{けっか}結果、いわゆる「親子の^{だんぜつ}断絶」や「家庭内^{ほうりょく}暴力」が起きることになる。また、おそらく青少年による^{はんざい}犯罪の^{ぞうか}増加もコミュニケーションをなくした家庭での生活が原因の一つであろうと思われる。

二十年以上も前に書かれた記事は、団らんのシンボルとして大きな¹⁵テーブルを紹介するばかりではなく、食卓やこたつをなくした家庭内から、それと一緒に^き消えてしまった大切なものを取り返す必要があるとも伝えていたようである。

余 裕 欧 *米 省 *慣 携 帯 極 端 *果 絶 暴 犯
罪 *増 加 *消



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 『だ・ん・ら・ん』という雑誌の表紙にはどんな写真が使われていますか。
2. 雑誌の中にどんな記事がありましたか。
3. 雑誌の記事はなぜ「大きなテーブル」を勧めているのですか。
4. 当時食卓はどのように使われていましたか。
5. 食卓やこたつはどのような役割を果たしていましたか。
6. 戦後の日本では、親たちはなぜ子供に個室を与えたのですか。
7. 子供たちは個室で何をするのですか。
8. 家庭内のコミュニケーションが少なくなったことが原因で、どんな問題が起きていますか。
9. 皆さんの国でも「親子の断絶」や「家庭内暴力」がありますか。
10. どのようにして家族のコミュニケーションの機会を作っていますか。



使いましょう

A 「～べき」という言い方を練習しましょう。

例: A: これからの若者はどうあるべきだと思いますか。

B: そうですね。勉強はもちろん、趣味をたくさん持つべきでしょうね。

1. A: これからの若者はどうあるべきだと思いますか。
B: _____ばかり考えないで、_____べきだと思います。
2. A: 定年後のサラリーマンはどうしたら生きがいを持てるのでしょうか。
B: _____ながら、_____べきだと思います。
3. A: 現代の女性はどう生きるべきだと思いますか。
B: _____のことも考えて、_____べきですね。
4. A: 日本はしょうらい外国に対して何をするべきだと思いますか。
B: _____だけではなく、_____べきでしょう。
5. A: 親子の断絶が起こらないように何をしなければならないと思いますか。
B: _____が大切ですから、_____べきではないでしょうか。

B 「～というのである」という言い方を練習しましょう。

例: 父が料理の本を買ってきた。時々自分でも料理を作る / 作ろう / 作りたい / 作るからというのである。

1. 大きなテーブルを買った。_____というのである。
2. 宝くじを二十枚買った。宝くじを当てて、_____というのである。

3. 彼は一生懸命に日本語を勉強している。_____というのである。
4. 日本の会社では、一年に一回社員旅行がある。みんなで旅行をして、_____というのである。
5. 新しい道路ができる。_____て、_____というのである。

【C】「とても V-(可能形)ない」という言い方を練習しましょう。

例: 歯が痛くて、ごはんはとても食べられなかったので、コーヒーで済ませた。

1. おなかが痛くて、とても_____ので、_____。
2. 怖くてとても_____ので、_____。
3. 忙しくて、パーティーへはとても_____ので、_____。
4. あの人のことが今でも好きで、とても_____ので、_____。
5. せっかく図書館で借りてきた本だったが、とても_____ので、_____。

【D】「~にもかかわらず」という言い方を練習しましょう。

例: 外の寒さにもかかわらず、こたつの暖かさは心を和やかにする。

1. 経済的豊かさにもかかわらず、_____。
2. 重い病気である(の)にもかかわらず、_____。
3. 健康である(の)にもかかわらず、_____。
4. 気を付けていた(の)にもかかわらず、_____。
5. 約束をした(の)にもかかわらず、_____。

【E】「せめて」という言い方を練習しましょう。

例: 自分は我慢しても、せめて子供たちには個室を与えようとしてきた。

1. いくら小さなアパートでも、せめて_____。
2. 大学に入るためには、せめて_____。
3. いくら一人であるのが好きだといっても、せめて_____。
4. 山の上がこんなに寒いとは思っていませんでした。せめて_____。
5. 忙しいのはよく分かりますが、せめて_____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

二十年前の雑誌に_____がはやっているの、是非_____という記事があった。昔の日本では、食卓やこたつが_____。しかし、戦後親たちは、_____ために、_____。その結果、_____。雑誌の記事は、_____ばかりではなく、_____ということも伝えている。



話しましょう

A 第 18 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「大きなテーブルを買ってそこにみんなが集まったら、『親子の断絶』がなくなるのでしょうか。人の考え方が変わってきたのだからコミュニケーションの場を作ったとしても、問題は残ると思います」

B 家族の結び付きが弱くなったと感じたとき、どうすればいいと思いますか。



書きましょう

A _____ は _____ うとした。ところが _____ 結果、_____ になってしまった。

例: 親は子供たちに個室を与えた

→ 親は自分は我慢してもせめて子供には個室を与えようとした。ところが個室を与えた結果、子供たちは食事のとき以外は部屋から出てこなくなってしまう。

1. 親がお金を出し、子供たちを大学へ行かせた →
2. 親は子供にピアノを習わせた →
3. いろいろな経験をした方がいいので、子供には何でも自由にさせた →

B _____ 結果、_____ てしまった。_____ という、いわゆる _____ が _____ のである。

例: 個室を与えた / 「親子の断絶」が起きる

→ 子供たちに個室を与えた結果、子供たちは食事のとき以外は部屋から出てこなくなってしまう。家族はばらばらになり、気持ちが通じ合わなくなるという、いわゆる「親子の断絶」が起きてきたのである。

1. 経済が成長した / 「働きバチ」が増える →
2. 車が増えすぎた / 「交通戦争」が起きる →
3. 家の仕事に時間がかからなくなった / 「教育ママ」が増える →

第19課 [おもいだす]



新しい言葉

しよくば 職場	まれナ・ニ	とうじ 当時	しやくしよ 市役所
じゅうごふん (十五分)ばかり	し 市	じゅうたく 住宅	かなら 必ず
よほど	かぎ ～限り	たいしよく 退職スル	れんそう 連想スル
ゆうぐ 夕暮れ	あせ (汗)まみれ	きたく 帰宅スル	ふく
にわ 庭いじり	ゆいいつ 唯一	ゆうはん 夕飯	～ふうナ・ニ
ぬ 抜く	つち 土	みみ 耳にする	こっそり(と)
ニッコリスル	うなずく	ようやく ようやく	かいほう 解放スル
ひ 陽	い かせ 生き返る	それとも	かわ 乾く
かわ き (乾き)切る	ゴクゴク(と)	のど	どちらにしても
ゆうすず 夕涼み	～がてら	はなび 花火	きげん 機嫌
つ だ 連れ出す	あるいは	なかよ 仲良く	(ご)ほうび
せんこうはなび 線香花火	う あ はなび 打ち上げ花火	とお 通りがかり [←通りがかる]	ゆかた 浴衣
やけど	やくめ 役目	おき い お気に入り	ゆかた 浴衣
ゆったり(と)スル	こしか 腰掛ける	うちわ	バケツ
そっと	きょうそう 競争スル	み 見つめる	いっしゅん 一瞬
あた 辺り	くら 暗やみ	しゅんかん 瞬間	じゅうねん あま (十年)余り
ベランダ	なが 眺める	～つつ	



いっしょに考えましょう

1. 「お父さん」という言葉を聞いて、どんなことを思い出しますか。
2. 子供のとき、お父さんとどんなことをしましたか。
3. お父さんがいつも言っていた言葉を覚えていますか。それはどんな言葉ですか。
4. 次のものに何か思い出がありますか。

夏の夕方にふってくる雨 / 昔住んでいた町 / 昔の恋人

5. 夏というきせつについて、思い出すことがありますか。

[おもいだす]

自転車を通える職場など今ではまれだが、当時市役所に勤めていた父は、自転車で十五分ばかりの所に市の住宅を与えられており、毎日まるで時計でも計ったように五時半には^{かなら}必ず家へ帰ってきた。どんなに暑くてもどんなに寒くても、よほどのことがない限り、これは定年で退職するまで変わらなかった。

父のことを思い出すと、決まって連想^{れんそう}するにおいがある。昼のにおいである。正確には夏の夕暮れのにおいとでも呼ぶべきだが、私にとってその懐かしいにおいは「昼のにおい」であった。

夏の夕暮れ、父は汗まみれになって帰宅^{きたく}すると、汗もふかずに兄と私^{わたし}を大声で呼んだ。庭いじりが唯一^{ゆいいつ}の趣味だった父が、夕飯までの時間、兄と私を庭へ呼んでその手伝いをさせるのである。「ここそこはこんなふうには、あそこは…」と父の言うままに、草を抜き^{つち}土を運^{はこ}んでいた私たちは、「ご飯ができましたよ」と言う母の声を耳にするとホッとす。父に気付かれぬようにこっそりお互いの顔を見て、ニッコリうなずき^あ合ったものである。「じゃあ、最後に水をやって、それから手を洗^{あら}って食事^あにしよう」その言葉でようやく庭仕事から解放^{かいほう}される。昼のにおいにするのは、そのときである。

あれは、一日中強い陽^ひに焼かれた草木が、水を与えられて生き返るときに出すにおいだったのだろうか。それとも、乾^{かわ}き切った土が、ゴクゴクとのどを鳴らしながら水を飲むときに出すにおいだったのだろうか。どちらにしても、忘れられない、うれしいにおいであった。

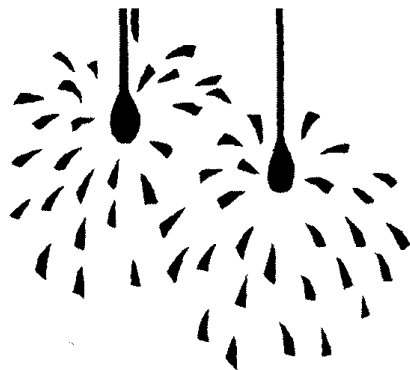
*必 *連 *帰 唯 *一 *土 *運 *洗 *放 *陽 乾

[おもいだす]

「夕涼^{ゆうすず}みがてら、花火でもしょうか」機嫌^{きげん}のいい日の父は、そう言っ
て、私たちを庭へ連れ出した。あるいは仲良く庭仕事を手伝った子供た
ちへのごほうびのつもりだったのかもしれない。もともと、花火といっ
ても線香^{せんこう}花火である。当時のことだから、今のように空高く上がる打ち
上げ花火や、通りがかりの人を驚かせるほどの大きな音を出すものはな⁵
い。それでも、やけどをしないといけないからと言って、火をつけるのは
父の役目だった。お気に入りの浴衣^{ゆかた}を着て、ゆったりといすに腰掛^{こしか}け、
うちわを使いながら夕涼みしている父の所へ、一本一本花火を持って行
き、火をつけてもらう。それを、母が準備してくれた水の入ったバケツ
の所までそっと運んで行って、兄と私は、どちらが長く火の花が咲かせ^さ
られるか競争^{きょうそう}するのである。

「これが、最後」父がそう言って火をつけてくれた一本が消えてしま
うと、それまで火の玉をじっと見つめていた目には、一瞬^{いっしゅん}辺^{あた}りが暗やみにな
ってしまふ。この瞬間、昼のにおいがもう一度する。今度は少し寂し
いにおいである。子供の時間が終わるにおいである。¹⁵

父が亡くなって十年^{あま}余り。ベランダで大きな声を上げて、楽しそうに
花火をしている子供たちの姿を眺^{なが}めつつ、懐かしい昼のにおいととも
に今日も父のことを思い出している。



涼 *嫌 香 *浴衣 掛 咲 競 瞬 辺 *余 眺



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 退職するまで変わらなかった父の習慣というのはどんなことですか。
2. 父を思い出すとき、何を思い出しますか。
3. 父は夏の夕暮れに、子供たちに何をさせましたか。
4. なぜ母の一言が子供たちをホッとさせたのですか。
5. いつ昼のにおいがしましたか。
6. なぜ父は夕方に花火をしてくれたのですか。
7. どうして子供たちは自分で花火に火をつけなかったのですか。
8. この人は楽しそうに花火をする子供たちを見ながら、どんなことを思っていますか。
9. 子供のころ、夏の夕暮れにどんなことをしましたか。
10. お父さんを思い出すとき、どんなことを思い出しますか。



使いましょう

A 「～限り」という言い方を練習しましょう。

例: A: 毎日五時半に帰るのですか。

B: はい、よほどのことがない限り、そうします。

1. A: この川の水は飲んでも大丈夫ですか。
B: いや、 限り、飲まない方がいいと思います。
2. A: 飛行機は安全でしょうか。
B: 限り、安全な乗り物だと思いますよ。
3. A: いつになったら戦争がなくなるんでしょうか。
B: 難しいですね。 限り、なくならないと思いますよ。
4. A: だれでも医者の仕事をすることができますか。
B: いいえ、 限り、できません。
5. A: 家で休んでいれば、なおるでしょうか。
B: 休んでいても 限り、なおらないでしょう。

B 「～ふう」という言い方を練習しましょう。

例: ここは、こんなふうにしてください。

分かったというふうには、彼女はニッコリうなずいた。

1. よく見ていてください。こんなふうになれば、 。
2. お上手ですね。どんなふうになれば、 。

3. 二度と顔も見たくないというふうな様子で、_____。
4. _____というふうに声を上げて笑いました。
5. _____というふうに席を立ちました。

◎ 「どちらにしても」という言い方を練習しましょう。

例: A: いつ行きますか。土曜日ですか、それとも日曜日ですか。

B: どちらにしても私は行けないと思います。

1. A: 旅行は飛行機にしますか、それとも船にしますか。
B: どちらにしても_____。
2. A: 今度の選挙では、田中さんにしますか、それとも山川さんにしますか。
B: どちらにしても_____。
3. A: _____、それとも_____。
B: どちらにしても一度会ってよく話し合う必要があります。
4. A: _____、それとも_____。
B: どちらにしてもお知らせします。
5. A: _____、それとも_____。
B: どちらにしても_____。

◎ 「もっとも～といっても」という言い方を練習しましょう。

例: 花火をしました。もっとも花火といっても線香花火ですが。

1. 旅行に行きます。もっとも_____といっても_____。
2. 大統領に会ったんです。もっとも_____といっても_____。
3. 家を買ったんです。もっとも_____といっても_____。
4. 宝くじに当たったんです。もっとも_____といっても_____。
5. 毎日家族団らんの時間を持つようにしています。もっとも_____といっても_____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

市役所に勤めていた父は毎日同じ時間に戻ってきた。夏の夕暮れには_____。
 _____。夕食を知らせる母の音がすると、_____という父の言葉で、_____
 そのとき_____。父の機嫌がいい日には_____。兄と私は_____。
 花火の最後の一本が消えてしまうと、_____。
 父が亡くなって十年余りになるが、_____。

第 19 課



話しましょう

A 第 19 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「この 19 課を読んで、『昔は良かった』と言われているような感じがしました。時代が変われば人も変わります。新しい世代の思い出も、変わるでしょう。思い出も大切ですが、私はしょうらいのことを考えたり、話したりしたいです」

B 何か、忘れられない思い出を一つ話してください。



書きましょう

A-1 どんなに _____ ても、よほどのことがない限り、 _____。

例: この習慣は定年まで変わらなかった

→ どんなに暑くても、どんなに寒くても、よほどのことがない限り、この習慣は定年まで変わらなかった。

1. 人をなぐらない →
2. 自分の意見を変えない →
3. 一週間に一回は両親に手紙を書く →

A-2 「 _____ がてら _____ うか」と言って、 _____ は _____ を _____ 。
_____ もっとも _____ といっても、 _____ 。

例: 夕涼み / 花火をする

→ 「夕涼みがてら花火でもしようか」と言って、父は兄と私を連れ出した。もっとも花火といっても、大きな音を出すものではなく線香花火である。

1. 散歩 / 手紙を出しに行く →
2. あいさつ / おばさんの家に行く →
3. 運動 / 買い物に行く →

第20課

[しらせる]



新しい言葉

しんぽ 進歩スル	ともな 伴う	マスメディア	めざましい 目覚しい
はってん 発展スル	と 遂げる	と 取って代わる	いま 今や
マスコミ	おうさま 王様	ふきゅう 普及スル	はったつ 発達スル
にちじょう 日常	いながらにして	で きごと 出来事	ま 間をおく
れきし 歴史	げきてき 劇的ナ・ニ	ま あ 目のあたりにする	あたかも
(じぶん) 自身	うつ 映す	いか 怒る	かな 悲しむ
むね 胸	えいぞう 映像	こっこく 刻々と	クイズ
みし 見知らぬ～	わだい 話題	かんとく 感動スル	～どうし ～同士
(～を)とおして	きょうつう 共通スル	そんざい 存在スル	とんでもない
～かねない	ほうどう 報道スル	じけん 事件	あらかじめ
けいかく 計画スル	て くわ 手を加える	かのう 可能ナ	たずさ 携わる
ぶぶん 部分	き と 切り取る	がめん 画面	さくひん 作品
とはいえ	しめい 使命	こんご 今後	ごらく 娯楽
がくしゅう 学習スル	ますます	じゅうよう 重要ナ・ニ	い 生かす
てん 点	う 受ける	(う)て (受け)手	すなわち
たちば 立場	たよう 多様ナ・ニ	(たよう)か (多様)化スル	～だけに
ないよう 内容	てきせつ 適切ナ・ニ	みまも 見守る	せきにん 責任



いっしょに考えましょう

1. テレビは好きですか。
2. 毎日、どのぐらいテレビを見ますか。どんな番組をよく見ますか。
3. テレビで見たり聞いたりしたことについて友達と話しますか。
4. どんとき、テレビは役に立つと思いますか。
5. 最近、テレビでどんなニュースを見ましたか。

【しらせる】

通信技術の進歩に伴^{ともな}って、マスメディアは目覚ましい発展を遂^とげてきた。中でもテレビは新聞に取^とって代わり、今やマスコミの王^{おうさま}様である。そのテレビの普^ふ及^{きゆう}と技術的^{はったつ}発達^{はつたつ}は、私たちの日常生活に大きな影響を与えている。だれもがいながらにして世界のあちらこちらの出来事を同時に、あるいはほとんど間をおかずに目にし、耳にできる時代となっているのである。歴史^{れきし}の一ページを飾^けるような劇^げ的^{てき}な瞬間^まを目の当たりにし、あたかも自分自身がその場にいるかのように感じられるのだ。目の前に映し出される人々と一緒になって喜^いび、怒^{いか}り、悲^{かな}しみ、胸^{むね}を熱^{あつ}くすることができるのはテレビ映^{えい}像^{ぞう}のおかげであろう。刻^こ々^こと知^ちらされるニュー

10 スだけでなく、音楽やスポーツやクイズ番組、見知らぬ土地の紹介などは私たちに多くの話題を与えてくれる。同じ番組を見て、同じように笑い、同じように驚いたり感動したりしたのだということが分かると、それまで互いに無関心だった人同士が親しく話し始めることさえある。テレビを通して共^き通^{つう}の体^{てい}験^{けん}を持ったということなのかもしれない。

15 もっとも、このテレビの存^{そんざい}在^{ざい}には、ひとつ間違^{まちが}うととんでもないことになりかねないという怖^こさもあ^ある。以前に、報道番組で暴力事件^{じげん}をあらかじめ計^{けい}画^{かく}しておき、それをニュースとして流^{なが}すという事件^{じけん}が起こった。また、人の手^てを加^{くわ}えた写真^{しやうしん}が報道写真^{ほうどうしやうしん}として使^{つか}われたこともあ^あった。や

20 ろうとすれば、こんなことも可^{かのう}能^{のう}なのである。もちろん報道^{ほうどう}に携^{たずさ}わる者がそんなことをしてよいはずがない。しかし面白いことに、そういった事件^{じけん}に対する人々の反^{はん}応^{おう}は意外^{いがい}に冷^{れい}静^{じやう}なものだった。ある部分^{ぶぶん}を切り

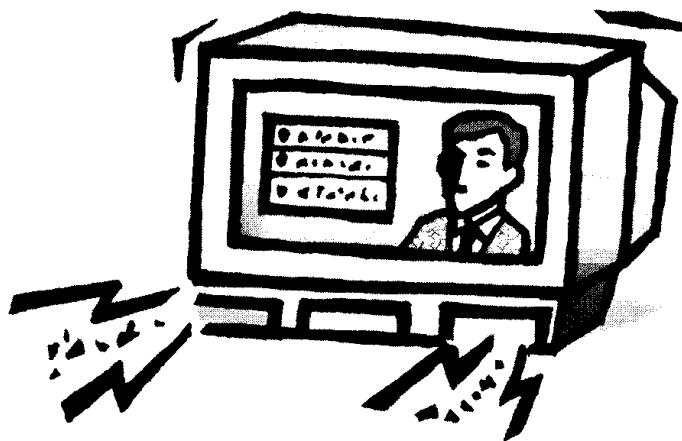
伴 遂 王 及 *達 歴 史 劇 *目 *怒 悲 胸 *熱 像
刻 共 存 件 *画 *加 可 *携

[しらせる]

取って見せるテレビの画面や写真は事実そのままではなく、どうしても与える側の作品となってしまうということが、報道側だけでなく、与えられる側にも分かっていたのである。

とはいえ、テレビの使命は今後も報道、^{ごらく}娯楽、^{しめい}学習などの世界を通して、ますます重要になるであろう。このテレビというマスメディアを生かせるかどうかという点では、受け手の側の果たす役割もまた重要である。すなわち「与えられる」^{たちば}立場から「求める」立場に変わっていかなければならない。これからテレビはますます^{たようか}多様化していくと思われるだけに、その内容が適切なものになるように受け手の側も見守っていく^{せきにん}責任があるということである。

10



*使 娯 点 *立 *多 容 適 責 任



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. マスコミの目覚しい発展の結果、テレビと新聞はどんな関係になりましたか。
2. テレビがあると、どのようなものを目の当たりにすることができますか。
3. そのほかにどんなものを見ることができますか。
4. 「テレビを通して共通の体験を持つ」というのはどんなことですか。
5. テレビの報道番組で、どんな事件が起こりましたか。
6. そのほかに、どんなことが問題になりましたか。
7. それらの事件に対する人々の反応が冷静なものだったのはどうしてですか。
8. 報道の受け手の側にはどんな責任があると言っていますか。
9. テレビは人々にどんな影響を与えていますか。
10. 新聞とテレビはどこが違いますか。



使いましょう

A 「あたかも～かのように」という言い方を練習しましょう。

例: あたかも自分自身がその場所にいるかのように感じる。

1. ここにいと、あたかも _____ かのように感じる。
2. 美術館で、古い美術品に囲まれていると、あたかも自分が _____ かのよう
な気がしてくる。
3. あの人と話していると、あたかも _____ かのように思えてくる。
4. あの二人はまだ結婚もしていないのに、あたかも _____ かのよう
に _____。
5. 彼女はあたかも _____ かのよう
に話す。

B 「～を通して」という言い方を練習しましょう。

例: 外国の友達を通して、他の世界を知った。

1. 言葉の勉強を通して、 _____。
2. 歌を通して、 _____。
3. 先輩を通して、 _____。
4. _____ を通して、自分の考えを伝えた。
5. _____ を通して、若者の生活を知った。

C 「～ことに」という言い方を練習しましょう。

例: 面白いことに、その事件に対する人々の反応は意外に冷静だったのである。

1. 残念なことに、その計画に対する社長の反応は意外に_____。
2. うれしいことに、_____に対する人々の反応は意外に良いものだった。
3. 不思議なことに、_____に対する若い人の態度は意外に_____。
4. 驚いたことに、_____に対するマスコミの報道は意外に_____。
5. 悲しいことに、_____に対する_____は意外に_____。

D 「～とはいえ」という言い方を練習しましょう。

例: テレビには問題も多いとはいえ、その使命は今後ますます重要になるだろう。

1. 退院したとはいえ、_____。
2. 二十歳になったとはいえ、_____。
3. 家を買ったとはいえ、_____。
4. _____とはいえ、まだ寒い日が続いている。
5. _____とはいえ、寂しいときもある。

E 「～だけに」という言い方を練習しましょう。

例: テレビはますます多様化していくと思われるだけに、その内容を見守る責任がある。

1. _____だけに、できたときはとてもうれしかった。
2. _____だけに、_____ときは心から残念に思った。
3. _____だけに、_____ときは本当に驚いてしまった。
4. 家族みんなが集まったのはひさしぶりだっただけに、_____。
5. 長い間待っていただけに、_____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

テレビの普及と技術的発達は_____。同じ番組を見て、_____と、_____さえある。しかし、マスコミの報道がいつも正しいとは限らず、_____。今後テレビを生かして使うためには、_____。



話しましょう

A 第20課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「テレビなんて気持ちをちょっと変えるための道具なんだから、そんなに『適切な番組』とか『役に立つもの』とか『良い使い方』なんて考える必要はないでしょう。ストレス解消のために楽しく見れば、それで十分ですよ」

□ B どんなテレビ番組が必要で、どんなテレビ番組はなくてもよいと思いますか。



書きましょう

□ A-1 _____ということが分かると、それまで互いに_____人同士が_____ことさえある。

例: 同じ番組を見た / 無関心だった

→ 同じ番組を見たということが分かると、それまで互いに無関心だった人同士が親しく話し始めることさえある。

1. 同じ学校を卒業した / 敬語を使って話していた →
2. 生まれた所が近い / 名前も知らなかった →
3. 考え方が違う / パーティーに呼んだり呼ばれたりした →

□ A-2 _____を可能にする_____も、_____かねない。

例: テレビ / ひとつ間違うととんでもないことになる

→ 共通体験を可能にするテレビも、ひとつ間違うととんでもないことになりかねない。

1. コンピューター / ちょっとした間違いで危険になる →
2. 飛行機 / 小さなことから大きな事故になる →
3. ロボット / 使い方によっては危険なものになる →

第21課

[まもる]



新しい言葉

だい いっかい
 第(一回)
 (～に) かん
 関する
 とらえる
 フロンガス
 おんしつこう か
 温室効果
 さばく
 砂漠
 さっきゅう
 早急 ナ・ニ
 しんこく
 深刻 ナ・ニ
 かつこく
 各(国)
 すす
 進める
 エネルギー
 そのもの
 か
 枯れる
 きば
 規模
 へ
 減らす
 て
 手を打つ
 くら
 比べものにならない
 つごう
 都合
 う
 だ
 生み出す
 しょうひん
 商品
 たんじょう
 誕生 スル

かいさい
 開催スル
 ていき てき
 定期的 ナ・ニ
 かいけつ
 解決スル
 そう
 オゾン層
 ひ お
 引き起こす
 しんりん
 森林
 こうか てき
 効果的 ナ・ニ
 じょうきょう
 状況
 た あ
 立ち上がる
 せんしんこく
 先進国
 しょうひ
 消費スル
 と
 問う
 のうさくぶつ
 農作物
 ～ずつ
 せつやく
 節約スル
 あゆ
 歩む
 もたらず
 いのち
 命
 せいぞう
 製造スル
 みらい
 未来

さん か
 参加スル
 かか
 抱える
 と
 取り組む
 は かい
 破壊スル
 おんだん か
 温暖化スル
 こうずい
 洪水
 たいさく
 対策
 どんどん
 む
 向ける
 く
 暮らし [←暮らす]
 よご
 汚す
 くうき
 空気
 かちく
 家畜
 リサイクルスル
 かくだい
 拡大スル
 きゅうそく
 急速 ナ・ニ
 つながる
 めぐ
 恵み [←恵む]
 きょうゆう
 共有スル
 NGO
 ほこ
 誇る

いらい
 ～以来
 じんるい
 人類
 と
 巻き
 取る
 に さん か たん そ
 二酸化炭素
 さんせい
 酸性雨
 と
 取り上げる
 た
 立てる
 ひろ
 広がる
 こく さいてき
 国際的 ナ・ニ
 しげん
 資源
 ほかでもない
 おせん
 汚染スル
 じょうたい
 状態
 はいき
 排気ガス
 て おく
 手遅れ
 かくじつ
 確実 ナ・ニ
 めざ
 目指す
 きょうせい
 共生スル
 NPO
 しだい
 ～次第



いっしょに考えましょう

1. 木は人間の生活にどのように役に立っていますか。
2. 木がなくなれば自然はどのような影響を受けますか。
3. それが私たちにどう影響しますか。
4. 海や川の水が汚れると私たちの生活にどう影響しますか。また、空気が汚れるとどんな影響がありますか。
5. 現在、私たちは自然を守るためにどんなことをしていますか。

【まもる】

1972年に第一回国際人間環境会議が開催され、多くの国が参加した。それ以来、地球環境に関する国際会議は定期的に続けられ、それぞれの国が抱える環境問題を人類全体の問題としてとらえ、解決に取り組んでいる。

- 5 私たちを取り巻く環境問題は、フロンガスによるオゾン層の破壊や二酸化炭素など温室効果ガスが引き起こす地球の温暖化、さらには、酸性雨、砂漠化、そして森林が消え、洪水が起こる問題など、どれ一つ取り上げてみても自分の国だけで解決できるようなものではない。これらの問題を引き起こしている原因である環境破壊は非常な速さで進む一方で
- 10 あり、早急に効果的な対策を立てなければ、この深刻な状況はどんどん広がり続けていく。そこで、世界各国が立ち上がり、協力して、問題解決に向けた国際的な努力を続けているのである。

地球の環境破壊は、一部の工業国に大きな責任があると言われる。少しでも豊かで便利な生活をしようと、工業化を進められるだけ進めてきた先進国と呼ばれる一部の国が環境を破壊し続けてきたのである。しかし、毎日の暮らしの中で、資源やエネルギーを消費し続け、環境を汚し続けているのは、ほかでもないそこに住む人間一人一人である。必要以上に車を使い、便利な電化製品に囲まれた毎日の生活のあり方そのものが問われなければならないのである。一人一人が生活習慣を変えることなく、このまま空気や水や土を汚染し続ければ、草や木などの植物が枯

20 れ、農作物も、家畜も育たなくなる。その状態がさらに進めば、環境破

催 参 期 抱 卷 層 破 *壊 酸 炭 素 効 *雨 砂
漠 *森 洪 *水 *速 策 深 況 各 資 源 汚 *汚 染
枯 農 畜

[まもる]

壊は地球規模^{きぼ}に広がり、だれも生きられなくなる日が来るのは明らかである。

そうした反省に立って、個人の意識も少しずつではあるが変わり始めた。一人一人が資源のリサイクルを考え、排気ガス^{はいき}を減らし、エネルギー^{せつやく}を節約するなどし始めた。環境破壊がこれ以上^{かくだい}拡大し、手遅れにならないうちに何か手を打たなくてはと考えて、歩み^{あゆ}始めた。確かに、現在の状況を急速に変えることはできないかもしれない。個人の力など地球環境を破壊してきた力とは比べものにならないほどちっぽけなものかもしれない。しかし、一人一人の意識の変化や小さな歩みは、地球を守るための大きな運動につながる確実な動きであった。さらには、「人間の都合^{つごう}ばかり考えるのではなく、すべての生き物が、自然のもたらす豊かな恵み^{めぐ}を同じように受けられる地球を目指^{めざ}そう」という運動を生み出し、今ゆっくりとだが広がってきている。命^{いのち}あるものすべてが、地球というふるさとを共有し、そこで共生できるようにと、企業は「地球に優しい」商品^{せいぞう}の製造を始め、世界中でNGOやNPOと呼ばれるボランティア^{たんじょう}グループが次々に誕生し、活動を続けている。

環境問題に取り組み、その解決を考えることは、今、同じ時代に生きる人間のためだけではなく、次の世代の人たち、さらには、未来^{みらい}の地球の子供たちに対する私たちの責任でもある。人間一人一人が「地球に優しい」存在になり、「ふるさとは地球です」と美しい地球^{ほこ}を誇れる日が来るかどうか、それは私たち次第^{しだい}なのである。

模 排 減 節 拡 *歩 *都 *合 *恵 *指 *命 造 誕 *生
未 誇 *次 第



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 1972年にどんな会議が開かれましたか。
2. 「私たちを取り巻く環境問題」とはどのような問題でしょうか。
3. 世界各国が協力して国際的な努力を続けているのはなぜですか。
4. 環境破壊の責任はどこにあると言われていましたか。
5. 先進国で暮らす人々の生活はどのようなものでしょうか。
6. 個人の意識はどのように変わってきましたか。
7. 地球を守るために、どのような運動が生まれましたか。
8. 環境問題に取り組み、その解決を考えるのは何のためでしょうか。
9. 皆さんの国では環境問題の影響はどんなところに現れていますか。
10. それについて、どんな対策が立てられていますか。



使いましょう

A 「～する一方」という言い方を練習しましょう。

例: 環境破壊は進む一方です。

1. これから勉強は_____一方です。
2. もう十一月です。これからは_____一方です。
3. 新しいアイデアでも出さなければ、会社は_____一方です。
4. 何か対策を立てなければ、空気は_____一方です。
5. 努力しなければ、_____は_____一方です。

B 「～ことなく」という言い方を練習しましょう。

例: 暑い日も寒い日も、父は休むことなく仕事をした。

1. どんなに疲れていても、母は_____ことなく、_____。
2. どんなに反対されても、兄は_____ことなく、_____。
3. 親切な友人たちのおかげで、私は_____ことなく、_____。
4. 台風の影響が心配されたが、関西は_____ことなく、_____。
5. 昔、日本人は_____ことなく、_____。

C 「比べものにならない」という言い方を練習しましょう。

例: 速さという点では飛行機は船とは比べものにならない。

1. 子供への影響という点では_____は_____とは比べものにならない。

2. 新しさという点では _____ は _____ とは比べものにならない。
3. 変化の速さという点では _____ は _____ とは比べものにならない。
4. 大切さという点では _____ は _____ とは比べものにならない。
5. _____ という点では学生は教師とは比べものにならない。

D 「～次第」という言い方を練習しましょう。

例: 上手にできるかどうかは、練習次第です。

1. _____ かどうかは、あしたのお天気次第です。
2. _____ かどうかは、努力次第です。
3. _____ かどうかは、社長次第です。
4. 海外旅行へ行けるかどうかは、_____ 次第です。
5. _____ かどうかは、_____ 次第です。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

環境問題を解決するために、世界各国は_____。また、私たち個人の意識も変わり始め、_____。それが_____につながり、企業は_____、世界中で_____。環境問題に取り組むことは、_____。



話しましょう

A 第 21 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「経済の発展が遅れている国では、少しでも早くほかの国と同じような生活をするために工業化を進めなければなりません。そのためには環境が少しぐらい悪くなるのはしかたがないと思います」

B 国際的な協力をしなければ、解決できないような環境問題の例をあげてください。



書きましょう

A-1 少しでも _____ と、 _____ は _____ だけ _____ ってきた。

例: 豊かで便利な生活をする / 国 / 工業化

→ 少しでも豊かで便利な生活をしようと、国は工業化を進められるだけ進めてきた。

第21課

1. 製品を安く作る / 経営者 / 工場の機械化 →
2. 商売をうまくやる / 企業 / 情報化 →
3. 人々の関心を集める / テレビ番組を作る人たち / 様々な試み →

【A】-2 確かに_____た。しかし、そのために_____のはほかでもない_____自身である。

例: 生活は便利で豊かになったが、私たちは環境を破壊し、環境問題を引き起こした

→ 確かに生活は便利で豊かになった。しかし、そのために環境を破壊し、環境問題を引き起こしたのはほかでもない私たち自身である。

1. 製品は安くなったが、経営者は多くの人をやめさせ、技術者が足りなくなって困っている →
2. 商売はうまくいくようになったが、企業は情報管理が難しくなり、苦勞している →
3. テレビ番組に対する人々の関心は高くなったが、新しいアイデアがなくなり、番組作りに苦勞している →

【B】 少しでも_____と、_____は_____てきた。しかし、そのために_____のはほかでもない_____自身である。このままでは、_____のは明らかである。

例: 工業化 / 環境問題 / だれも地球に住めなくなる日が来る

→ 少しでも便利で豊かな生活をしようと、私たちは工業化を進められるだけ進めてきた。しかし、そのために、環境を破壊し、環境問題を引き起こしてきたのはほかでもない私たち自身である。このままでは、だれも地球に住めなくなる日が来るのは明らかである。

1. 機械化 / 技術者 / 会社の持つ技術を伝えられなくなる →
2. 情報化 / 情報管理 / 企業の情報を守るために大変な費用がかかる →
3. 様々な試み / 新しいアイデア / 事実に加えて報道するような事件が増える →

第22課

[ふれあう]



新しい言葉

すれ違 <small>ちが</small> う 太陽 <small>たいよう</small> 薄着 <small>うすぎ</small> スル 誘 <small>さそ</small> う	真 <small>ま</small> (っ暗 <small>くら</small>)ナ 容赦 <small>ようしゃ</small> ない さすがニ 口数 <small>くちかず</small>	小高 <small>こたか</small> い 照 <small>て</small> りつける 寝ぼけ眼 <small>ねまなこ</small> 染 <small>そ</small> まる	丘 <small>おか</small> 早朝 <small>そうちょう</small> 早朝 <small>めざ</small> 目覚 <small>め</small> める (休 <small>やす</small> む)間 <small>ま</small> もない
けたたましい 世紀 <small>せいき</small> 地平線 <small>ちへいせん</small> (理 <small>り</small> 解 <small>かい</small> し)難 <small>がた</small> い 半 <small>はん</small> 分 <small>ぶん</small> 波 <small>なみ</small> 心地 <small>こち</small> よい 何 <small>なに</small> で こぼれる 都市 <small>とし</small> 友好 <small>ゆうこう</small> 一 <small>ひと</small> 役 <small>やく</small> 人種 <small>じんしゆ</small> 隔 <small>へだ</small> てる 語 <small>かた</small> る	スケッチブック 記録 <small>きろく</small> スル (地 <small>ち</small> 平 <small>へい</small> 線 <small>せん</small>)上 <small>じょう</small> 一 <small>いっ</small> 斉 <small>せい</small> に 現 <small>あらわ</small> す 届 <small>とど</small> く 気 <small>き</small> を悪 <small>わる</small> くする 視 <small>しかく</small> 覚 異文化 <small>いぶんか</small> 訪 <small>おとず</small> れる 深 <small>ふか</small> める 欲張 <small>よくば</small> りナ・ニ 言語 <small>げんご</small> 衝突 <small>しょうとつ</small> スル	取り出 <small>と</small> す 真剣 <small>しんけん</small> ナ・ニ 歓声 <small>かんせい</small> 振 <small>ふ</small> り返 <small>かえ</small> る 気 <small>き</small> を取 <small>と</small> られる 光 <small>ひかり</small> 遠慮 <small>えんりよ</small> スル 障害 <small>しょうがい</small> テマ 現地 <small>げんち</small> 研 <small>けん</small> 修 <small>しゅう</small> スル せい 国境 <small>こっきょう</small> もめる	文字通 <small>もじどお</small> り 日 <small>ひ</small> の出 <small>で</small> わき上 <small>あ</small> がる あつという間 <small>ま</small> に 流 <small>なが</small> れる あふれる (遠慮 <small>えんりよ</small>)がちナ・ニ へえっ (異文化 <small>いぶんか</small>)間 <small>かん</small> 触 <small>ふ</small> れ合 <small>あ</small> う 交 <small>こうりゅう</small> 流 <small>りゅう</small> スル スケジュール 性別 <small>せいべつ</small> 絶 <small>た</small> える

(場所・川の名前) イラワジ川 ミャンマー マンダレー



いっしょに考えましょう

1. どんなときに旅をしたいと思いますか。
2. 旅行は一人で行くのがいいと思いますか。だれかと一緒の方がいいと思いますか。
3. 何で行く旅が好きですか。それはどうしてですか。
4. 日本で行ってみたい所はどこですか。
5. 日本以外ではどこへ行ってみたいですか。

【ふれあう】

朝五時過ぎ、すれ違う人もない真まっ暗くらな道を、私たちは小高い丘の上にあるお寺へ向かった。昼の間は強い太陽たいようが容赦ようしやなく照てりつける毎日だが、早朝そうちようの空気は、薄着うすぎの私たちにはさすがに冷たく、さっきまで寝ぼけ眼まなこをしていた学生たちをすっかり目覚めさせた。それでも辺りが少しずつ明るくなるにつれて気温も上がり、それに誘さそわれるように学生たちの口数も増えてきた。

東の空がオレンジ色に染そまり始めると、休む間もなく冗談を言い合っ
ては、けたたましいほどの大声を上げていた学生たちも、それぞれカメラやスケッチブックを取り出して、文字通り「世紀せいきの瞬間」を記録に残
10 そうと真剣な様子で二十一世紀最初の日の出を待っていた。しかし、ベンチに腰を下ろしてこの様子を見ていた私は、ちょっと気にかかること
があり、学生たちほどには真剣な気持ちになれなかった。

太陽が地平線上に頭を出したかなと思ったその瞬間、「先生、陽が
15 出ましたね」と T さん。新しい世紀の陽を迎えて、学生たちから大歓声かんせいが
わき上がるだろうとばかり思っていた私は、思いがけない言葉に T さん
の顔を見つめた。皆も理解がたし難いという様子で一斉いっせいに T さんの方を
振り返ったが、あっという間に半分ほど姿を現した新しい世紀の太陽に
気を取られて、そのときはだれも口を開くものはいなかった。しばらく
すると、目の下を流れるイラワジ川の波なみの一つ一つにまで届とどくほどに光ひかり
20 があふれ、風も心地こころよく感じられるようになった。そろそろ学生たちを
連れてホテルに戻ろうかと思っていたとき、私と同じことが気にかかっ
ていたのであろう、一人の学生が T さんに話しかけた。「気を悪くさせ

*真 *太 赦 *照 *早 薄 眼 誘 *染 *世 紀 歓 *声
*難 斉 振 波 届 *光 *心

[ふれあう]

るかもしれないけど...」その学生は遠慮がちに、何で日の出が分かったのかと尋ねた。「風が暖かくなったから...」生まれたときからの視覚障害で光を感じることをできないという T さんのこの答えに、他の学生たちの口からも、「へえっ」と驚きの声がこぼれた。

「異文化を体験しよう」をテーマに、異文化間コミュニケーション学部⁵の学生たちを連れてミャンマー第二の都市マンダレーを訪れた。現地の人たちと触れ合い、片言の英語とミャンマーの言葉で友好を深めながら異文化体験の旅を続けていた。この研修旅行にはもう一つ、日本の文化を紹介したり、その土地の NGO 活動を訪ねたりして国際交流にも一役買おうと欲張りな計画があった。そのせいで毎日のスケジュールは一杯、なかなか皆が集まって話し合う機会が持てないでいた。そんなある日のこと、だれかが「今度の研修で一番の『異文化体験』は、T さんの言葉だったな」と言ったのがきっかけになって、「異文化」って何だろうという話が始まった。「『異文化』という言葉から連想するのは、国、人種、民族、言語など国境とかかわるものが多いと思われがちだけど、性別、世代、職業の違い、障害の有無とかも人と人を隔てる異文化なんだと思うよ」と一人の学生。「毎日の生活で人と人が出会うことこそが、すなわち、異文化と異文化の触れ合いなんじゃないかな」と別の学生。「じゃあ、ここにいる先生を入れた十四人の毎日の生活も、異文化と異文化の交流か!」「異文化の衝突と言った方がいいんじゃない、意見が合わなくてもめることが多いから」しばらくの間意見が絶えず、「異文化」を語り合い、考える時間を持つことができた。

それにしても、思いがけない「異文化」との触れ合いだった。

*遠慮 *覚 障 害 異 *訪 触 *好 修 *流 *欲 *言 隔
衝 *絶



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 朝五時過ぎ、学生たちはどこへ向かいましたか。
2. 学生たちは何のためにそこへ向かったのですか。
3. そのとき、これを書いた人はどこで、何をしていましたか。
4. 陽が出た瞬間、Tさんはどんなことを言いましたか。
5. 一人の学生がTさんに何を尋ねましたか。そして、Tさんは何と答えましたか。
6. なぜみんなはTさんの言葉に驚いたのですか。
7. 学生たちがミャンマーへ行った目的は何だったのですか。
8. 何がきっかけで異文化について話し始めたのですか。
9. 初めて外国へ行ったとき、何か忘れられない触れ合いがありましたか。
10. 旅行して「もう一度ここを訪れよう」と決めた場所がありますか。それはどうしてですか。



使いましょう

A-1 「さすがに～」という言い方を練習しましょう。

例：早朝の空気は、さすがに冷たい。

1. 旅行の本にも紹介されている場所は、さすがに_____。
2. 中国の人が作った中国料理は、さすがに_____。
3. 外国の生活を長く経験した人は、さすがに_____。
4. 世界中を旅した人の話は、さすがに_____。
5. _____は、さすがに_____。

A-2 「～だけあって、さすがに～」という言い方を練習しましょう。

例：三年間勉強しただけあって、彼は、さすがに日本語が上手だ。

1. 試験前の一週間、ほとんど寝ないで勉強しただけあって、_____は、さすがに_____。
2. 「歩く辞書」と言われるだけあって、_____は、さすがに_____。
3. 準備に五か月もかけたというだけあって、_____は、さすがに_____。
4. 十年も_____だけあって、_____は、さすがに_____。
5. _____だけあって、この料理は、さすがに_____。

A-3 「さすがの(名詞)」という言い方を練習しましょう。

例: 難しくて、さすがの先生も分からなかった。

1. 寒くて、さすがの _____ も _____。
2. からすぎて、さすがの _____ も _____。
3. 四十度の熱があつて、さすがの _____ も _____。
4. 高すぎて、さすがの _____ も _____。
5. 二週間一日も休まなかったので、さすがの _____。

B 「～がち」という言い方を練習しましょう。

例: あしたはくもりがちで、ところによっては雨が降るでしょう。

1. 子供のころは体が弱く、 _____ がちだった。
2. 六月、七月は _____ がちで、はっきりしない天気が続く。
3. 年を取ると、いろいろなことを _____ がちになる。
4. 昔の時計は正確ではなく、 _____ がちだった。
5. 若いころは _____ と考えがちなものだ。

C 「それにしても」という言い方を練習しましょう。

例: A: ああ、やっぱりたばこはおいしいですね。

B: 本当においしそうですね。それにしても、一日に三十本は、多すぎますよ。

1. A: 山田さんは今日はまだ来ませんね。
B: ええ、遅れると言っていましたから。それにしても、 _____。
2. A: やっと終わりました。たくさんありましたからね。
B: ご苦労さま。それにしても、 _____。
3. A: このセーターどうですか。三万円もしたんですよ。
B: いいですね。それにしても、 _____。
4. A: この学校は宿題が多いと聞いていましたが。
B: ええ、それにしても、 _____。
5. A: この美術館はよくこんなにたくさんの作品を集めたものですね。
B: そうですね。それにしても、 _____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

_____ の学生たちを連れて、_____。そこで、_____ を見ることになったが、そのとき、視覚障害の T さんが _____ と言って、皆を驚かせ

第 22 課

た。ある学生が「_____」と T さんに尋ねたところ、T さんは「_____」と答えた。研修が続くある日、学生たちと_____について考えた。「_____」、「_____」などの意見が出て、良い時間を持つことができた。



話しましょう

A 第 22 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「人間の個性の違いまで、異文化と考えるべきではないと思います。異文化間に起こる問題とは、国籍、人種、民族、言語、宗教などの違いが原因で起こる集団と集団との問題です。日本ではあまりこのような問題がありませんから、個人の違いまで異文化と考えるのかもしれませんが、それは違うと思います」

B 外国に住んだり、旅行をしたりすることにどんな意味があると思いますか。



書きましょう

A-1 _____ とばかり思っていた私は、思いがけない _____ て、_____。

例：学生たちから大歓声わき上がるだろうと思っていた

→ 学生たちから大歓声わき上がるだろうとばかり思っていた私は、思いがけない言葉を聞いて、T さんの顔を見つめた。

1. 友達に喜んでもらえるだろうと思っていた →
2. 両親に反対されるだろうと思っていた →
3. 試験は大丈夫だと思っていた →

A-2 _____ のは _____ と思われがちだが、_____。

例：「異文化」から連想される / 国、人種、民族、言語など国境とかかわるものが多い

→ 「異文化」から連想されるのは国、人種、民族、言語など国境とかかわるものが多いと思われがちだが、性別、世代、職業の違い、障害の有無なども人と人を隔てる異文化だと思う。

1. 外国で暮らす / 難しいことだ →
2. 国際結婚をする / とても苦勞が多い →
3. 人に親切にする / 良いことだ →

第23課

[うたう]



新しい言葉

シャボン玉 だま

詩 し

かつて

輝く かがや

後にする あと

歌詞 かし

奥 おく

自ら みづか

間引く まび

鎮魂歌 ちんこんか

代わる か

祈る いの

最低 さいてい

無邪気ナ・ニ むじゃき

光り輝く ひか かがや

不要ナ・ニ ふよう

定義スル ていぎ

団体 だんたい

屋根 やね

テンポ

口ずさむ くち

舞う ま

作者 さくしゃ

表面 ひょうめん

叫び[←叫ぶ] さけ

不安ナ・ニ ふあん

貧困ナ・ニ ひんこん

人知れず ひとし

請う こ

悲痛ナ・ニ ひつう

底 そこ

ふくらます

願う ねが

抜き取る ぬ

応じる おう

飛ばす と

軽快ナ・ニ けいかい

童謡 どうよう

事情 じじょう

まなざし

およそ(～ない)

隠す かく

やむを得ない え

吹き散らす ふきち

貧しい まず

涙 なみだ

徐々に じょじょ

震える ふる

思い付く おも

作物 さくもつ

空ける あ

死語 しご

はしゃぐ

曲 きょく

七色 なないろ

故郷 こきょう

詩人 しじん

考え付く かんが

我が子 わがこ

か弱い よわ

託す たく

農民 のうみん

両手 りょうて

～以上 いじょう

ぶつける

虹 にじ

実る みの

農村 のうそん

ついていく



いっしょに考えましょう

1. 子供のときにどんな歌を歌ったか教えてください。
2. 子供のときに歌った歌で、一番好きな歌はどんな意味の歌ですか。
3. 今、どんな歌が好きですか。
4. それはどこで覚えた歌ですか。
5. その歌を歌うと、どんな気持ちになりますか。

[うたう]

シャボン玉飛んだ 屋根まで飛んだ
 屋根まで飛んで 壊れて消えた
 風々吹くな シャボン玉飛ばそ

野口雨情^{のぐちうじょう}は、はしゃぎながらシャボン玉を飛ばす子供たちの姿を見
 て、この詩^しを書いたそうです。今はあまり歌われなくなったようですが、
 5 速いテンポで、明るく軽快^{けいかい}な曲^{きょく}が付けられ、かつてはだれもが口ずさむ
 童謡^{どうよう}でした。しかし、雨情の目に映っていたのは、本当に笑顔あふれる
 子供たちや七色^{かがや}に輝^まきながら青空を舞うシャボン玉だったのでしょ
 か。どんな事情があったのか、生まれ故郷^{こきょう}を後^{あと}にしなければならなかつ
 10 た作者雨情は、ふるさとを愛し、その自然を優しく見つめた人でした。
 また、弱い立場のものに暖かいまなざしを注ぐ詩人だったとも伝えられ
 ています。そんな雨情が作った「シャボン玉」の歌詞^{かし}には、その表面か
 らはおおよそ考え付かないような作者の心の奥^{おく}からの叫び^{さけ}が隠^{かく}されてい
 るように、私には聞こえるのです。

15 わが子どもころか、自^{みづか}らの明日^{あす}の生活にさえ不安を感じていた親たち
 が、やむを得^えず生まれてすぐのか弱い命を間引かなければならなかった
 時代。貧困^{ひんこん}という風に吹き散^ちらされ、次々に消えていく命短いシャボン
 玉^{たく}に託^{たく}して、雨情は幼い命への鎮魂歌^{ちんこんか}を作ったのではないでしょう
 か。

シャボン玉消えた 飛ばずに消えた
 20 生まれてすぐに 壊れて消えた
 風々吹くな シャボン玉飛ばそ

人知れず幼い命を間引かなければならなかった貧^{まず}しい農民たちに代
 わって、雨情が許しを請^こい、涙^{なみだ}を流しています。「風よ、吹くな」と、

*根 吹 詩 軽 快 曲 童 謡 輝 舞 郷 *後 詞 奥
 叫 隠 *我 *自 *明日 得 貧 *散 託 鎮 魂 *貧 請 涙

[うたう]

両手を合わせて祈っています。その悲痛な祈りは、徐々に怒りに変わります。いくら貧しくても、同じ人間である以上、人間として最低の生活があつていいはずだ。心の底からの震えるほどのこの怒りを、だれにぶつけばいいのか。無邪気にシャボン玉をふくらます子供たちを目の前にして、雨情は、自分も一緒にシャボン玉を飛ばそうと思ひ付きました。5
「シャボン玉よ飛べ」「風よ吹くな」と祈りながら。幼い命の一つ一つが、広く大きな青空に向かって、虹のように光り輝き、どこまでもどこまでも飛んでくれることを、心から願ひながら。

「間引く」は、学習研究社『国語大辞典』では、① 作物をより良く実らせるために、不要な一部を抜き取って間を空けること、② 農村などで、育てられない生まれてすぐの子を殺すこと、と定義されています。社会が豊かになるのに応じて、今はもう「間引き」という言葉など死語になってしまったようです。しかし、飛ばずに消えるシャボン玉や、屋根までしか飛べなかったシャボン玉の数は昔と同じくらい、あるいは、それ以上ではないのでしょうか。ゆとりのある生活をするために、子供はたくさん要らない、「育てられない」と言つて、許しも請わず、涙も流さず、「生まれてすぐの」幼い命を簡単に間引く親たちが、今も大勢いるのです。勉強についていけないから、団体生活ができないからと言つて、「不要な一部」として間引かれてしまう子供たちも少なくありません。

シャボン玉おいで	ここまでおいで	20
消えずに飛んで	ここまでおいで	
風々吹くな	シャボン玉消すな	

シャボン玉の歌を聞くと、雨情のこんな願ひが、私には聞こえてくるのです。

祈 *悲 *痛 徐 *低 底 震 邪 虹 *村 殺 義 *応 勢



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 野口雨情はどんな人だったと言われていますか。
2. 「シャボン玉」の歌詞には何が隠されていると言っていますか。
3. 昔の人はどうして子供の命を間引かなければならなかったのですか。
4. 雨情の怒りとはどのようなものですか。
5. 雨情が心から願っていたのはどんなことですか。
6. 「間引く」という言葉はどのように定義されていますか。
7. どうしてこの言葉は死語になってしまったのですか。
8. 今はもう「間引き」はなくなりましたか。
9. この歌から何を感じましたか。
10. 皆さんの国でよく歌われる童謡はどんな歌ですか。



使いましょう

A 「～なんて、およそ～ない」という言い方を練習しましょう。

例: そんな事故が起こるなんて、およそ考えられない。

1. 家や車を買うために子供を殺すなんて、およそ_____。
2. 同じ間違いを繰り返すなんて、およそ_____。
3. _____なんて、およそ見当も付かない。
4. _____なんて、およそ意味のないことだ。
5. _____なんて、およそ今までに例のないことだ。

B 「やむを得ず～」という言い方を練習しましょう。

例: やむを得ず彼らは子供を殺す。

1. 忙しかったのですが、だれもやりたがらないので、やむを得ず_____。
2. 今朝から熱があったのですが、用事があったので、やむを得ず_____。
3. 両親が病気になったので、やむを得ず_____。
4. _____ので、やむを得ず会うことにしました。
5. _____ので、やむを得ず_____。

C 「～以上」という言い方を練習しましょう。

例: 学生である以上、勉強をすべきだ。

1. せっかく日本に来た以上、_____。
2. 生きている以上、_____。

3. 結婚した以上、_____。
4. _____以上、これからまじめに働こうと思います。
5. _____以上、早くほかの仕事をさがそうと思います。

D 「～に応じて」という言い方を練習しましょう。

例: きせつに応じて、着るものを変えます。

1. 「自然を守ろう」という新聞の広告に応じて、_____。
2. 友達の勧めに応じて、_____。
3. _____に応じて、味をこくしたりうすくしたりします。
4. _____に応じて、練習問題やテストを作ります。
5. _____に応じて、運動のタイプを考えなければなりません。
6. 人々は_____に応じた服装をしています。
7. _____に応じた生活をしていれば、問題はないはずです。
8. うちの会社では_____に応じた_____。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

シャボン玉の歌は_____への鎮魂歌だ。雨情が_____に代わって、_____のである。雨情の時代と違って社会は豊かになったが、今でも_____と言って、_____間引く親たちや、_____からと言って、_____として間引かれてしまう子供たちも少なくない。



話しましょう

A 第23課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「みんなが豊かな生活ができるよう、子供の数を決め、それ以上子供を作らないのは、現代では当たり前のことです。世界の人口問題のことを考えてみれば、それは、すぐ分かると思います」

B 今、「不要な一部」として「間引き」される子供たちをなくすにはどうすればよいと思いますか。



書きましょう

A-1 _____(の)に応じて、今はもう_____。しかし、_____は、昔と同じくらい、あるいはそれ以上ではないでしょうか。

第23課

例: 社会が豊かになる / 「間引く」という言葉 / 間引かれる子供たち

→ 社会が豊かになるのに応じて、今はもう「間引く」という言葉は死語になってしまいました。しかし、間引かれる子供たちは、昔と同じくらい、あるいはそれ以上ではないでしょうか。

1. 通信技術の発達 / 手紙 / Eメールによる言葉のやりとり →
2. 社会全体の上下関係が少なくなる / 身分の違い / 会社という集団の秩序の厳しさ →
3. 生活様式の変化 / 家族団らんの時間 / 家族の結び付きの大切さ →

A-2 _____ からといって、 _____ (てしまう) _____ も少なくありません。

例: 勉強ができない、団体生活ができない / 「不要な一部」として間引かれる

→ 勉強についていけないから、団体生活ができないからといって、「不要な一部」として間引かれてしまう子供も少なくありません。

1. 仕事を続けたい / 子供を作らない →
2. 言葉や習慣が違う / 外国人を「よそ者」と決める →
3. なかなか上手にならない / 勉強をあきらめる →

B _____ のに応じて、今は(もう) _____ 。しかし、 _____ は、昔と同じくらい、あるいはそれ以上ではないでしょうか。 _____ からといって、 _____ (てしまう) _____ も少なくありません。

例: 社会が豊かになり、「間引く」という言葉は死語になったが、間引かれる子供がいることは変わらない

→ 社会が豊かになるのに応じて、今はもう「間引く」という言葉は死語になってしまいました。しかし、間引かれる子供たちは、昔と同じくらい、あるいはそれ以上ではないでしょうか。勉強についていけないから、団体生活ができないからといって、「不要な一部」として間引かれてしまう子供も少なくありません。

1. 機械化が進み、私たちの生活は便利になったが、忙しさは変わらない →
2. 子供の数が少なくなり、大学に入りやすくなったが、競争の厳しさは変わらない →
3. お年寄りが増え、お年寄りのためのサービスも多くなったが、年を取って寂しいと感じるのは変わらない →

第24課

[なおす]



新しい言葉

ながいきスル
助かる

がん
治療スル

患者
数年
本人

(~を)めぐる

特に
関連スル

取り付ける

言い切る

認める

年々

寝たきり

果たして

成す

最新
高齢

かなえる
器具

~をはじめ

治す
移植スル

ドナーカード

意思

専門

脳死
議論スル

横たわる

身内

~わけにはいかない

伸びる

植物人間

本来

現場

(最新)式

考え直す

もくひょう
導入スル

先天的ナ・ニ

腎臓

臓器

注目スル

表明スル

必ずしも~ない

場合

脳波

外す

割り切る

現実ニ

負担スル

最大限ニ

現状

延命スル

いりょう
医療

ケース

心臓

肝臓

手術スル

生前

制度

順調ナ・ニ

~ことから

人工呼吸スル

第三者

もしかして

平均寿命

通院スル

可能性

取り除く

多量

~ばかりか



いっしょに考えましょう

1. 大きな病気やけがで入院したことがありますか。
2. 知っている人が入院したことがありますか。
3. 皆さんの国にある、昔から使われている病気の治し方を話してください。
4. 昔はなかったけれど、今はよく使われている病気の治し方の例を挙げてください。
5. 新しい技術を使って、昔は治せなかった病気が今は治せるようになりましたが、その結果、どんなことが起こっているか考えてください。

[なおす]

一日でも長生きをという願いをかなえることを目標に、医療技術は目覚ましい進歩を遂げてきた。その結果、昔なら助からなかった人が、新しい器具や技術の導入のおかげで元気になるケースも今では少なくない。しかし、そうした医療技術の進歩が私たちにもたらしたものは何だったのだろうか。

がんをはじめ、先天的な心臓病など治療が難しい病気は多い。そのような重い病気を治す方法の一つが、他人から心臓、腎臓、肝臓などを提供してもらい患者に移植する、いわゆる臓器移植の手術である。日本でも数年前にドナーカードが導入され、大きな注目が集まった。もし、自分に万一のことがあったら臓器を提供すると、生前に本人の意思を表明しておく制度である。もっとも、この制度をめぐっては、臓器移植そのものについて専門家の間でさえも様々な問題が取り上げられ、必ずしも順調に普及しているというわけではない。特に、臓器が脳死者から提供される場合が多いことから、それに関連する多くの議論があり、簡単には片付けられない問題となっている。

脳死とは、脳波が止まり、人工呼吸によって心臓だけが動いている状態を呼ぶ。患者に意識はなく、身体中に器具を取り付けられ、ただベッドに横たわっているだけである。話しかけても返事はもちろん、全く反応しない。笑うことも泣くことも、食べることも飲むこともしない。「これでは生きているとは言えない。器具を外してしまうべきだ」と、第三者なら言い切れるのだろうが、身内の立場からするとそう簡単に割り切

標 療 導 臓 治 *治 腎 肝 患 *者 *移 専 順 脳
*波 *呼 吸 *身体 泣 *外 *内 *割

[なおす]

ることはできない。「もしかして」という思いで、なかなか死を認めるわけにはいかない。

現在、医療技術の進歩のおかげで、平均寿命は年々伸びる傾向にある。いつまでも健康であるなら何も問題はないのだが、現実はどうなのだろうか。何らかの理由で通院しなければならない人、寝たきりの人、さらには、植物人間と呼ばれる状態で、身内に大きな負担をかけている人。自分の身の回りにはそんな人はいないと、自分はそんな状態になる可能性はないと、果たしてどれだけの人が言えるのか。

本来、医療とは、患者の苦しみを最大限取り除くことを目的に成されるべきものではなかったのだろうか。医療現場の現状を見ると、必ずしもそうではないようだ。患者本人の思いとは別に、一分、一秒でも長生きさせるために多量の薬を使い、最新式の器具の助けを借り、延命治療が続けられている。そうした現状が、患者ばかりか周りの人たちに何をもたらすことになるのか。社会の高齢化が進む今、もう一度考え直すべき問題である。

15



認 均 寿 *命 伸 *負 担 *限 *除 *成 秒 量 延



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 何を目標に医療技術を進歩させてきましたか。
2. その結果、どうになりましたか。
3. 重い病気を治す方法の一つとして、どんな方法が開発されましたか。
4. そのために、どんな制度が作られましたか。
5. この制度をめぐる、特にどんな議論がありますか。
6. 脳死というのはどんな状態のことですか。
7. 平均寿命が延びるのは良いことですか。
8. 医療の目的とは何だと言っていますか。
9. 現在の医療でおかしいと思うことは何ですか。
10. これからの医療で一番考えられなければならないと思うことは何ですか。



使いましょう

A 「～をはじめ」という言い方を練習しましょう。

例: 医者をはじめ、各界の専門家から様々な意見が出されている。

1. 今度の計画は、社長をはじめ、_____。
2. その劇的な瞬間は、テレビをはじめ、_____。
3. 私の家では、父をはじめ、_____。
4. _____をはじめ、全員が反対しています。
5. _____をはじめ、いろいろ有名な所へ行きました。

B 「～をめぐる」という言い方を練習しましょう。

例: 脳死をめぐる、様々な意見が出された。

1. 昨日の会議では、新しい計画をめぐる、_____。
2. 臓器移植をめぐる、_____。
3. 父の残した土地をめぐる、_____。
4. _____をめぐる、様々な意見が出された。
5. _____をめぐる、あちらこちらで会議が開かれた。

C 「～ことから」という言い方を練習しましょう。

例: この町は川が多いことから、「水の町」と呼ばれている。

1. 最近_____ことから、交通規則がさらに厳しくなった。
2. 最近_____ことから、個人情報の管理が問題となっている。

3. 最近_____ことから、仕事を持たない人が増えた。
4. _____ことから、結婚式の日を五月に決めた。
5. _____ことから、_____は無理だと判断した。

D 「～わけにはいかない」という言い方を練習しましょう。

例: 人の心の問題を無視するわけにはいかない。

1. 社長だからといって、_____わけにはいかない。
2. いくらお酒が飲めなくても、_____わけにはいかない。
3. 先生にたのまれたのだから、_____わけにはいかない。
4. 母に知られたら、_____わけにはいかない。
5. 持っているお金を全部使って_____わけにはいかない。



まとめましょう

下線に言葉を入れて本文をまとめてください。

医療技術の進歩は目覚ましい。日本でも数年前_____ために、_____が導入された。しかし、臓器が_____場合も多く、様々な問題がある。また、平均寿命は_____が、それは本当に良いことだろうか。本来、医療とは、_____のに、患者本人の思いとは別に、_____が続けられている。それが、_____のか、もう一度考え直すべきである。



話しましょう

A 第24課を読んである人が次のように言いました。どう思いますか。

「長生きすればするほど幸福だと多くの人は考えているようですが、違うと思います。人間の幸せは生きる長さとは関係ないと思います。長くても短くてもそれぞれ意味があると思います。人間は自然に生まれ、死ぬのが一番いいと思います」

B 治らない病気にかかった患者に医者はそれを知らせるべきだと思いますか。



書きましょう

A-1 本来、_____とは、_____ではなかったのだろうか。しかし、_____を見ると、必ずしも_____。

例: 医療は患者の苦しみを最大限取り除くことだ

第 24 課

→ 本来、医療とは、患者の苦しみを最大限取り除くことを目的に成されるべきものではなかったのだろうか。しかし、医療現場の現状を見ると、必ずしもそうではないようだ。

1. 報道は事実を正確に伝えるためのものだ →
2. 教育は子供の可能性を最大限に育てることだ →
3. 宗教が目指すのは人間が安心して平和に暮らせる世界だ →

A-2 _____ が _____ のか、 _____ 今、もう一度考え直すべき問題である。

例: 医療現場の現状 / 患者や周りの人たちにもたらすもの / 社会の高齢化
→ 医療現場の現状が患者や周りの人たちに何をもたらすのか、社会の高齢化が進む今、もう一度考え直すべき問題である。

1. 便利で豊かな暮らし / 地球環境に与える影響 / 環境破壊 →
2. 子供の数が少なくなること / 将来の日本経済に与える影響 / 社会の高齢化 →
3. 外国語を勉強することだけ / 国際化を進める方法 / 異文化との交流がますます求められている →

第25課

[のびる]



新しい言葉

おやじ
握る
資本
奇跡的ナ・ニ
乗り切る
(~を)挙げて
(競争)力
幅広い
年功序列
摩擦スル
業績
従業スル
(その)辺
ふと
はかない
倒産スル
(就職)難
キーワード
視野
注文スル

口をはさむ
次第に
~たびニ
(~に)わたる
有数
かけ声
優秀ナ
独特ナ
雇用スル
株式会社
伸ばす
(従業)員
目先
価値
バブル景気
失業スル
週休二日制
目を向ける
揺らぐ
皮肉ナ

不景気ナ
熱が入る
対応スル
石油
大国
(~の)下
人材
終身雇用
帰属意識
(冗談)交じり
表情
全員
しかしながら
見いだす
崩壊スル
(失業)率
余暇
~つつある
基礎
地道ナ・ニ

見失う
交える
克服スル
危機
(~に)おける
市場
確保スル
保証スル
貿易スル
一体
(父親)役
物語る
とらわれる
公害
不況
新卒
生涯
長期的ナ・ニ
築く



いっしょに考えましょう

1. 日本の経済について、知っていることはどんなことですか。
2. 会社を選ぶとき、どんな点を考えて選びますか。
3. 皆さんの国では、定年まで働く人が多いですか。
4. 皆さんの国が、これからも経済発展するために問題だと思うことは何ですか。
5. 経済発展をした国が果たすべき役割は何だと思えますか。

【のびる】

「あの時代がおかしかったんですよ」おやじさんが、口をはさんだ。同僚と長く続く不景気の話をはじめたときのことだ。「作りさえすれば何でも売れた時代があったもんだから、調子に乗りすぎて自分の本当の姿を見失^{うしな}ってたんだよ、国全体がね」商社を途中で退職して、包丁を握^{にぎ}ることにしたというおやじさんの言葉には、次第に熱が入ってきた。「おやじさんの昔の話なんか聞くの、初めてだな」いつもの所で一杯やっていた同僚と私は顔を見合わせた。それからしばらく、おやじさんも交^{まじ}えて経済の話になった。

戦後わずか四十年ほどの間に、資源も資本も持たない日本が、様々な困難に遭うたびにそれに対応^{こくふく}、克服^{きせき}して奇跡的な経済成長を遂げた。そればかりか、二度にわたる石油危機も乗り切り、有数の経済大国として世界経済における重要な役割をも果たすようになった。国を挙^あげての経済発展のかけ声^{もと}の下、企業はどこも、世界市場で十分な競争力を持つ商品の開発を目指して、優^{ゆうしゅう}秀^{かくほ}な人材を確保し、幅^{はばひろ}広い技術を身に付けさせる。と同時に、日本独特^{しゅうしんこよう}の終身雇用制度で身分を保証し、年功序列^{ねんこうじょれつ}にしたがって雇用者を昇進させ、給与を上げることで、社員の帰属意識を強くしてきた。時には貿易^{ぼうえき}摩擦^{まさつ}を引き起こした国々から「日本株式会社」と冗談交じりに呼ばれるほどに、企業は国と一体となって業^{ぎょう}績^{せき}を伸ばしてきた。

20 「『仕事は』って聞かれると、会社の名前を答えてたものな」おやじさんの顔に懐かしそうな表情が浮かんだ。「社長が父親^{じゅうぎやういん}役で、従^{じゅうぎやういん}業員全員

*失 握 *交 克 奇 跡 *挙 *下 *優 秀 保 幅 *終 雇
功 列 貿 易 摩 擦 績 従

【のびる】

が家族」そう語るおやじさんの言葉が当時の状況をよく物語っている。もっとも、その^{へん}辺の事情は同僚と私も知らないわけではない。

家にいる時間よりも会社にいる時間の方が長い、そんな生活の繰り返しの時代だった。今振り返ってみれば、目先の利益ばかり追っていたと言われるかもしれないが、それでも一生懸命頑張り、業績はどんどん伸⁵びた。しかしながら、利益にばかりとらわれているうちに何かを見失い、ふと気が付くと、残ったのはカネとモノだけにしか^{かち}価値を見いだせない人間、そして、ひどい公害だけだった。その後、はかないシャボン玉のような存在だったバブル景気の崩壊^{ほうかい}がきっかけとなって、長い不況時代へ。今、テレビや新聞紙上では、かつてない規模で続く^{とうさん}倒産、リストラ¹⁰による高い^{しつぎょうりつ}失業率、新卒者の就職難と、毎日のように深刻な状況が報道されている。

もっとも一方では、残業に取られなくなった時間や週休二日制でできた^{よか}余暇を利用して、ボランティア活動や^{しょうがい}生涯教育のクラスに参加する余裕を持った人たちも確実に増えてきている。「自分らしく」をキーワード¹⁵に「カネとモノからココロに目を向ける時代」へ移りつつあるという。人間が人間らしく生きるために、長期的な視野に立って揺らぐことのない社会の^{きそ}基礎を^{きず}築くことの大切さが、今こそ問われているのかもしれない。

「二度とあんな時代は来ないよ。いや、来て欲しくないね。嫌だよ、あ²⁰んな人生。ハイ、ビールね」他の客の^{ちゅうもん}注文も聞きながら「包丁持って二十五年。皮肉な話だけど、金は無^なくても今の方がずっと地道に、自分の力で生きてるような気がするよ」おやじさんは言葉を続けた。



答えましょう

次の質問に答えてください。

1. 店のおやじさんはどんな人ですか。
2. 戦後四十年の間に日本の経済はどうなりましたか。
3. 企業は、何を指してどんな努力をしましたか。
4. 「終身雇用」や「年功序列」と呼ばれる制度は、どんな結果をもたらしましたか。
5. 「日本株式会社」と呼ばれたのはどうしてですか。
6. 日本経済が高度成長を果たした結果、何が残ったと言っていますか。
7. バブル景気崩壊後の長い不況の影響で、どんなことが起こっていますか。
8. 今、時代はどのように移りつつあると言っていますか。
9. 皆さんの国の経済は今どんな状態にありますか。
10. 皆さんの国のこれからの経済発展にとって、一番大きな問題は何だと思えますか。



使いましょう

A 「～さえ～ば」という言い方を練習しましょう。

例: A: 会社を経営するのに、一番大切なことは...

B: 優秀な人材さえ確保できれば、後は、あまり問題ないですよ。

1. A: これ、だれにでも簡単に使えますか。
B: ええ、ここに書いてある説明さえ_____ば、_____。
2. A: 日本の大学生はどうして勉強しないんですか。
B: _____さえ_____ば、後は卒業できると思ってるんですよ。
3. A: まだできないんですか。
B: ええ、後は_____さえ_____ば、それで終わりです。
4. A: _____さえ_____ば、食べられると書いてあるんですが。
B: そうですね。お湯を入れて、三分間待てば食べられます。
5. A: あなたは頭がいいんだから、後は_____さえ_____ば、_____。
B: そうですね。でも日本の大学へ入るのはそんなに簡単じゃないでしょう。

B 「～たびに」という言い方を練習しましょう。

例: 日本経済はそのたびにこれを乗り切ってきた。

1. あの人はクリスマスのたびに_____。
2. あの人は会うたびに_____。

3. 本屋へ行くたびに_____。
4. 新しい経験をするたびに_____。
5. 毎年夏が来るたびに_____。

C 「～における / ～においては」という言い方を練習しましょう。

例: 世界経済における日本の役割は重要になっている。

1. 現代におけるマスコミの役割は_____。
2. 家庭における母親の役割は_____。
3. 職場における男性の立場は_____が、家庭においては_____。
4. 日本の企業においては_____が大きな問題だ。
5. 人口の多い都市においては_____が問題になっている。

D 「～の下で」という言い方を練習しましょう。

例: 国際化のかけ声の下で私たちは頑張った。

1. 彼は十五歳まで両親の下で_____。
2. 厳しい先生の下で_____。
3. 新しい社長の下で_____。
4. 経済発展のかけ声の下で、_____。
5. 周りの人々の暖かい援助の下で、_____。

E 「～つつある」という言い方を練習しましょう。

例: 経済発展にばかり目を向けることによって、価値あるものを見失いつつある。

1. 地球の自然は_____によって_____つつある。
2. 日本の雇用制度は_____によって_____つつある。
3. 社会の上下関係は_____によって_____つつある。
4. 平均寿命は_____によって_____つつある。
5. 親子の関係は_____によって_____つつある。



まとめましょう

下線のところに言葉を入れてください。

日本は戦後わずか四十年ほどの間に、_____。しかし、_____うちに何かを見失い、残ったのは、_____と_____だけだった。バブル景気の崩壊後は_____。もっとも一方では、_____人たちも増えており、「カネとモノから_____」へ移りつつあると言う。_____の大切さが今問われている。



話しましょう

A 第 25 課を読んで、ある人が次のように言いました。どう思いますか。

「私の国では定年まで一つの会社にいる人は少なく、自分に合わなければどんどん職場を変えます。若くても仕事ができれば、課長や部長になれ、日本の会社のように長く勤めていれば、力がなくても上司になれるということはありません」

B 今一番話題になっている経済問題は何ですか。それについて話し合しましょう。



書きましょう

A-1 _____ と言われるかもしれないが、それでも、_____ て、_____。

例: 目先の利益ばかり追っていた

→ 目先の利益ばかり追っていたと言われるかもしれないが、それでも、一生懸命頑張って、業績はどんどん伸びた。

1. 遊んでばかりいるくせに →
2. 最近の若者はだめだ →
3. 役に立たない →

A-2 _____ うちに、_____。ふと気が付くと、_____ (の)は _____。

例: 目先の利益にとらわれる / 残る / カネとモノだけに価値を見いだす人間とひどい公害

→ 目先の利益にとらわれているうちに、何かを見失ってしまった。ふと気が付くと、残ったのはカネとモノだけに価値を見いだす人間とひどい公害だけだった。

1. 仕事に夢中になる / 残業している / 私 →
2. 子供のことばかり考える / 私の人生 / 子供を育てること →
3. 熱心にアルバイトをする / 大学生活の思い出 / アルバイトに関係のあること →

索引

～がたい [～難しい] 22
～がわり [～代わりニ] 17
～たところで 16
～たばかり 4
～てたまらない 4
～といえは 8
～といっても 6
～とか 3
～とともに 18
～における 25
～にかけて 10
～にかんする [～に関する] 21
～にしたがって 15
～にたいする [～に対する] 9
～について 9
～につれて 11
～にとって 12
～にもかかわらず 18
～によって 11
～にわたる 25
～のもと [～の下] 25
～より 3
～をあげて [～を挙げて] 25
～をとおして [～を通して] 20
～をはじめ 24
～をめぐる 24

CD 3

DK 2

NGO 21

NPO 21

あ

あい [愛スル] 10
あいかわらず [相変わらず] 15

あいしょう [相性] 17
あいて [相手] 7
アイデア 14
あいよう [愛用スル] 13
あう [遭う] 13
あき [空き(缶)] 4
あきらか [明らかナ・ニ] 15
あきらめる 12
あきれる 4
アクセススル 11
あくよう [悪用スル] 11
あげて [(～を)挙げて] 25
あける [空ける] 23
あせ [汗] 14
あせる [焦る] 16
あたえる [与える] 17
あたかも 20
あたためる [暖める] 18
あたまにくる [頭にくる] 3
あたり [辺り] 19
あたりまえ [当たり前] 5
あたる [当たる] 16
あちらこちら 13
あつかい [扱い] 15
あつかう [扱う] 15
あつというまに [あつという間に] 22
あてはめる [当てはめる] 17
あと～13
あとにする [後にする] 23
アナウンススル 7
あふれる 22
アポイント 16
あまり [(十年)余り] 19
あゆむ [歩む] 21
あら 3

索引

- あらかじめ 20
あらそう [争う] 14
あらわす [現す] 22
あらわす [表す] 9
あらわれる [現れる] 14
ある～ 5
あるいは 19
あわせる [合わせる] 13
あわてる [慌てる] 15
アンケート 10
あんしん [安心スル] 8
- い
- い [胃] 16
いいかげんナ・ニ 17
いいきる [言い切る] 24
いう [言う] 1
いえば(～といえば) 8
いがい [意外ナ・ニ] 17
いがい [～以外] 15
いかす [生かす] 20
いかに(いかに～か) 12
いかる [怒る] 20
いきいき(と) [生き生き(と)スル] 12
いきがい [生きがい] 10
いきかえり [行き帰りニ] 13
いきかえる [生き返る] 19
いきぬき [息抜きスル] 15
いきもの [生き物] 14
いきる [生きる] 10
いし [意思] 24
いしき [意識スル] 15
いじょう [～以上] 23
いしょく [移植スル] 24
いぜん [以前ニ] 18
いたい [遺体] 13
いたずらスル 7
いたむ [痛む] 16
いち [市] 12
いちぶ [一部] 16
- いっけん [一見スル] 17
いっこだて [一戸建て] 16
いっしゅん [一瞬] 19
いっせいに [一斉に] 22
いっそう 18
いったい [一体] 25
いったい 9
いっても(～といっても) 6
いつのまにか [いつの間にか] 9
いっばい [一杯] 5
いっばいやる [一杯やる] 9
いっばん [一般ニ] 17
いっぼう [一方] 15
いつまでも 3
いでんし [遺伝子] 11
いながらにして 20
いねむり [居眠りスル] 16
いのち [命] 21
いのる [祈る] 23
いぶんか [異文化] 22
いま [居間] 18
いまだ(に) 13
いまでは [今では] 13
いまや [今や] 20
いらい [～以来] 21
いらいらスル 13
いりょう [医療] 24
いわゆる～ 18
いん [(従業)員] 25
いんしょう [印象] 17
インスタント 13
インターネット 11
- う
- うーん 10
うえき [植木] 12
うえで [～上で] 17
うかぶ [浮かぶ] 14
うけいれる [受け入れる] 15
うけとる [受け取る] 8

うける [受ける] 20
 うごく [動く] 13
 うすぎ [薄着スル] 22
 うそ 8
 うち 8
 うちあげはなび [打ち上げ花火] 19
 うちあわせ [打ち合わせ] 16
 うちあわせる [打ち合わせる] 16
 うちに(～うちに) 14
 うちゅう [宇宙] 14
 うちゅうひこうし [宇宙飛行士] 14
 うちわ 19
 うつくしい [美しい] 14
 うつす [映す] 20
 うつる [移る] 14
 うつる [映る] 16
 うで [腕] 6
 うなずく 19
 うまくやる 16
 うみだす [生み出す] 21
 うむ [有無] 11
 うりこみ [売り込み] 11
 うりこむ [売り込む] 11
 うるさい 4
 うれる [売れる] 6

え

えいきょう [影響スル] 8
 えいせい [衛星] 14
 えいぞう [映像] 20
 えがお [笑顔] 10
 えがく [描く] 9
 えさ 12
 エヌジーオー [NGO] 21
 エヌピーオー [NPO] 21
 エネルギー 21
 えらい [偉い] 3
 えん [縁] 13
 えんじょ [援助スル] 14
 えんめい [延命スル] 24
 えんりょ [遠慮スル] 22

お

おう [追う] 10
 おうさま [王様] 20
 おうじる [応じる] 23
 おうべい [欧米] 18
 おおごえ [大声] 4
 おおて [大手] 11
 おおやけ [公ニ] 17
 おおよろこび [大喜びスル] 14
 おか [丘] 22
 おかげ 14
 おかしい 5
 おきにいり [お気に入り] 19
 おきる [起きる] 18
 おく [奥] 23
 おける(～における) 25
 おこる [起こる] 11
 おさない [幼い] 9
 おしゃべり+ 5
 おしゃれ+ニ 8
 おじょうさん [お嬢さん] 11
 おせん [汚染スル] 21
 おそらく 18
 おそろしい [恐ろしい] 11
 オゾンそう [オゾン層] 21
 おたがい [お互いニ] 12
 おたく [お宅] 11
 おちつく [落ち着く] 13
 おっと 16
 おとしより [お年寄り] 4
 おとずれる [訪れる] 22
 おとなしい [大人しい] 4
 おぼうさん [お坊さん] 14
 おみやげ 3
 おもいうかべる [思い浮かべる] 17
 おもいがけない [思いがけない] 10
 おもいだす [思い出す] 2
 おもいたつ [思い立つ] 14

索引

- おもいつく [思い付く] 23
おもいで [思い出] 2
おもいやり [思いやり] 7
おもいやる [思いやる] 7
おもんじる [重んじる] 17
おやじ 25
およそ(およそ～ない) 23
おんしつこうか [温室効果] 21
おんだんか [温暖化スル] 21
- か**
- か [(芸術)家] 17
か [(多様)化スル] 20
カーペット 11
がい [(生き)がい] 10
かいがい [海外] 13
かいかん [会館] 2
かいぎ [会議] 15
かいけつ [解決スル] 21
がいけん [外見] 8
かいさい [開催スル] 21
がいしゅつ [外出スル] 13
かいしょう [解消スル] 16
かいほう [解放スル] 19
かえって 13
かえってくる [返ってくる] 5
かえる [変える] 14
かかえる [抱える] 21
かがくてき [科学的ナ・ニ] 17
かがやく [輝く] 23
かかる [(電話が)かかる] 11
かかわらず(～にもかかわらず) 18
かかわり 15
かかわる 15
かぎり [～限り] 19
かぎる [限る] 15
かく(かつ) [各(国)] 21
かくじつ [確実ナ・ニ] 21
がくしゅう [学習スル] 20
かくす [隠す] 23
かくだい [拡大スル] 21
かくほ [確保スル] 25
かけいぼ [家計簿] 18
かけごえ [かけ声] 25
かけて(～にかけて) 10
かける [(声を)かける] 10
かける [(時間を)かける] 6
かこむ [囲む] 5
かし [歌詞] 23
かた [型] 13
がたい [(理解し)難しい] 22
かたがき [肩書き] 8
かたこと [片言] 5
かたづける [片付ける] 4
かたて [片手] 5
かたみ [形見] 13
かたりかける [語りかける] 13
かたる [語る] 22
かち [価値] 25
がち [(遠慮)がちナ・ニ] 22
かちく [家畜] 21
かちまけ [勝ち負け] 6
かちょう [課長] 15
かつて 23
かつどう [活動スル] 14
かつやく [活躍スル] 18
かてい [家庭] 2
がてら(～がてら) 19
かでん [家電] 11
かどう [華道] 6
かなえる 24
かなしむ [悲しむ] 20
かならず [必ず] 19
かならずしも [必ずしも～ない] 24
かねない(～かねない) 20
かねもうけ [金もうけスル] 11
かねる [兼ねる] 18
かのう [可能ナ] 20
かのうせい [可能性] 24
かぶしきがいしゃ [株式会社] 25

- がまん [我慢スル] 4
 がめん [画面] 20
 かよう [通う] 11
 かよわい [か弱い] 23
 カラオケ 16
 からかう 9
 かれる [枯れる] 21
 かわ [皮] 5
 かわく [乾く] 19
 がわり [(あいさつ)代わりニ] 17
 かわる [替わる] 18
 かわる [代わる] 23
 かわる [変わる] 8
 かん [缶] 4
 かん [(異文化)間] 22
 がん 24
 かんがえつく [考え付く] 23
 かんがえなおす [考え直す] 24
 かんきょう [環境] 14
 かんじがする [感じがする] 7
 かんしゃ [感謝スル] 12
 かんじゃ [患者] 24
 かんじょう [感情] 17
 かんじる [感じる] 13
 かんしん [関心] 15
 かんする [(～)に関する] 21
 かんせい [歓声] 22
 かんぞう [肝臓] 24
 かんたん [簡単ナ・ニ] 6
 かんだう [感動スル] 20
 がんばる [頑張る] 3
 かんり [管理スル] 11
 かんれん [関連スル] 24

き
 キーワード 25
 きがあう [気が合う] 5
 きがつく [気が付く] 13
 きがよわい [気が弱い] 14
 きき [危機] 25
 ききだす [聞き出す] 11
 きぎょう [(中小)企業] 16
 きぐ [器具] 24
 きけん [危険ナ・ニ] 17
 きげん [機嫌] 19
 きじ [記事] 18
 ぎじゅつてき [技術的ナ・ニ] 6
 きずく [築く] 25
 きせきてき [奇跡的ナ・ニ] 25
 きそ [基礎] 25
 きぞくいしき [帰属意識] 25
 きたく [帰宅スル] 19
 きっかけ 12
 きづく [気付く] 15
 きっと 2
 きにいる [気に入る] 13
 きにかかる [気にかかる] 7
 きにかける [気にかける] 15
 きにする [気にする] 13
 きねん [記念スル] 2
 きびしい [厳しい] 15
 きぼ [規模] 21
 きまぐれ [気まぐれナ・ニ] 17
 きまま [気ままナ・ニ] 18
 きまる [決まる] 2
 きみがわるい [気味が悪い] 11
 きめる [決める] 15
 きゃっかんてき [客観的ナ・ニ] 17
 きゅう [球] 14
 きゅうそく [急速ナ・ニ] 21
 きゅうよ [給与] 13
 きゅうりょう [給料] 8
 きょういく [教育スル] 18
 きょうし [教師] 14
 きょうせい [共生スル] 21
 ぎょうせき [業績] 25
 きょうそう [競争スル] 19
 きょうつう [共通スル] 20
 きょうゆう [共有スル] 21
 きょうりよく [協力スル] 14

索引

きよく [曲] 23
きよくたん [極端ナ・ニ] 18
きらう [嫌う] 13
ぎりぎり 16
きりつただしい [規律正しい] 15
きりとる [切り取る] 20
きる [(乾き)切る] 19
きろく [記録スル] 22
ぎろん [議論スル] 24
きをとられる [気を取られる] 22
きをよくする [気を良くする] 14
きをわるくする [気を悪くする] 22
きんし [禁止スル] 7
きんじょ [近所] 9
ぎんなん 12
きんむ [勤務スル] 16

く

クイズ 20
くうき [空気] 21
ぐうぜん [偶然ニ] 12
くせ(～くせに) 9
くちかず [口数] 22
くちぐせ [口癖] 9
くちずさむ [口ずさむ] 23
くちにする [口にする] 5
くちにだす [口に出す] 1
くちをはさむ [口をはさむ] 25
くべつ [区別スル] 9
くやくしょ [区役所] 12
クラクション 16
くらし [暮らし] 21
くらす [暮らす] 21
クラブ 2
くらべものにならない [比べものにならない] 21
くらべる [比べる] 8
くらやみ [暗やみ] 19
くりかえす [繰り返す] 7
くるしむ [苦しむ] 6

くろう [苦勞スル] 12
くわしい [詳しい] 11

け

けいえい [経営スル] 16
けいかい [軽快ナ・ニ] 23
けいかく [計画スル] 20
けいけん [経験スル] 11
けいご [敬語] 7
けいこう [傾向] 17
けいざい [経済] 18
けいざいてき [経済的ナ・ニ] 10
げいじゅつ [芸術] 17
けいたいでんわ [携帯電話] 18
けいやく [契約スル] 16
ケース 24
ゲーム 3
げきてき [劇的ナ・ニ] 20
けしょう [化粧スル] 4
けたたましい 22
けつえき [血液] 17
けっか [結果] 18
けっきょく [結局] 5
けっして [決して～ない] 15
けん [券] 7
げんいん [原因] 13
げんご [言語] 22
けんこう [健康ナ・ニ] 10
げんざい [現在] 15
げんじつ [現実ニ] 24
けんしゅう [研修スル] 22
げんじょう [現状] 24
げんだい [現代] 15
げんち [現地] 22
けんどう [剣道] 6
けんとうをつける [見当を付ける] 13
げんに [現に] 18
げんば [現場] 24

- こ
 ご [～後] 12
 こい [恋スル] 10
 コイ 12
 こう [請う] 23
 こうがい [公害] 25
 こうかてき [効果的ナ・ニ] 21
 こうけい [光景] 18
 こうこく [広告スル] 2
 こうしゃ [公社] 12
 こうずい [洪水] 21
 こうどう [行動スル] 17
 こうどせいちょう [高度成長スル] 18
 こうはん [後半] 10
 こうりゅう [交流スル] 22
 こうれい [高齢] 24
 こかげ [木陰] 12
 こがら [小柄ナ] 12
 こきょう [故郷] 23
 ゴクゴク(と) 19
 こくさい [国際] 2
 こくさいてき [国際的ナ・ニ] 21
 こくふく [克服スル] 25
 こちよい [心地よい] 22
 こころみ [試み] 12
 こころみる [試みる] 12
 こしかける [腰掛ける] 19
 こしつ [個室] 18
 こしをおろす [腰を下ろす] 12
 こじん [個人] 11
 こじんてき [個人的ナ・ニ] 15
 こせい [個性] 9
 こせき [戸籍] 11
 こそ(～こそ) 11
 こだかい [小高い] 22
 こたつ 18
 こっきょう [国境] 22
 こっこくと [刻々と] 20
 こっそり(と) 19
 ことから(～ことから) 24
 ことわざ 15
 このあいだ [この間] 3
 このごろ 3
 このまえ [この前] 3
 こばん [小判] 1
 コピースル 10
 ごぶさたスル 2
 ごほうび 19
 こぼれる 22
 コミュニケーション 18
 こむ [込む] 16
 こよう [雇用スル] 25
 ごらく [娯楽] 20
 こる 17
 ころ 4
 こわい [怖い] 11
 こわれる [壊れる] 15
 こんきよ [根拠] 17
 こんご [今後] 20
 こんなん [困難ナ] 15
- さ
 さいご [最後ニ] 16
 ざいさん [財産] 11
 さいしん [最新] 24
 さいだいげん [最大限ニ] 24
 さいてい [最低] 23
 さいのう [才能] 10
 さいばい [栽培スル] 14
 さえ(～さえ) 11
 さき [(取り引き)先] 15
 さくしゃ [作者] 23
 さくひん [作品] 20
 さくもつ [作物] 23
 さけび [叫び] 23
 さけぶ [叫ぶ] 23
 ささえる [支える] 15
 さすがニ 22
 ざせき [座席] 4
 さそう [誘う] 22

索引

- さだめる [定める] 15
さっきゅう [早急ナ・ニ] 21
さっそく [早速] 12
さっと 16
さて 2
さどう [茶道] 6
さばく [砂漠] 21
さまざま [様々ナ・ニ] 17
さらに 14
サラリーマン 4
さんか [参加スル] 21
ざんぎょう [残業スル] 7
さんせいう [酸性雨] 21
- し
- し [市] 19
し [詩] 23
しあわせ [幸せナ・ニ] 10
シーディー [CD] 3
ジェンダー 9
しかく [視覚] 22
しかしながら 25
しき [(最新)式] 24
しげん [資源] 21
じけん [事件] 20
しご [死語] 23
じじつ [事実] 17
しじょう [市場] 25
じじょう [事情] 23
しじん [詩人] 23
じしん [(自分)自身] 20
しぜん [自然] 14
しぜんかがく [自然科学] 14
しそう [思想] 11
しだい [~次第] 21
しだいに [次第に] 25
したがって(~にしたがって) 15
したがって 18
したい [親しい] 12
しっかり(しっかり(と)スル) 15
しつぎょう [失業スル] 25
じっとスル 4
じつは [実は] 17
してい [指定スル] 7
しない [市内] 16
しばらく 2
しばる [縛る] 17
しほん [資本] 25
じまい [(聞かず)じまい] 9
しまいに 13
じみ [地味ナ・ニ] 9
じみち [地道ナ・ニ] 25
しめい [使命] 20
しゃ [(経営)者] 16
しゃ [視野] 25
しゃかいてき [社会的ナ・ニ] 10
しゃくしょ [市役所] 19
しゃたく [社宅] 16
シャボンだま [シャボン玉] 23
しゆ [種] 14
しゅうかん [習慣] 18
しゅうきゅうふつかせい [週休二日制]
25
しゅうきょう [宗教] 11
じゅうぎょう [従業スル] 25
しゅうじつ [週日] 16
しゅうしょく [就職スル] 13
しゅうしんこよう [終身雇用] 25
じゅうたい [渋滞スル] 16
じゅうたく [住宅] 19
しゅうだん [集団] 15
じゅうぶん [十分ナ・ニ] 16
じゅうほんぼう [自由奔放ナ・ニ] 17
しゅうまつ [週末] 14
じゅうよう [重要ナ・ニ] 20
しゅじゅつ [手術スル] 24
しゅっしん [出身] 12
しゅっせき [出席スル] 16
しゅっちょう [出張スル] 13
しゅふ [主婦] 12

- しゆみ [趣味] 10
 じゆんかつゆ [潤滑油] 16
 しゆんかん [瞬間] 19
 じゆんちよう [順調ナ・ニ] 24
 じゆんび [準備スル] 17
 じよう [(招待)状] 2
 じよう [(地平線)上] 22
 じよう [(六)畳] 2
 しょうがい [障害] 22
 しょうがい [生涯] 25
 しょうがない 12
 じようきよう [状況] 21
 じようげかんけい [上下関係] 15
 じようし [上司] 10
 しょうじき [正直ナ・ニ] 11
 しょうしゃ [商社] 13
 しょうしょう [少々] 15
 しょうしん [昇進スル] 13
 じようたい [状態] 21
 じようだん [冗談] 3
 しょうとつ [衝突スル] 22
 しょうひ [消費スル] 21
 しょうひん [商品] 21
 じようほう [情報] 11
 しょくぎよう [職業] 17
 しょくご [食後] 18
 しょくたく [食卓] 18
 しょくば [職場] 19
 しょくぶつにんげん [植物人間] 24
 じよじよに [徐々に] 23
 しょたいめん [初対面] 17
 しょるい [書類] 16
 しらが [白髪] 12
 しらずしらずのうちに [知らず知らずのうちに] 9
 しらせる [知らせる] 2
 しりあい [知り合い] 5
 しりあう [知り合う] 5
 じりつ [自立スル] 18
 しんけいしつ [神経質ナ・ニ] 17
 しんけん [真剣ナ・ニ] 22
 しんごう [信号] 16
 じんこうこきゆう [人工呼吸スル] 24
 しんこく [深刻ナ・ニ] 21
 じんざい [人材] 25
 しんしつ [寢室] 13
 じんしゆ [人種] 22
 しんじる [信じる] 8
 じんせい [人生] 10
 しんぞう [心臓] 24
 じんぞう [腎臓] 24
 しんそつ [新卒] 25
 しんちよう [慎重ナ・ニ] 17
 しんぱい [心配ナ] 4
 しんぽ [進歩スル] 20
 シンボル 18
 しんらい [信頼スル] 8
 しんりん [森林] 21
 しんるい [親類] 12
 じんるい [人類] 21
- す**
- すいはんき [炊飯器] 13
 すうねん [数年] 24
 すがた [姿] 18
 すぎる [過ぎる] 2
 スケジュール 22
 スケッチブック 22
 すごい 3
 すごす [過ごす] 10
 すすむ [進む] 11
 すすめる [勧める] 14
 すすめる [進める] 21
 すする 16
 ずつ(～ずつ) 21
 すっかり 5
 ずっと 2
 ストレス 13
 すなわち 20
 すべて 7

索引

すませる [済ませる] 16
すむ [済む] 16
すれちがう [すれ違う] 22

せ

せい 22
せいかく [性格] 17
せいかく [正確ナ・ニ] 13
せいかつようしき [生活様式] 18
せいき [世紀] 22
せいけつ [清潔ナ・ニ] 8
せいしつ [性質] 17
せいしょうねん [青少年] 18
せいじんしき [成人式] 11
せいしんてき [精神的ナ・ニ] 6
せいぜん [生前] 24
せいぞう [製造スル] 21
せいちょう [成長スル] 6
せいど [制度] 24
せいねん [青年] 16
せいねんがっぴ [生年月日] 11
せいふく [制服] 8
せいべつ [性別] 22
せきたてる [せき立てる] 13
せきにん [責任] 20
せきゆ [石油] 25
セクハラ 9
せだい [(三)世代] 12
せっかく 9
せったい [接待スル] 10
せつやく [節約スル] 21
ぜひ [是非] 1
セミナー 16
せめて 18
せりふ 9
ぜんいん [全員] 25
せんきょ [選挙スル] 8
せんご [戦後] 18
せんこうはなび [線香花火] 19
せんじつ [先日] 10

せんしんこく [先進国] 21
ぜんぜん～ない [全然～ない] 1
せんそう [戦争] 12
ぜんたい [全体ニ] 15
せんたくき [洗濯機] 13
せんてんてき [先天的ナ・ニ] 24
せんばい [先輩] 12
せんもん [専門] 24

そ

ぞ(～ぞ) 13
ぞうか [増加スル] 18
ぞうき [臓器] 24
そうじき [掃除機] 11
そうちょう [早朝] 22
そえる [添える] 14
ぞくする [属する] 15
そこ [底] 23
そこで 18
そそぐ [注ぐ] 13
そだてる [育てる] 4
そっと 19
そのうえ [その上] 15
そのた [その他] 10
そのもの 21
そふ [祖父] 14
そぼ [祖母] 12
そまる [染まる] 22
それぞれニ 12
それでも 3
それとも 19
それに 12
それにしても 16
そんざい [存在スル] 20

た

だい [(十)代] 10
だい [第(一回)] 21
だい [代] 14
たいおう [対応スル] 25

- たいけん [体験スル] 14
 たいこく [大国] 25
 たいさく [対策] 21
 だいさんしゃ [第三者] 24
 だいじ [大事ナ・ニ] 16
 たいしょう [対象] 16
 たいしょうてき [対照的ナ・ニ] 17
 だいじょうぶ [大丈夫] 2
 たいしょく [退職スル] 19
 たいする [～に対する] 9
 たいてい 10
 たいど [態度] 15
 だいとうりょう [大統領] 8
 タイプ 17
 たいへん [大変ナ] 12
 たいよう [太陽] 22
 だいら [代理] 16
 たえる [絶える] 22
 たからくじ [宝くじ] 16
 たくす [託す] 23
 だけに(～だけに) 20
 たしか [確かナ・ニ] 7
 たしかめる [確かめる] 13
 だす [(言い)出す] 9
 たすかる [助かる] 24
 たずさわる [携わる] 20
 たずねる [訪ねる] 12
 ただ 5
 ただし 15
 たちあがる [立ち上がる] 21
 たちば [立場] 20
 たつ [経つ] 11
 たった～ 10
 たて [縦] 15
 たてる [立てる] 21
 たとえる 1
 たにん [他人] 11
 たね [種] 14
 たのしみ [楽しみナ・ニ] 2
 たのしむ [楽しむ] 6
 たび(～たびニ) 25
 たび [旅スル] 5
 たびのはじはかきすて [旅の恥はかき捨て] 15
 たまらない(～てたまらない) 4
 だまりこむ [黙り込む] 10
 たまる 16
 ためす [試す] 13
 だめナ 4
 たよう [多様ナ・ニ] 20
 たりょう [多量] 24
 たりる [足りる] 3
 たんじょう [誕生スル] 21
 だんぜつ [断絶スル] 18
 だんたい [団体] 23
 だんだん 11
 たんなる [単なる～] 6
 だんらん [団らんスル] 18
- ち**
 ち [血] 14
 ちい [地位] 10
 チーム 3
 ちかみち [近道] 17
 ちから [力] 12
 ちきゅう [地球] 14
 ちしき [知識] 12
 ちつじょ [秩序] 15
 ちっぽけナ・ニ 14
 ちへいせん [地平線] 22
 ちゃづけ [茶漬け] 16
 ちゃどう [茶道] 6
 ちゃんとスル 9
 ちゅうしょく [昼食] 16
 ちゅうしん [中心] 18
 ちゅうもく [注目スル] 24
 ちゅうもん [注文スル] 25
 ちょうかん [朝刊] 16
 ちょうきてき [長期的ナ・ニ] 25
 ちょうさ [調査スル] 8

索引

ちょうし [調子] 13
ちょうしょく [朝食] 16
ちょうなん [長男] 9
ちょっとした～ 12
ちりょう [治療スル] 24
ちんこんか [鎮魂歌] 23

つ

ついて(～について) 9
ついていく 23
ついらく [墜落スル] 13
つういん [通院スル] 24
つうきん [通勤スル] 16
つうじる [通じる] 18
つうしん [通信スル] 11
つきあう [付き合う] 10
つぎつぎに [次々に] 14
つく 5
つくりあげる [作り上げる] 15
つくりだす [作り出す] 18
つごう [都合] 21
つたわる [伝わる] 7
つち [土] 19
つつ(～つつ) 19
つつある(～つつある) 25
つづける [続ける] 4
つながる 21
つまり 10
つもり 7
つれだす [連れ出す] 19
つれて(～につれて) 11

て

て [(受け)手] 20
であい [出会い] 14
であう [出会う] 14
ディーケー [DK] 2
ていぎ [定義スル] 23
ていきてき [定期的ナ・ニ] 21
ていきょう [提供スル] 14

ていねい [丁寧ナ・ニ] 15
ていねん [定年] 13
ていれ [手入れスル] 12
データ 8
テーマ 22
ておくれ [手遅れ] 21
できあがる [出来上がる] 15
できごと [出来事] 20
てきせつ [適切ナ・ニ] 20
できるだけ 3
デザイン 9
デジタル 13
てだすけ [手助けスル] 12
てにいれる [手に入れる] 11
でも 1
てら [寺] 14
てりつける [照りつける] 22
てをうつ [手を打つ] 21
てをくわえる [手を加える] 20
てん [点] 20
でんかせいひん [電化製品] 13
てんきん [転勤スル] 3
てんけいてき [典型的ナ・ニ] 17
てんしょく [天職] 10
でんしレンジ [電子レンジ] 13
でんとう [伝統] 6
テンポ 23

と

と [(一)度] 10
というのも 17
とう [問う] 21
どうか 2
どうぐ [道具] 14
とうさん [倒産スル] 25
とうじ [当時] 19
どうし [～同士] 20
どうじ [同時ニ] 8
どうしても(～ない) 9
とうしょ [投書スル] 7

とうじょう [登場スル] 18
 どうしょくぶつ [動植物] 14
 とうぜん [当然] 18
 とうとう 9
 どうにゅう [導入スル] 24
 どうよう [童謡] 23
 どうりょう [同僚] 17
 どうろ [道路] 16
 とおして [～を通して] 20
 トースト 16
 とおり [～通り] 17
 とおりがかり [通りがかり] 19
 とおりがかる [通りがかる] 19
 とか(～とか) 3
 ときどき [時々] 4
 ときには [時には] 12
 どくとく [独特ナ] 25
 とくに [特に] 24
 とくべつ [特別ナ・ニ] 5
 どくりつ [独立スル] 12
 とげる [遂げる] 20
 ところ(～ところ) 12
 どころか(～どころか) 13
 ところで(～たところで) 16
 ところで 8
 とし [都市] 22
 として(～として) 11
 としをとる [年を取る] 12
 としん [都心] 16
 とち [土地] 5
 とちゅう [途中] 4
 どちらにしても 19
 とっきゅう [特急] 7
 とつぜん [突然ニ] 10
 とって(～にとって) 12
 とってかわる [取って代わる] 20
 とても(～ない) 18
 とどく [届く] 22
 ドナーカード 24
 とはいえ 20

とばす [飛ばす] 23
 とまどう 10
 とまる [止まる] 5
 とむ [富む] 10
 ともなう [伴う] 20
 とともに(～とともに) 18
 とらえる 21
 とらわれる 25
 とりあげる [取り上げる] 21
 とりかえす [取り返す] 18
 とりくむ [取り組む] 21
 とりだす [取り出す] 22
 とりつける [取り付ける] 24
 とりのぞく [取り除く] 24
 とりひき [取り引きスル] 15
 とりまく [取り巻く] 21
 どりよく [努力スル] 5
 とんでもない 20
 どんどん 21
 どんなに 14

な

ない [(家庭)内] 18
 ないよう [内容] 20
 なおす [直す] 2
 なおす [治す] 24
 ながいき [長生きスル] 24
 ながす [流す] 14
 なかなか 15
 なかま [仲間] 5
 なかみ [中身] 8
 ながめる [眺める] 19
 なかよく [仲良く] 19
 ながれる [流れる] 22
 なくす [亡くす] 12
 なくす 18
 なげかける [投げかける] 10
 なげき [嘆き] 15
 なげく [嘆く] 15
 なごやか [和やかナ・ニ] 18

索引

なす [成す] 24
なぜ 17
なつかしい [懐かしい] 14
なないろ [七色] 23
なにげない [何気ない] 11
なにごとも [何事も] 17
なにもかも [何もかも] 6
なにより(も) [何より(も)] 13
なみ [波] 22
なみだ [涙] 23
なやむ [悩む] 6
ならす [鳴らす] 16
ならべる [並べる] 1
なるほど 6
なれる [慣れる] 3
なん [(就職)難] 25
なんだか [何だか] 11
なんて(～なんて) 3
なんで [何で] 22
なんの～も [何の～も(～ない)] 17
なんらかの [何らかの～] 11

に

にがい [苦い] 14
にがて [苦手+] 12
にぎる [握る] 25
にこにこスル 2
にさんかたんそ [二酸化炭素] 21
にじ [虹] 23
にちじ [日時] 2
にちじょう [日常] 20
ニッコリスル 19
にらめっこスル 13
にる [似る] 11
にわいじり [庭いじり] 19
にんき [人気] 17
にんずう [人数] 11

ぬ

ぬきとる [抜き取る] 23

ぬく [抜く] 19

ね

ねがう [願う] 23
ねたきり [寝たきり] 24
ねつがはいる [熱が入る] 25
ねっしん [熱心+・ニ] 6
ねぼけまなこ [寝ぼけ眼] 22
ねむい [眠い] 3
ねむる [眠る] 4
ねんこうじょれつ [年功序列] 25
ねんねん [年々] 24
ねんれい [年齢] 11

の

のうさくぶつ [農作物] 21
のうし [脳死] 24
のうそん [農村] 23
のうは [脳波] 24
のうみん [農民] 23
のこす [残す] 7
のせる [乗せる] 7
のど 19
のばす [伸ばす] 25
のびる [伸びる] 24
のべる [述べる] 15
のりきる [乗り切る] 25
ノロノロうんてん [ノロノロ運転] 16
のんき+・ニ 17

は

ば [場] 18
ばあい [場合] 24
パート 13
ばい [倍] 16
はいいろ [灰色] 9
はいきガス [排気ガス] 21
はかい [破壊スル] 21
はかない 25
ばかばかしい 14

- ばかり(～たばかり) 4
 ばかり [(15分)ばかり] 19
 ばかりか(～ばかりか) 24
 バケツ 19
 はじめ(～をはじめ) 24
 はじめる [始める] 2
 はしゃぐ 23
 ばしょ [場所] 2
 はず 13
 はずす [外す] 24
 パソコン 3
 はたして [果たして] 24
 はたす [果たす] 18
 はたらきバチ [働きバチ] 10
 はっきり(はっきり(と)スル) 17
 バックミラー 16
 はったつ [発達スル] 20
 はってん [発展スル] 20
 はで [派手ナ・ニ] 9
 はなしかける [話しかける] 12
 はなび [花火] 19
 はなれる [離れる] 7
 はばひろい [幅広い] 25
 バブルけいき [バブル景気] 25
 はやる 18
 はらどけい [腹時計] 13
 ばらばらナ・ニ 18
 はん [判] 9
 はんえい [反映スル] 17
 ばんぐみ [番組] 3
 はんざい [犯罪] 18
 はんせい [反省スル] 18
 はんだん [判断スル] 8
 はんのう [反応スル] 14
 パンフレット 12
 はんぶん [半分] 22
 はんろん [反論スル] 17
- ひ**
 ひ [陽] 19
- ひかり [光] 22
 ひかりかがやく [光り輝く] 23
 ひきおこす [引き起こす] 21
 ひじょう [非常ナ・ニ] 15
 ひたい [額] 1
 ひつう [悲痛ナ・ニ] 23
 ひっこし [引っ越しスル] 10
 ひっこす [引っ越す] 12
 ひっこむ [引っ込む] 13
 ひつよう [必要ナ・ニ] 6
 ひどい 16
 ひといきつく [一息つく] 16
 ひとしれず [人知れず] 23
 ひととき [一時] 12
 ひとめで [一目で] 17
 ひとやく [一役] 22
 ひとりぐらし [一人暮らし] 12
 ひにく [皮肉ナ] 25
 ひので [日の出] 22
 ひひょう [批評スル] 17
 ひまつぶし [暇つぶし] 6
 ひょうげん [表現スル] 15
 ひょうし [表紙] 18
 ひょうじ [表示スル] 13
 ひょうじょう [表情] 25
 ひょうめい [表明スル] 24
 ひょうめん [表面] 23
 ひらしゃいん [平社員] 15
 ビル 13
 ひろがる [広がる] 21
 ピンク 8
 ひんこん [貧困ナ・ニ] 23
- ふ**
 ふあん [不安ナ・ニ] 23
 ふう(～ふうナ・ニ) 19
 ぶか [部下] 16
 ふかめる [深める] 22
 ふきちらす [吹き散らす] 23
 ふきゅう [普及スル] 20

索引

ふきょう [不況] 25
ふく 19
ふくらます 23
ふけいき [不景気ナ・ニ] 25
ふしぎ [不思議ナ・ニ] 4
ふたん [負担スル] 24
ふだん [普段] 12
ぶちょう [部長] 8
ぶっかだか [物価高] 16
ぶっきょう [仏教] 14
ぶつける 23
ふと 25
ぶぶん [部分] 20
ふべん [不便ナ・ニ] 13
ふまん [不満ナ・ニ] 10
ふめい [不明ナ] 13
ふよう [不要ナ・ニ] 23
ふり 15
ふりかえる [振り返る] 22
ふるえる [震える] 23
ふるさと 14
ふれあう [触れ合う] 22
ぶれいこう [無礼講] 15
フロンガス 21
ぶんか [文化] 6
ぶんしょう [文章] 14
ぶんるい [分類スル] 17

へ

へいき [平気ナ・ニ] 17
へいきんじゅみょう [平均寿命] 24
へいぼん [平凡ナ・ニ] 10
へいわ [平和] 14
へえっ 22
べき(～べき) 18
へだてる [隔てる] 22
べつ [別ニ] 16
べつべつ [別々ニ] 18
へらす [減らす] 21
ベランダ 19

へん [(その)辺] 25
へん [変ナ] 5
へんか [変化スル] 10
ベンチ 12
べんり [便利ナ・ニ] 1

ほ

ぼい [(黒っ)ぼい] 9
ほうえき [貿易スル] 25
ほうかい [崩壊スル] 25
ほうさん [坊さん] 14
ほうちょう [包丁] 5
ほうどう [報道スル] 20
ほうび 19
ほうほう [方法] 11
ぼうりょく [暴力] 18
ホームページ 11
ほかでもない 21
ほこう [母校] 14
ほこる [誇る] 21
ほしょう [保障スル] 25
ホッとスル 12
ほとんど 10
ほのぼの(ほのぼの(と)スル) 18
ほぼ 13
ボランティア 12
ほんだな [本棚] 1
ポント 10
ほんにん [本人] 24
ほんらい [本来] 24

ま

ま [(一)間] 2
ま(まっ) [真(っ暗)ナ] 22
まあまあ 10
まい(～まい) 15
まう [舞う] 23
まご [孫] 12
まさか 14
まさつ [摩擦スル] 25

- まじえる [交える] 25
 まじめナニ 6
 まじり [(冗談)交じり] 25
 マスコミ 20
 まずしい [貧しい] 23
 ますます 20
 マスメディア 20
 また 1
 または [又は] 11
 まちがう [間違う] 7
 まちかど [街角] 10
 まったく [全く～ない] 11
 までもない(～までもない) 16
 まどり [間取り] 11
 まなざし 23
 まなぶ [学ぶ] 6
 まにあう [間に合う] 16
 まのあたりにする [目のあたりにする]
 20
 まびく [間引く] 23
 まま(～まま) 10
 まみれ [(汗)まみれ] 19
 まもない [(休む)間もない] 22
 まるで 6
 まれナニ 19
 まわり [周り] 14
 まをおく [間をおく] 20
 まんいち [万一] 11
 まんいん [満員] 4
 マンション 2
 まんぞく [満足ナニ・ニ・スル] 10
- み**
- みいだす [見いだす] 25
 みうしなう [見失う] 25
 みうち [身内] 24
 みかける [見かける] 9
 みしらぬ [見知らぬ～] 20
 みずから [自ら] 23
 みだす [乱す] 15
- みつめる [見つめる] 19
 みとめる [認める] 24
 みにつける [身に付ける] 6
 みのまわり [身の回り] 13
 みのる [実る] 23
 みぶん [身分] 15
 みまもる [見守る] 20
 みみにする [耳にする] 19
 みもしらぬ [見も知らぬ～] 11
 みらい [未来] 21
 みんぞく [民族] 14
- む**
- むかう [向かう] 16
 むかえる [迎える] 9
 むかし [昔] 1
 むかんしん [無関心ナニ] 15
 むく 5
 むける [向ける] 21
 むし [無視スル] 8
 むしあつい [蒸し暑い] 7
 むじゃき [無邪気ナニ] 23
 むすこ [息子] 9
 むすびつき [結び付き] 18
 むすびつく [結び付く] 18
 むすめ [娘] 10
 むちゆう [夢中] 4
 むね [胸] 20
 むらさき [紫] 9
 むり [無理ナニ] 3
- め**
- めい [(会社)名] 8
 めいし [名刺] 8
 めいぼ [名簿] 11
 めいよ [名誉] 10
 めいれい [命令スル] 7
 めうえ [日上] 15
 メーカー 11
 めぐみ [恵み] 21

索引

めぐむ [恵む] 21
めぐる(～をめぐる) 24
めさき [目先] 25
めざす [目指す] 21
めざましい [目覚しい] 20
めざめる [目覚める] 22
めした [目下] 15
めずらしい [珍しい] 9
めにする [目にする] 7
めにとまる [目に留まる] 14
めをとおす [目を通す] 16
めをむける [目を向ける] 25
めんぜいてん [免税店] 13

も

もうしこむ [申し込む] 12
もうすぐ 13
もえる [燃える] 10
もくてき [目的] 11
もくひょう [目標] 24
もじ [文字] 14
もしかして 24
もしかすると 6
もじどおり [文字通り] 22
もたらず 21
もちろん 3
もっとも 18
もと [(～の)下] 25
もとめる [求める] 7
もともと 12
もの 5
もの [(男)もの] 9
ものがたる [物語る] 25
ものごと [物事] 17
ものの(～ものの) 11
もめる 22

や

やく [(父親)役] 25
やくにたつ [役に立つ] 1

やくめ [役目] 19
やくわり [役割] 18
やけど 19
やさしい [優しい] 7
やっぱり(←やはり) 3
やね [屋根] 23
やむをえない [やむを得ない] 23
やら(～やら) 10
やりとりスル 11
やわらかい [柔らかい] 18

ゆ

ゆいいつ [唯一] 19
ゆいごん [遺言スル] 13
ゆうぐれ [夕暮れ] 19
ゆうこう [友好] 22
ゆうしゅう [優秀ナ] 25
ゆうじん [友人] 12
ゆうすう [有数] 25
ゆうすずみ [夕涼み] 19
ゆうはん [夕飯] 19
ゆかた [浴衣] 19
ゆずる [譲る] 15
ゆたか [豊かナ・ニ] 10
ゆったり(ゆったり(と)スル) 19
ゆとり 13
ユニークナ 12
ゆめ [夢] 14
ゆらぐ [揺らぐ] 25
ゆるす [許す] 11

よ

よう [(女の子)用] 9
ようしゃない [容赦ない] 22
ようす [様子] 8
ようやく 19
よか [余暇] 25
よくばり [欲張りナ・ニ] 22
よこ [横] 8
よごす [汚す] 21

よこたわる [横たわる] 24
 よそもの [よそ者] 15
 よぞら [夜空] 14
 よって(～によって) 11
 よのなか [世の中] 16
 よほど 19
 よゆう [余裕] 18
 より(～より) 3
 より～ 17

ら
 らく [楽ナ・ニ] 3
 らくてんてき [楽天的ナ・ニ] 17

り
 リーダーシップ 17
 りえき [利益] 15
 りかい [理解スル] 15
 リサイクルスル 21
 リストラスル 16
 りそう [理想] 8
 りつ [(失業)率] 25
 りっぱ [立派ナ・ニ] 8
 リビングルーム 18
 リボン 9
 りゆう [理由] 5
 りょうきん [料金] 7
 りょうて [両手] 23
 りよく [(競争)力] 25

る
 ルール 17

れ
 れいぎただしい [礼儀正しい] 4
 れいじ [零時] 16
 れいせい [冷静ナ・ニ] 17
 れいの [例の～] 17
 れきし [歴史] 20
 レポート 16
 れんそう [連想スル] 19

ろ
 ろうじん [老人] 12
 ローン 16

わ
 わがこ [我が子] 23
 わかす [沸かす] 13
 わがままナ・ニ 17
 わかもの [若者] 12
 わきあがる [わき上がる] 22
 わく [枠] 15
 わけ 9
 わけではない(～わけではない) 13
 わけにはいかない(～わけにはいかない)
 24
 わける [分ける] 14
 わずかナ・ニ 17
 わだい [話題] 20
 わたる(～にわたる) 25
 わりきる [割り切る] 24

著 作 者 (五十音順)

荒井礼子 (甲南大学言語文化センター非常勤講師)

太田純子 (KIT 日本語研究所)

亀田美保 (元大阪 YMCA 日本語学校主任講師)

木川和子 (エイモン日本語教育研究所代表)

桑原直子 (元大阪 YMCA 日本語学校専任講師)

長田龍典 (大阪 YMCA 日本語学校主任講師)

松田浩志 (プール学院大学国際文化学部教授)

テーマ別 ^{べつ} ^{ちゅうきゅう} 中級から学ぶ日本語 ^{まな} ^{にほんご} (改訂版) ^{かいていばん}

1991年4月25日 初版発行

2004年7月30日 改訂版 第5刷発行



KENKYUSHA

〈検印省略〉

著 著

発 行 者

印 刷 所

^{まつ} ^だ ^{ひろ} ^し 松 田 浩 志 ほか

荒 木 邦 起

研究社印刷株式会社

発 行 所

株式会社 研 究 社

〒102-8152

東京都千代田区富士見 2-11-3

電話 (編集) 03(3288)7711 (代)

電話 (営業) 03(3288)7777 (代)

振替 00150-9-26710

<http://www.kenkyusha.co.jp/>

Printed in Japan / ISBN4-327-38443-7 C1081

カバーデザイン: 大谷信之(OVO) / 本文デザイン: 清水美弥子(OVO) / 本文イラスト: 中野耕司